Printia LASER

B5WY-1311-02

Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ　XL-2300G

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、ご購入いただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。
富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。
Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
NetWare は、米国ノベル社の登録商標です。
Adobe、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

●紙幣、有価証券などの印刷禁止について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律
　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条等

● VCCI 適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。本製品は、突入電流がありますので、無停電電源装置（UPS）などに接続しないでください。故障するおそれがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-2300G をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、最大 22 枚 / 分（A4 サイズ）の印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタ装置の設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書に従って正しい取り扱いをし、本製品を有効にご利用ください。

2008 年 4 月

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Standard</td><td colspan="2" rowspan="2">Windows Server 2008</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition</td><td colspan="2" rowspan="2">Windows Server 2003</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Ultimate</td><td colspan="2" rowspan="5">Windows Vista</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Premium</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Basic</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Business</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Enterprise</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td colspan="2" rowspan="2">Windows XP</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（64-bit）</td><td rowspan="2">Windows Server 2008 x64 Edition
または
Windows Server 2008</td><td rowspan="10">Windows x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（64-bit）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition</td><td rowspan="2">Windows Server 2003 x64 Edition
または
Windows Server 2003</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Ultimate（64 ビット版）</td><td rowspan="5">Windows Vista x64 Edition
または
Windows Vista</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Premium（64 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Home Basic（64 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Business（64 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Windows Vista® Enterprise（64 ビット版）</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition</td><td>Windows XP x64 Edition
または
Windows XP</td></tr>
</table>

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows® 2000 Server	
Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0	Windows NT 4.0
Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98	Windows 98
Microsoft® Windows® 95	Windows 95
Microsoft® Windows® Version 3.1	Windows 3.1
Microsoft® Internet Explorer	Internet Explorer
Netscape® Communicator	Netscape
Adobe® Reader	Adobe Reader

注：Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のように併記する場合があります。

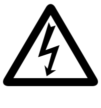
●型名表示について

Windows 上の画面表示やフォルダ名、またはプリンタドライバや設定の印刷では、型名が「XL-2300」と表示されますので、あらかじめご了承ください。動作などには支障はありませんので、「XL-2300G」と読み替えていただくよう、お願いいたします。

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

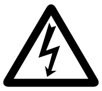
⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意をうながす事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

●プリンタの設置および移動時のご注意

⚠ 警告



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本製品の定格電源は100V、7Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の、電源コードの上にプリンタを載せないでください。

電源コードが傷付き、感電、火災、故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすい物の近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のような所には、絶対にアース線を接続しないでください。

・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

警告

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

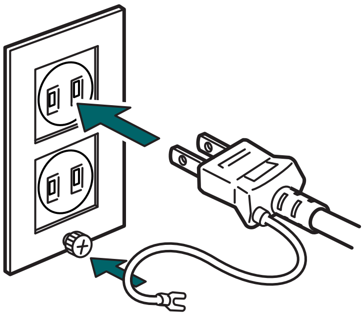
電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず以下のいずれかに取り付けてください。アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてください。アース接続できない場合は、「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）にご連絡ください。

・電源コンセントのアース線端子

・銅片などを650mm 以上地中に埋めた物

・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

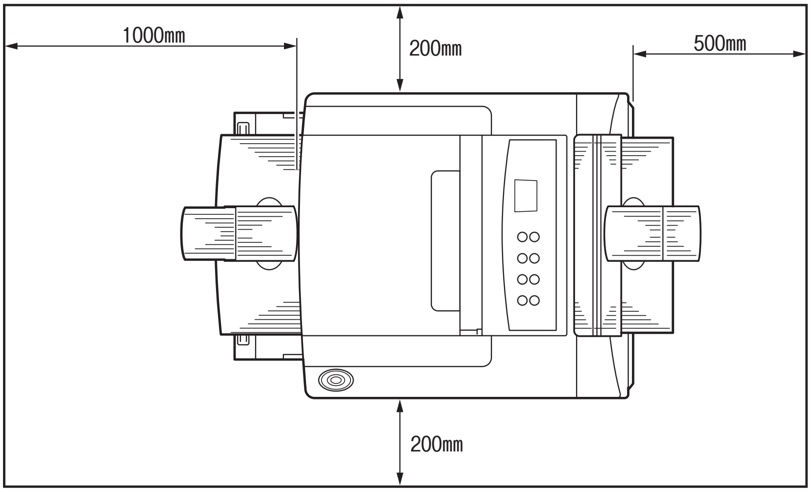
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの側面および背面には通風口があります。プリンタ側面は200mm 、背面は500mm以上離して設置し、通風口の上には物を置かないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な600mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタは、重さ約20kg（すべてのオプション品および消耗品、用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、トナーカートリッジを取り外さないでください。

トナーカートリッジの内部にあるトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタ正面に向かって、左右両側の底面にあるくぼみを両手でしっかり持って運んでください。

それ以外の箇所を持って移動すると落下などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

電源コードが傷付き、火災や感電の原因となったり、本製品が倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●プリンタ使用時のご注意

警告

プリンタに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷付けたり、加工しないでください。
重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）にご連絡ください。

電源コードは束ねて使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
故障の修理は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠ 警告

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示された箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）に修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287ページ）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻きついているときは無理に取らないで、ただちに電源を切り、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(287ページ)にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

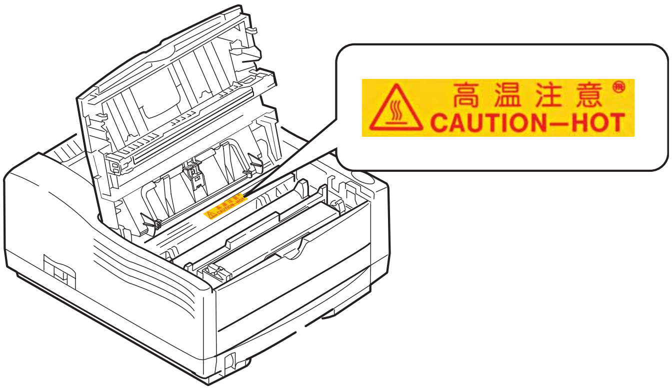
つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。



1ヶ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。

・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。

・電源プラグやコンセントに細かいほこりがついていませんか。

・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。

・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(287ページ) までご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指をはさみ、けがをする原因となることがあります。

注意

「パワーセーブ」は「有効」（デフォルト）の状態で使用してください。

「パワーセーブ」を「無効」に変更して使用する場合、電源を投入した状態のまま長時間放置すると、装置故障の原因となります。「無効」に設定しているときは、一日に一回はプリンタの電源をお切りください。

●カートリッジ類の取り扱い上のご注意

警告

トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのトナーカートリッジは、回収サービス（144ページ参照）をご利用ください。

プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジは、回収サービス（144ページ参照）をご利用ください。

トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かない所に置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本製品のマニュアル

本製品では、次のマニュアルを用意しています。目的に合わせてご利用ください。なお、PDF ファイルで提供しているマニュアル（ネットワークガイド）は、画面に表示したり、印刷したりする場合に、Adobe Reader が必要です。プリンタに同梱されているプリンタソフトウェア CD-ROM から、必要に応じてお使いのパソコンに Adobe Reader をインストールしてください。

参照 「Adobe Reader をインストールする」（18 ページ）を参照

●マニュアルの種類

『XL-2300G 設置ガイド』
同梱品のご案内と箱を開けてから印刷できるまでの設置手順を簡単に紹介しています。まず、このマニュアルを見て同梱品を確認し、本製品を設置してください。

『XL-2300G 取扱説明書』（本書）
プリンタ本体の設置とオプション品の取り付け方、必要なソフトウェアのインストール方法などを説明しています。
また印刷を行うための基本的な操作やサプライ品の交換、困ったときの対処方法など、日常プリンタを使用するうえで必要なことがらについても説明しています。

『XL-2300G ネットワークガイド』（PDF）
このマニュアルは、同梱のプリンタソフトウェアCD-ROMにPDFファイル（NetworkGuide.pdf）として収録されています。
ネットワークプリンタとして使用する場合の設置と操作、および印刷できる環境を整えるまでの手順をネットワーク環境別に詳しく説明しています。

『オンラインヘルプ』
「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について説明しています。ヘルプを表示させるには、ダイアログボックスに表示される [?] をクリックし、説明を表示させたいボタンや項目上でクリックするか、[ヘルプ] ボタンをクリックします（なお、Windows Vista/Windows Server 2008 環境では、使用できません）。

●マニュアルの使い方

印刷マニュアル

設置ガイド

最初に同梱品と作業のながれを確認します。

取扱説明書

セットアップ編ではプリンタの設置から
使えるようになるまで、
運用編では使用できる用紙の紹介や、
日常のメンテナンス、トラブル時の対処方法
などが記載されています。

電子マニュアル

オンラインヘルプ



プロパティ画面で設定できる項目について、
もっと詳しい情報が得られます。

※ Windows Vista/Windows Server 2008
環境では、使用できません。

ネットワークガイド



ネットワークを経由して複数のパソコン
でプリンタを共有したり、
インターネット印刷を行うときの
設定などが記載されています。

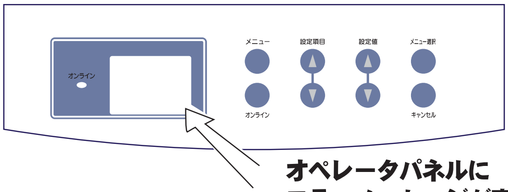
こんなときには。。。

Webブラウザでプリンタの状態を確認したい。
→ ネットワークガイド
「第6章 Printia LASER Internet Service」を参照

はがきやOHPフィルムに印刷したい。
→ 取扱説明書
「使用できる用紙」（116 ページ）

用紙のセット方法や印刷方法を知りたい。
→ 取扱説明書
「用紙をセットする」（129 ページ）

サプライ品を交換したい。
→ 取扱説明書
「サプライ品を交換する」（145ページ）



オペレータパネルに
エラーメッセージが表示されている
→ 取扱説明書
「メッセージが表示されるとき」（224 ページ）

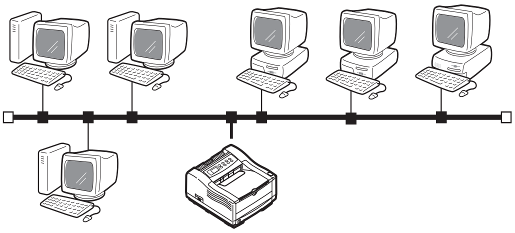
その他、取扱説明書「第 10 章　こんなときには」（223 ページ）を参照

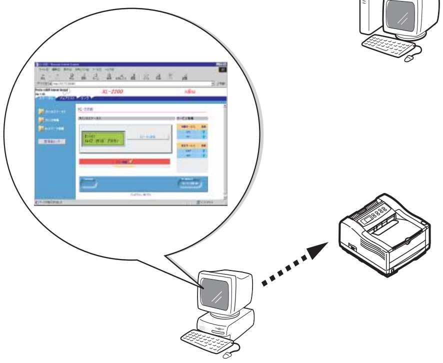
ネットワーク環境で使用する

本製品をネットワークにつなげると、次のような機能を利用できます。ネットワーク環境でご使用になる場合について、詳細はプリンタソフトウェア CD-ROM に収録された『XL-2300G ネットワークガイド』を参照してください。

プリンタを複数のパソコンで共有できます。

XL-2300Gネットワークガイド
「第1章 ネットワークプリンタの設定」を参照



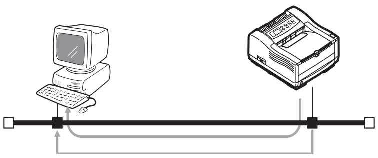


Internet Services（インターネットサービス）を利用するとプリンタの状態や、印刷の進み具合などを確認したり、設定を変更したりできます。

XL-2300Gネットワークガイド
「第6章 Printia LASER Internet Service」を参照

エラーやワーニングに関する情報は、プリンタからシステム管理者宛に電子メールで通知されます。

XL-2300Gネットワークガイド
「第6章 Printia LASER Internet Service」を参照



ガイド

本製品をネットワークプリンタとして使用する場合は、オプションのプリンタ LAN カードをプリンタに取り付ける必要があります。

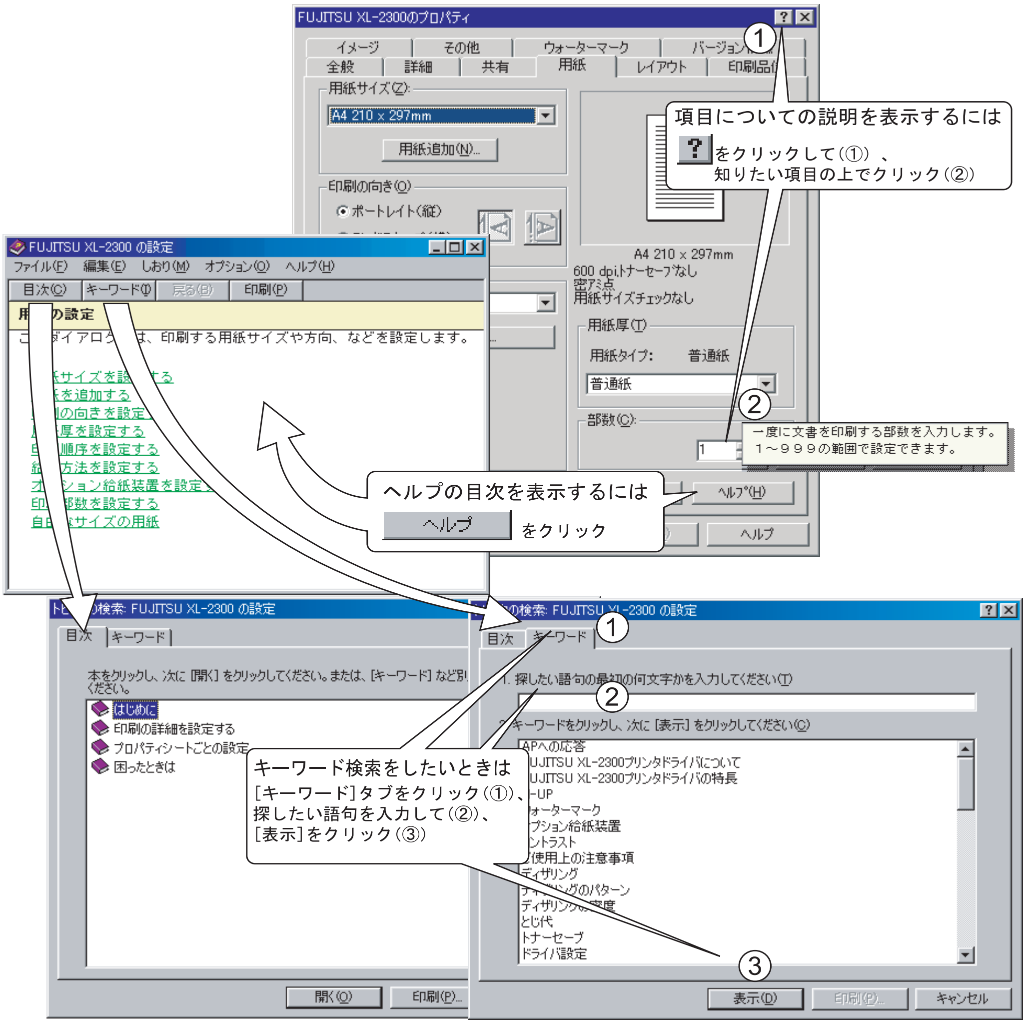
XL-2300G ネットワークガイドの目次

オンラインヘルプの見かた

本製品が提供するオンラインヘルプでは、プロパティ画面で設定できる項目のより詳しい説明などが記載されています。また、わからない項目の説明だけを表示する機能もついており、ご使用状況または調べたい内容に合わせて、取扱説明書と使い分けてください。

オンラインヘルプは、プロパティ画面右上の ? をクリックし、続けて詳細を知りたい機能の項目をクリックするか、右下の ヘルプ をクリックして表示します。

参照　「プロパティ画面について」（193 ページ）参照



ガイド

Windows Vista/Windows Server 2008 環境では、オンラインヘルプを使用できません。

ネットワークガイドの見かた

ネットワークガイドは、PDF 形式のオンラインマニュアルとして添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM からインストールしてください。

Adobe Reader をインストールする

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Adobe Reader があらかじめインストールされていることが必要です。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から次の手順で Adobe Reader 6.0 をインストールすることができます。

1. **添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**

2. **CD-ROM の「ADREADER」フォルダにある「AdbeRdr602_distrib_jpn.exe」をエクスプローラから実行し、インストールする**
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

- Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
  アドビシステムズ社 URL：http://www.adobe.com/jp/
  ※上記 URL は、本書発行時点のものです。

ネットワークガイドを見る

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1. 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

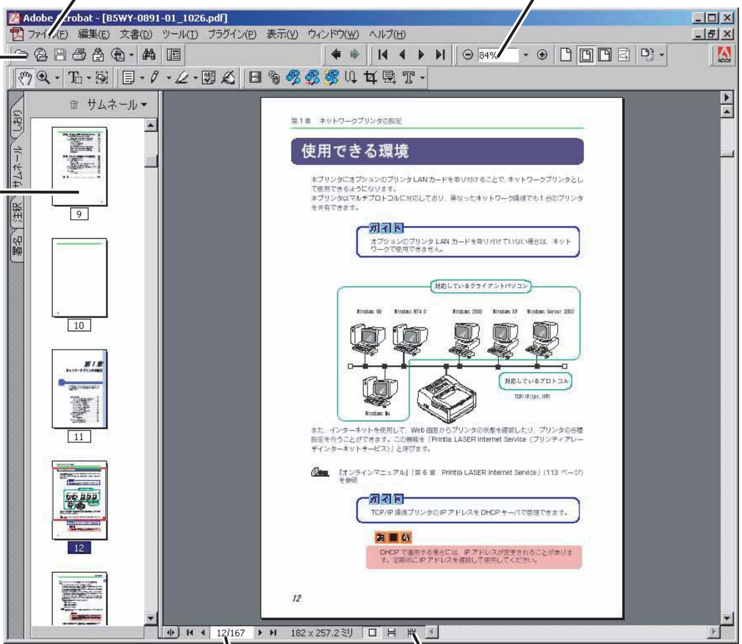
2. CD-ROM の「MANUAL」フォルダにある「NetworkGuide.pdf」をエクスプローラから実行する

メニューバー
プルダウンメニューからさまざまな操作を行うことができます。

表示倍率
任意の倍率を入力するか、プルダウンメニューから選択して画面の表示倍率を変更できます。

ツールバー
ボタンをクリックするだけで、拡大などの操作が行えます。

サムネール
ページ全体のイメージです。
ツールバーにある[サムネールとページ]ボタンを選択すると、表示されます。
しおり機能が設定されている場合は、サムネールの代わりにしおりを表示することもできます。



ページ指定
任意のページを表示させることができます。

用紙方向と用紙サイズ
通常は、ファイルの用紙方向と用紙サイズが表示されています。ここをクリックすると、ページの表示方法を変更できます。「見開きページ」を選択すると、ページを見開きで表示できます。

本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」と、プリンタをご使用中に必要となる内容を詳しく説明する「運用編」から成ります。
「セットアップ編」と「運用編」には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

目　次	内　容
第 1 章　お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第 2 章　プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順について説明します。
第 3 章　外部との接続	プリンタをパソコンまたは LAN に接続する方法や、ケーブル類の接続について説明します。
第 4 章　プリンタドライバのインストール	パソコンとのローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
第 5 章　プリンタ共有の設定	プリンタドライバをインストールしたパソコン（サーバ）からのみ印刷可能なプリンタを、他のパソコン（クライアント）からもサーバ経由で使用するために必要な設定について説明します。

【運用編】

目　次	内　容
第 6 章　用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第 7 章　日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します。
第 8 章　オペレータパネルの操作	液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。
第 9 章　プリンタドライバの設定 / 印刷	プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。
第 10 章　こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
付　録	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の記号を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。
参照	本製品添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収められている『XL-2300G ネットワークガイド』内の参照先を示します。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

目　次

セットアップ編

第 3 章　外部との接続. 63

第 4 章　プリンタドライバのインストール 71

運 用 編

セットアップ編

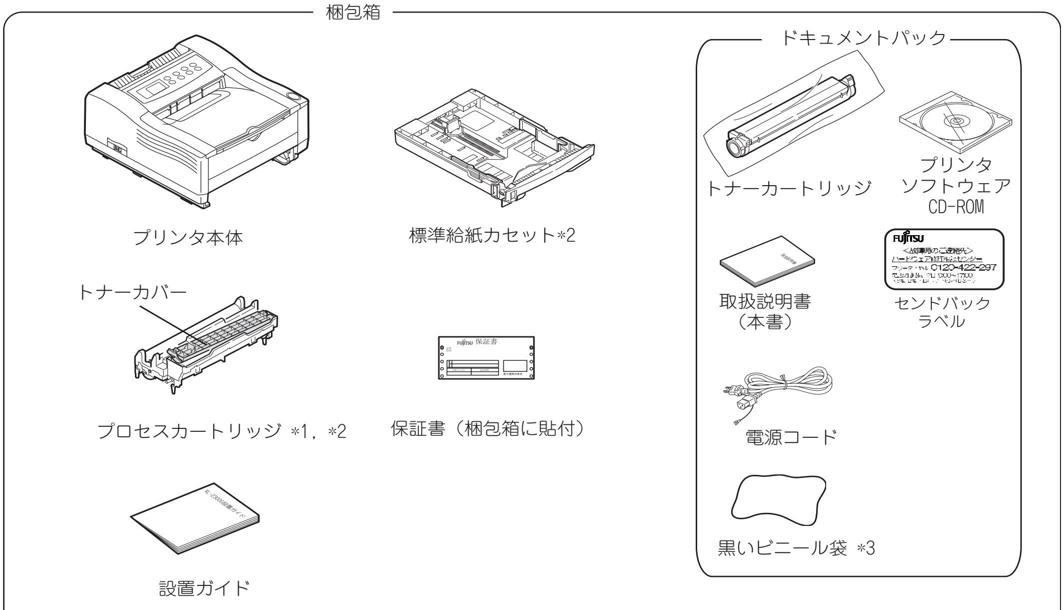
第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品を確認する

本製品は、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。



*1：プロセスカートリッジには、トナーカバーが取り付けられています。
*2：本製品に取り付けられています。
*3：本製品運用時に紙づまり除去などでプロセスカートリッジを取り出した際に、
　　この黒いビニール袋（遮光袋）に入れてください。

お願い

本製品には、パソコンとの接続ケーブル（プリンタケーブル、プリンタ USB ケーブル、プリンタ LAN ケーブル）は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

ガイド

- 移転などプリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。
- 本製品は他の XL シリーズ・プリンタと比べた場合、装置や機能の名称が一部異なりますのでご了承ください。

本製品の特長

1 高い印刷品質

モノクロ 22 枚 / 分の印刷（A4 縦連続印刷時）、および 600 × 1200dpi の高解像度印刷が可能です。

2 優れた拡張性

拡張給紙ユニット (オプション) および給紙トレイ (オプション) を取り付けると、異なったサイズの用紙を 3 種類まで同時にセットしたり、最大 850 枚 (拡張給紙ユニット、給紙トレイ取り付け時) の用紙をセットしたりできます。

3 高機能なプリンタドライバのサポート

Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版に対応し、高品位な画像を鮮明、かつ高速に印刷します。
マルチページ（N-UP）/ ウォーターマーク / トナーセーブなどの多様な印刷機能に対応しています。

4 多様な用紙サイズに対応

はがき、A6 ～ A4 サイズ、不定形サイズ（90 × 148mm ～ 215.9 × 297mm）までさまざまな用紙サイズに対応しています。

5 省エネ・低ランニングコストを実現

- スリープモードを採用し、節電モード時 10W の低消費電力を実現しました。（エナジースター取得）
- トナーセーブ / マルチページ印刷機能により、ランニングコストを低減できます。
- トナーカートリッジとプロセスカートリッジを別々に交換し、回収トナーを出さない現像方式としています。
- 省電力でシンプルな構造の Digital LED ヘッドを採用し、エンジンの小型化と部品点数の低減を実現しています。

6 接続インターフェースの多様化

- USB2.0 インターフェースを標準で装備しています。
- オプションのプリンタ LAN カードを実装することでネットワークプリンタとして利用できます。

7 各種ネットワークサービスへの対応

TCP/IP(lpr,IPP,HTTP,DHCP)、UDP/IP(SNMP) をサポートし、Web ブラウザからプリンタの状態監視 / 設定変更が可能 (Printia LASER Internet Service) になりました。また、プリンタステータスを E メールにて通知可能です（E-Mail サービス）。

CD-ROM の内容

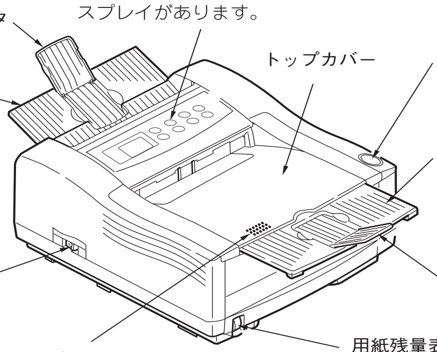
本製品には、「Printia LASER プリンタソフトウェア」CD-ROM が同梱されています。この中に収められている主なファイルは、次のとおりです。

CD-rom	
ADREADER	Acrobat Reader
BARCODE	かんたんバーコードLite
drvinst	プリンタドライバのインストーラ
Fjxldrv	XL-2300Gドライバ用フォルダ
2KXP2003	・Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008用プリンタドライバ（V1.1.1）
Win9xme	・Windows 98/Me用プリンタドライバ（V1.0.0）
WinNT	・Windows NT4.0用プリンタドライバ（V1.0.5）
x64	・Windows x64 Edition用プリンタドライバ（V1.1.1）
Manual	「XL-2300Gネットワークガイド」のPDFマニュアル
PBARRIER	「PrintBarrier」お試し版
REPOAGNT	「RepoAgent」お試し版
utility	プリンタ関連ユーティリティ用フォルダ
FJLPR	・LPRユーティリティ用インストーラ
Readme.txt	CD-ROM全体のReadmeファイル
xlsetup.exe	CD-ROM全体の統合インストーラ(メインメニュー)

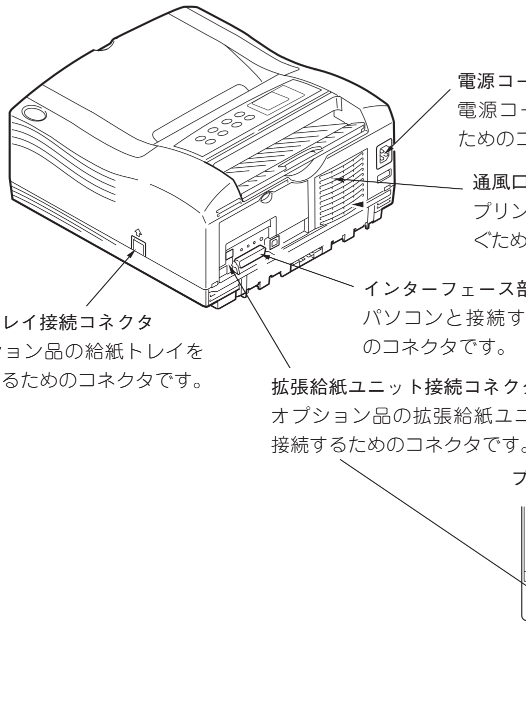
各部の名称と機能

本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

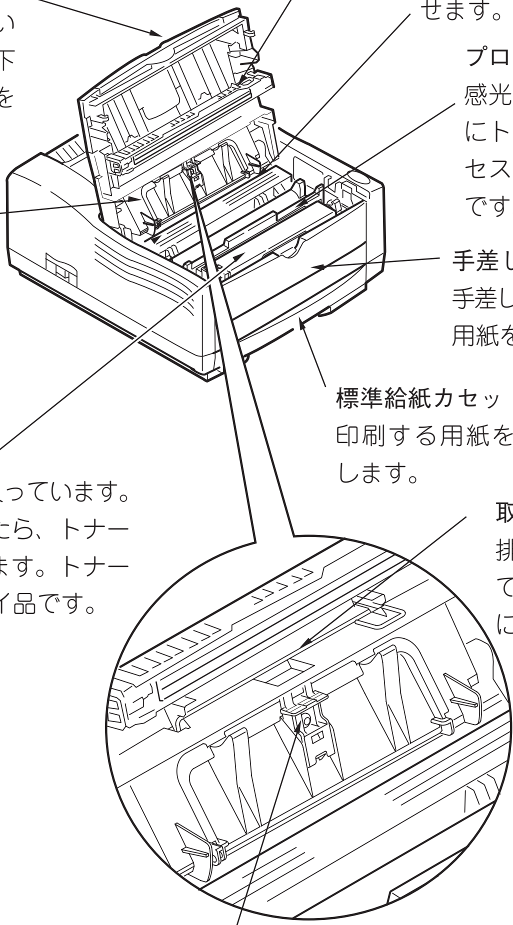
前面



背面



内部



LED ヘッド
感光ドラムに印刷する文字を書き込みます。

定着器
トナーを熱で用紙に定着させます。

トップカバー＊
プリンタ内を保護しています。また、印刷面を下にして排出された用紙を受けます。

プロセスカートリッジ
感光ドラムに書き込まれた文字にトナーを付着させます。プロセスカートリッジはサプライ品です。

アクセスカバー
定着器の排出部に用紙がつまった場合に本カバーを開けて用紙を取り出します。

手差しトレイ
手差し印刷をするときに、用紙を差し込みます。

標準給紙カセット
印刷する用紙をセットします。

トナーカートリッジ
印刷に必要なトナーが入っています。中のトナーがなくなったら、トナーカートリッジを交換します。トナーカートリッジはサプライ品です。

取り出し棒
排出部につまった用紙を指でうまく取り出せない場合に使用します。

ロックレバー
アクセスカバーを開ける場合に本レバーを下に押して引き出します。

＊：トップカバーを閉じるときは、トップカバー上面のディンプルマークを押してください。

第2章
プリンタの設置

この章では、プリンタを設置し、プリンタ単体で正しく動作することを確認するまでの手順を、順を追って説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

・いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　温度　10 ～ 32 ℃　　湿度 20 ～ 80%RH（結露しないこと）
　湿度 80%RH のときは温度 18 ～ 27 ℃、温度 10 ℃のときは湿度 73%RH 以下、温度 32 ℃のときは湿度 54%RH 以下でご使用ください。
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、製品の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
・プリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙探知機、温度センサなど）が施された場所に設置してください。また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

⚠ 警告

感　電	・電源コンセントは本製品専用にお使いください。 １つの電源コンセントを本製品専用にしてください。 複写機やエアコンなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。 電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。 発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本製品の定格電源は、100V、7A です。 ・プリンタを 10°以上傾けないでください。 転倒などによりけがの原因となることがあります。 ・プリンタや他の機器の、電源コードの上にプリンタを載せないでください。 電源コードが傷付き、感電、火災、故障の原因となります。

・ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害や磁界障害が発生する場合は、本製品の電源を切ってこれらの障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
・本製品とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
　（特に磁界障害が発生した場合は、プリンタから 20cm 以上離すようにしてください。）
・本製品とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
・本製品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

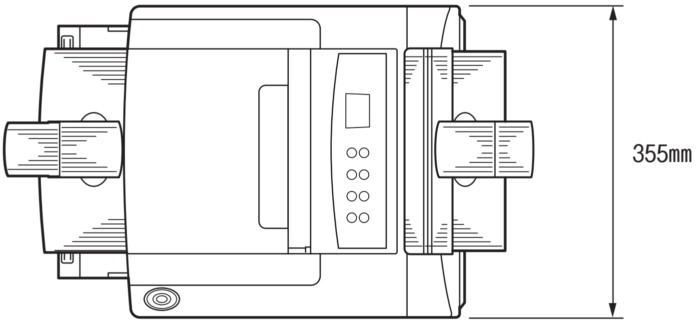
お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

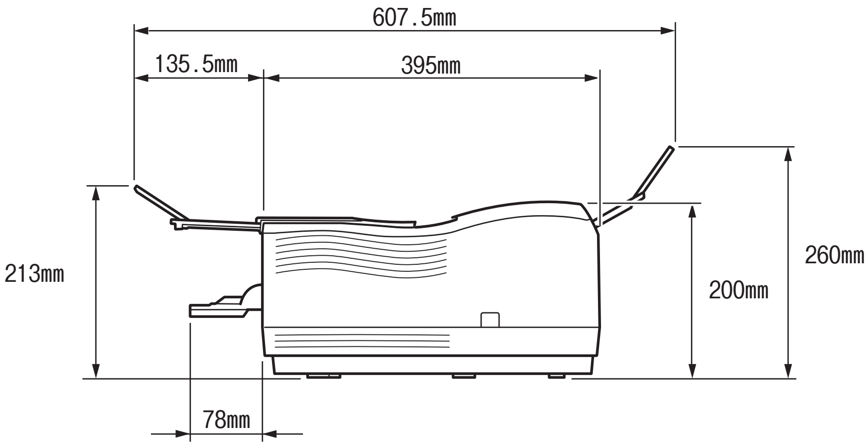
プリンタの寸法および設置スペース

装置の外形寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

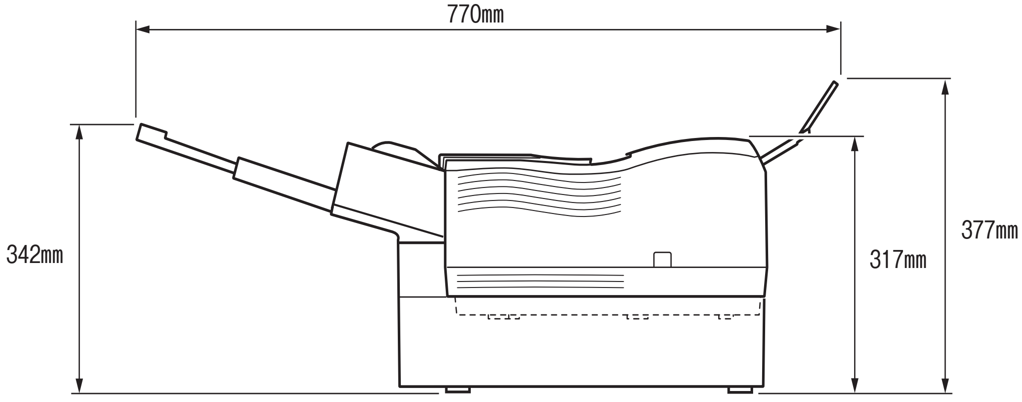
上面図



側面図（標準）



側面図（給紙トレイと拡張給紙ユニット装着時）



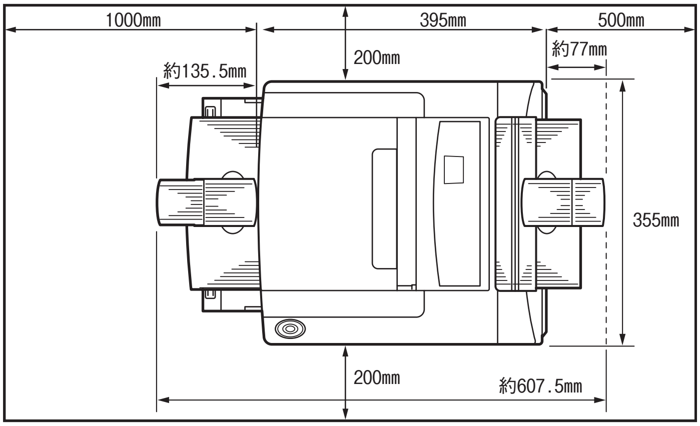
⚠ 注意

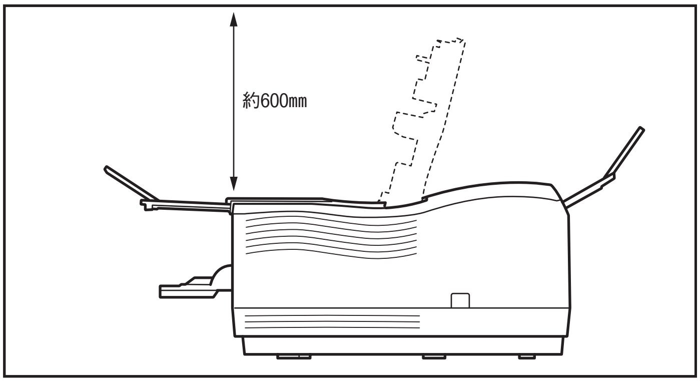
火　災	製品の側面および背面には通風口があります。通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、製品の操作、消耗品の交換、および日常の点検など、製品を正しく使用し、製品の性能を維持するために、上図の設置スペースを確保してください。

設置スペースについて

⚠ 警告

感 電　プリンタの側面および背面には通気口があります。プリンタ側面は 200mm、背面は 500mm 以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
また、プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、本製品を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。
プリンタの上部には日常の操作に必要な 600mm 以上のスペースを確保してください。





プリンタ本体の設置スペース（幅×奥行×高さ）
1895 × 755 × 260mm

設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

梱包品を確認する

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品を確認する」（32 ページ）に記載してあります。

⚠ 注意	故　障	プリンタの中に未使用のプロセスカートリッジが取り付けられていますが、電源を入れる前に必ずプロセスカートリッジの保護シートと透明フィルムを取り外してください。故障の原因になります。

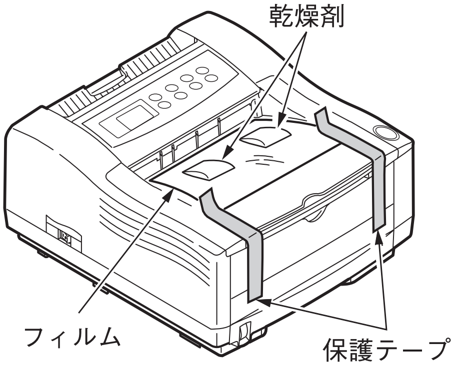
プリンタを設置する

プリンタを設置場所に移動します。設置場所については、『XL-2300G 設置ガイド』を参照してください。

保護具を取り外す

1 プリンタ前部の保護テープ（2ヶ所）をはがす

乾燥剤とフィルムもいっしょに取り除きます。



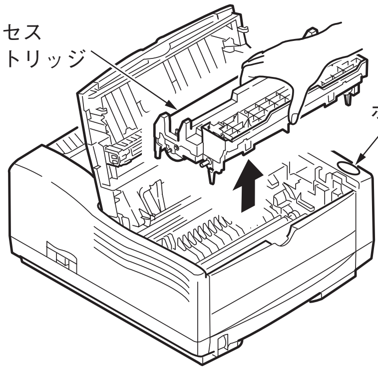
⚠ 注意	故　障	保護テープを付けたままプリンタを使用すると、故障の原因になります。

カートリッジを取り付ける

本製品は、未使用のプロセスカートリッジがプリンタ本体に取り付けられています。本製品の電源を入れる前に、必ずプロセスカートリッジおよびトナーカートリッジを取り出し正しく取り付け直してください。

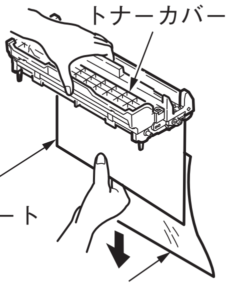
1 オープンボタンを押し、トップカバーを開く

2 プロセスカートリッジの手前側（トナーカバー側）を少し持ち上げ、そのまま静かに上に取り出す



3 プロセスカートリッジの中央部を手でしっかり押さえ、保護シートを矢印の方向に引き抜く

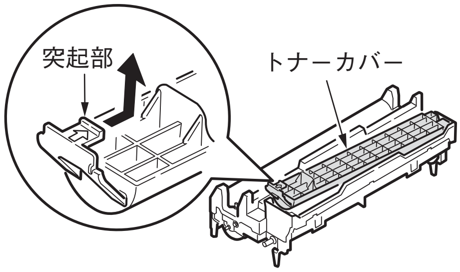
透明フィルムもいっしょに取り除きます。（透明フィルムは、保護シートにテープで留めてあります。）



⚠ 注意

故　障	電源を入れる前に必ずプロセスカートリッジの保護シートと透明フィルムを取り外してください。故障の原因になります。

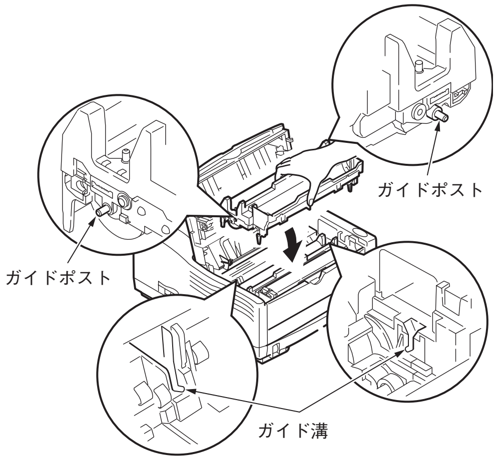
4 突起部を矢印方向に押し、トナーカバーを取り外す



お願い

- トナーカバーを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上で行ってください。
- トナーカバーは不燃物として処理してください。

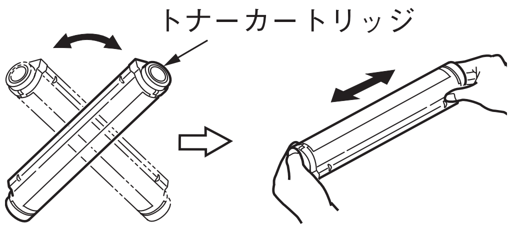
5 左右のガイドを本体の溝に合わせ、手順2と逆の手順でプロセスカートリッジの前方を少し下向きにして、左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせてはめ込む。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットする



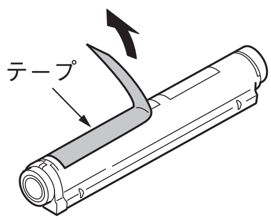
お願い

- 感光ドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷付きやすいため、絶対に手を触れないでください。
- プロセスカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。また、室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

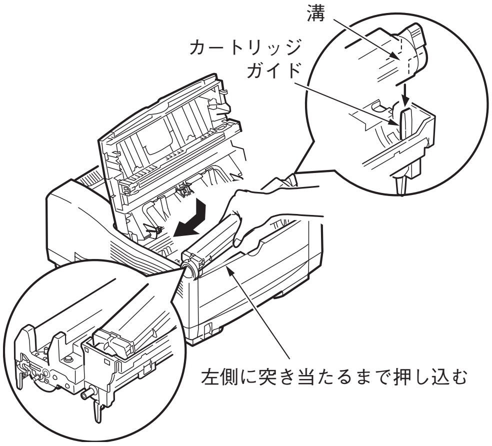
6 トナーカートリッジを包装袋から取り出し、図のように縦と横に数回振る



7 トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがす



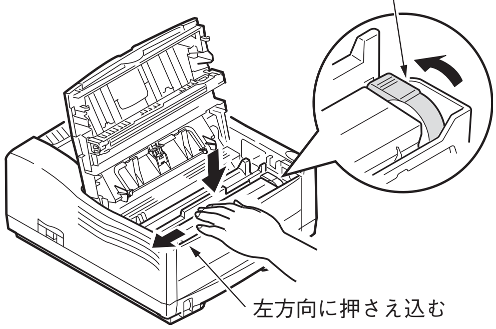
8 テープをはがした面を下にしてトナーカートリッジの左側のガイドをプロセスカートリッジのカートリッジ押さえの下に入れる。トナーカートリッジ右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせ、水平にしっかりと押さえ込む



お願い

トナーカートリッジは、左側に突き当たるまで押し込んでください。

9 トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で左方向に押さえ込みながら、右側のノブを矢印方向に止まるまで回す



10 トップカバーを閉じる

ガイド

- トナーカートリッジの交換または取り付け後に、「トナーロー」または「トナー　コウカン」表示が消えないことがありますが、故障ではありません。この場合、トップカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作後、「トナーロー」または「トナー　コウカン」の表示が消えることをご確認ください。
- 5 ～ 6 回、トップカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作しても、「トナーロー」または「トナー　コウカン」表示が消えないときは、トナーカートリッジをセットし直してください。
- トナーカートリッジが正しく固定されていない場合、印刷品質が低下することがあります。
- トップカバーを閉じるときは、トップカバー上面の手前左側（小さな丸い刻印がある所）を押してください。

用紙をセットする

給紙カセットや給紙トレイに用紙をセットする方法や使用できる用紙については、「第 6 章　用紙について」（115 ページ）を参照してください。

拡張給紙ユニット（オプション品）を取り付ける

オプションの拡張給紙ユニットを購入している場合は、ここでプリンタ本体に取り付けます。標準カセットと合わせて最高 750 枚の用紙をセットして、使用できるようになります。

⚠ 警告

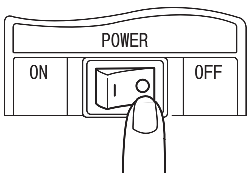
感　電	・拡張給紙ユニットを取り付けたり、取り外したりするときは、電源スイッチが切れている（「○」側に倒れている）ことを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 感電または故障の原因となります。 ・拡張給紙ユニットは、当社推奨品以外は接続しないでください。 感電や火災または故障の原因となります。

⚠ 注意

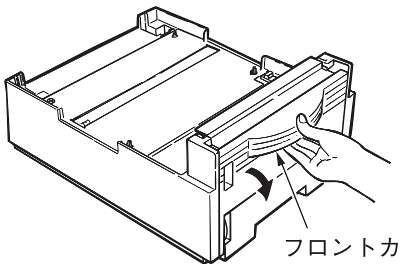
け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は充分に注意してください。手を傷付けるおそれがあります。 ・プリンタ本体と拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・拡張給紙ユニットの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

1 プリンタの電源が切れていることを確認する

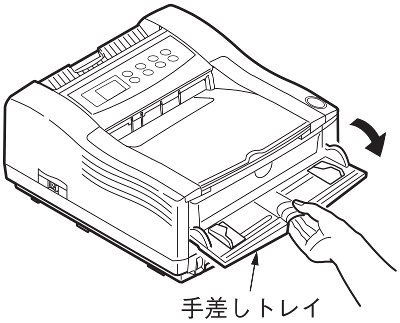
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。



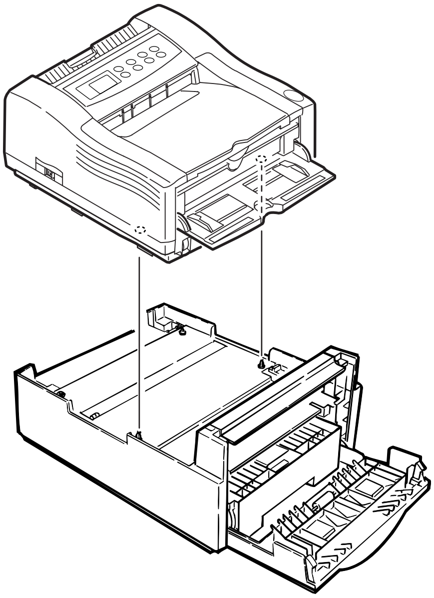
2 フロントカバー内部の取っ手を握って手前へ引き、フロントカバーを倒す



③ 手差しトレイを開く

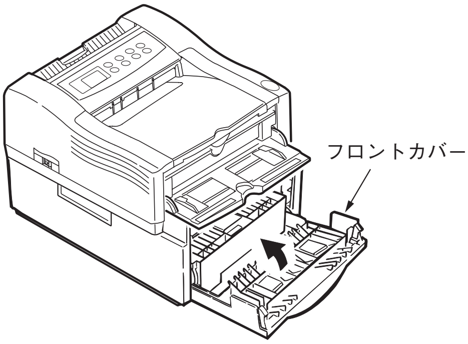


④ 拡張給紙ユニットにプリンタを載せる



⑤ フロントカバーを閉じる

手順②で開けたフロントカバーを元に戻します。

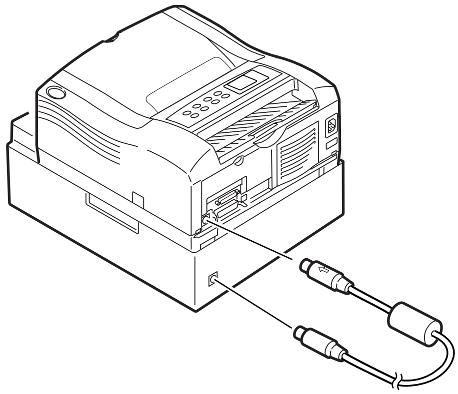


お願い

手差しトレイを閉じてプリンタを載せた場合は、無理に開けずもう一度プリンタを持ち上げて、手差しトレイを開いてから載せてください。

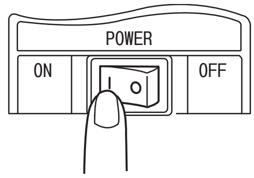
6 プリンタと拡張給紙ユニットをケーブルで接続する

プリンタ本体側へはケーブルの矢印部分を上にし、拡張給紙ユニット側はコネクタの矢印にケーブルの矢印を合わせて差し込みます。



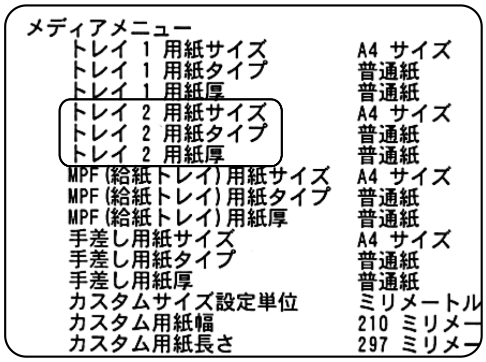
7 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を入れる

電源スイッチを「|」側に倒します。



8 設定内容の一覧を印刷し、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられていることを確認する

メディアメニューに「トレイ 2 用紙サイズ」「トレイ 2 用紙タイプ」「トレイ 2 用紙厚」と印刷されていることを確認します。



参照 「プリンタの設定内容を確認する」（61 ページ）参照

9 プリンタを選択する

Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合

〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔プリンタとその他のハードウェア〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順に選択します。

10 プロパティを開く

Windows 98/Me の場合

　　プリンタアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択します。

Windows NT 4.0 の場合

　　プリンタアイコンを右クリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。

Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合

　　プリンタアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択します。

11 〔用紙〕タブの〔給紙オプション〕をクリックする



12 〔拡張給紙ユニット〕にチェックを付け、〔OK〕をクリックする

プリンタドライバで拡張給紙ユニットが設定されます。

お願い

プリンタ本体に拡張給紙ユニットを取り付け後、手差しトレイを強引に開くと、拡張給紙ユニットのフロントカバー部が壊れる可能性があります。取り扱いには注意してください。また、取り付け時に手差しトレイを開け忘れていた場合は、いったんプリンタを拡張給紙ユニットから取り外し、手差しトレイを開けてから、拡張給紙ユニットを取り付けてください。

給紙トレイ（オプション品）を取り付ける

オプションの給紙トレイを購入している場合は、ここでプリンタ本体に取り付けます。
オプション品の拡張給紙ユニットと併用する場合は、先に拡張給紙ユニットを取り付けてください。（「拡張給紙ユニット（オプション品）を取り付ける」（47 ページ）を参照 ）

⚠ 警告	感　電	・給紙トレイを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが切れている（「○」側に倒れている）ことを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 感電または故障の原因となります。 ・給紙トレイを接続する場合には、当社推奨品以外は接続しないでください。 感電や火災または故障の原因となります。

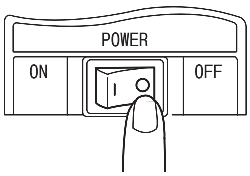
⚠ 注意	け　が	・給紙トレイの金属部分に手を触れる場合は充分に注意してください。手を傷付けるおそれがあります。 ・プリンタ本体と給紙トレイの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・給紙トレイの装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

ガイド

給紙トレイをプリンタドライバやプリンタのメニュー設定では、MPF（給紙トレイ）と表示します。

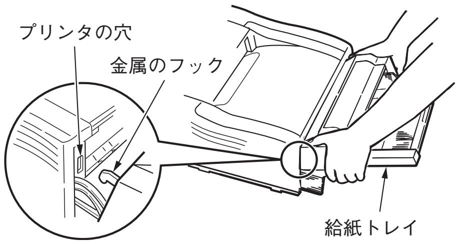
1 **プリンタの電源が切れていることを確認する**

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。



2 **手差しトレイを開く**

3 給紙トレイのフック（2ヶ所）をプリンタの穴に差し込み、下げる

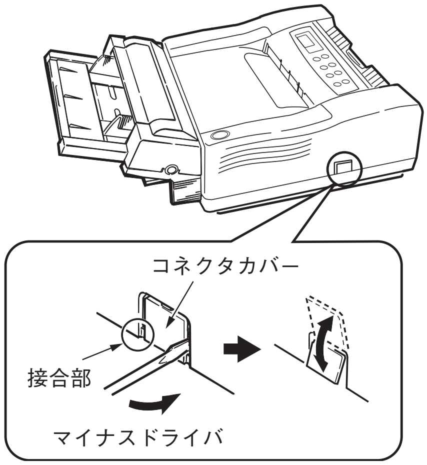


4 プリンタ本体側面のコネクタカバーを外す

コネクタカバーとプリンタカバーの間にマイナスドライバを差し込み、そのまま矢印方向にマイナスドライバを倒し、左右の接合部を外します。次にコネクタカバーを手で上下に折り曲げて外します。

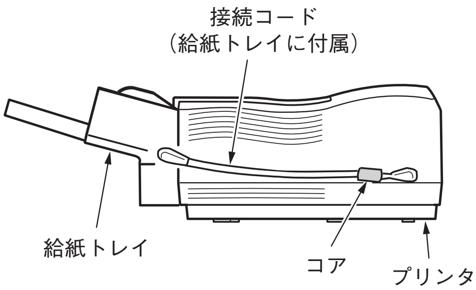
お願い

マイナスドライバをねじらないでください。ねじるとプリンタカバーに傷が付きます。



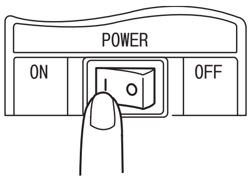
5 接続コードを取り付ける

接続コード（給紙トレイに添付）のコア側をプリンタに差し込みます。次に接続コードのもう一方を給紙トレイに差し込みます。



6 プリンタの電源を入れる

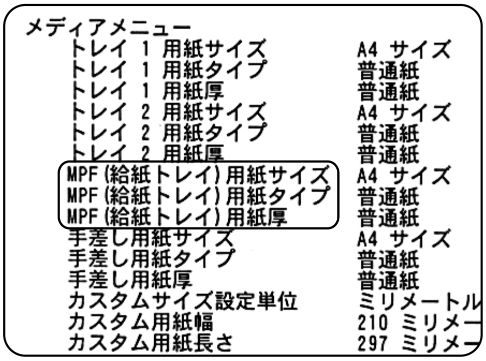
電源スイッチを「|」側に倒します。



7 設定内容の一覧を印刷し、給紙ユニットが正しく取り付けられていることを確認する

メディアメニューに「MPF（給紙トレイ）用紙サイズ」「MPF（給紙トレイ）用紙タイプ」「MPF（給紙トレイ）用紙厚」と印刷されていることを確認します。

参照 「プリンタの設定内容を確認する」（61 ページ）参照



8 プリンタを選択する

Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合

〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔プリンタとその他のハードウェア〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択します。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順に選択します。

9 プロパティを開く

Windows 98/Me の場合

プリンタアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕を選択します。

Windows NT 4.0 の場合

プリンタアイコンを右クリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。

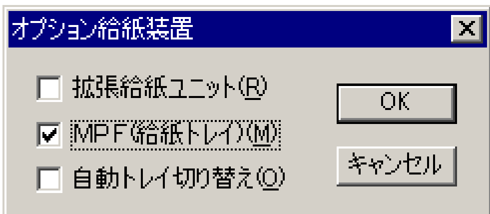
Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合

プリンタアイコンを右クリックし、〔印刷設定〕を選択します。

10 〔用紙〕タブの〔給紙オプション〕をクリックする

11 〔MPF（給紙トレイ）〕にチェックを付け、〔OK〕をクリックする

プリンタドライバで給紙ユニットが設定されます。



プリンタ LAN カードを取り付ける

『プリンタ LAN カード XL-LN100PG 設置ガイド』または『XL-2300G ネットワークガイド』「第 1 章 ネットワークプリンタの設定」の「プリンタ LAN カードを取り付ける」を参照し、プリンタ LAN カードの取り付けおよび初期化を行ってください。

参照　本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収められている『XL-2300G ネットワークガイド』を参照

ケーブルを接続する

ローカルプリンタで使用する場合は、プリンタケーブルまたはプリンタ USB ケーブルを使用して、プリンタとパソコンを直接接続します。
ネットワークプリンタとして使用する場合は、プリンタ LAN ケーブルを使用して、プリンタをネットワークに接続します。

ローカルプリンタとして使用する

●プリンタケーブル

本製品は IEEE 1284 準拠のパラレルインターフェースを標準装備しています。
接続ケーブルについては、次の制約があります。
・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
・ケーブルの長さは、1.5m 以下の物をお使いください。
・プリンタケーブルとプリンタ USB ケーブルは、同時に接続できます。

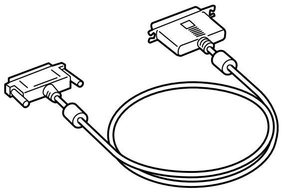
⚠ 警告

感　電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠ 注意

故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。特に接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。
誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因となることがあります。

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご用意ください。



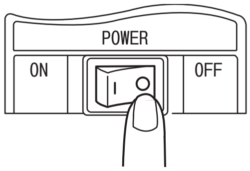
なお、本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは次の物が用意されています。

品　名	型　名	備　考
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

次の手順に従って、プリンタケーブルを接続してください。

1 **プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する**

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。



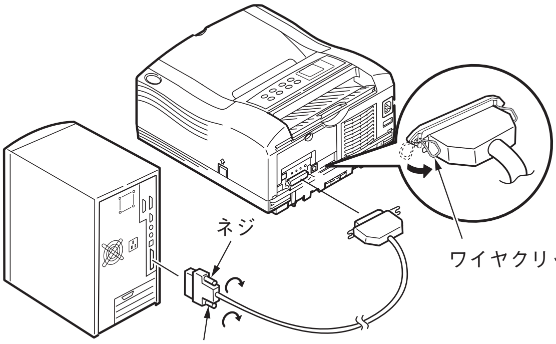
お願い

プリンタケーブルを接続するときは、必ずパソコンの電源も切ってください。

2 **プリンタのパラレルインターフェースのコネクタにプリンタケーブルを差し込み、コネクタ両端のワイヤクリップで固定する**

3 **プリンタケーブルのもう一方のコネクタを、パソコンに接続する**

パソコン側への接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

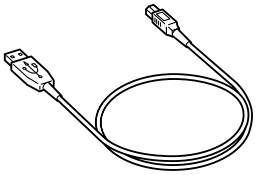


●プリンタ USB ケーブル

本製品は USB インターフェース（フルスピードモード：12Mbps）を標準装備しています。
接続ケーブルについては、以下の制約があります。

- Windows 95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- Windows NT 4.0 では動作しません。
- パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本製品と接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- プリンタケーブルとプリンタ USB ケーブルは、同時に接続できます。
- USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。

なお、本製品には USB ケーブルは添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途ご購入ください。別売りケーブルは次の物が用意されています。

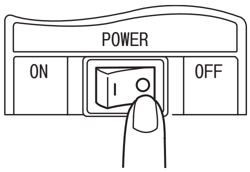


品　名	型　名	備　考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

次の手順に従って、プリンタ USB ケーブルを接続してください。

1 プリンタとパソコンの電源が切れていることを確認する

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。



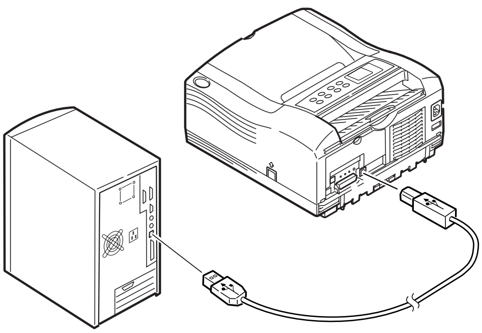
お願い

プリンタ USB ケーブルを接続するときは、必ずパソコンの電源も切ってください。

2 プリンタの USB インターフェースコネクタにプリンタ USB ケーブルを接続する

3 プリンタ USB ケーブルの他方を、パソコンに接続する

パソコン側への接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。



2

セットアップ編

ネットワークプリンタとして使用する

本製品が対応している LAN インターフェースは、次のとおりです。
・100BASE-TX（FULL：全二重モード /HALF：半二重モード）に対応
・10BASE-T（FULL：全二重モード /HALF：半二重モード）に対応

お願い

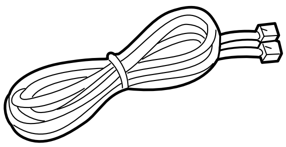
**ネットワークプリンタとして使用するには、事前にオプションのプリンタ LAN カードを取り付けておく必要があります。
取り付け方法については、プリンタ LAN カード用の設置ガイドまたは本製品に添付されたプリンタソフトウェア CD-ROM 内にある『XL-2300G ネットワークガイド』（NetworkGuide.pdf）を参照してください。**

参照　本製品をネットワークプリンタとして使用する場合は、オペレータパネルを使用してネットワーク情報（IP アドレス /HUB LINK のモードなど）を設定する必要があります。詳しくは、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 1 章　ネットワークプリンタの設定」「IP アドレスを設定する」を参照してください。

プリンタ LAN ケーブルは、使用しているネットワークの接続形態に合ったツイストペアケーブルを用意してください。

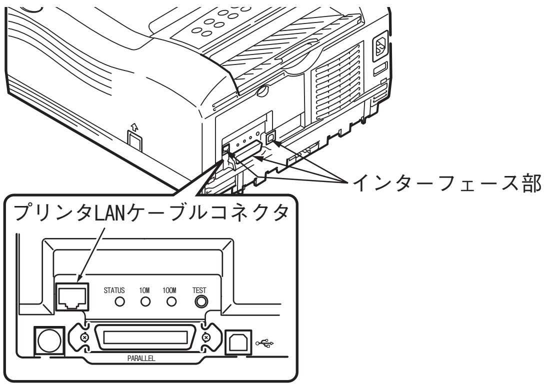
ガイド

100BASE-TX の場合は、カテゴリー5、またはエンハンスドカテゴリー 5 のツイストペアケーブルが必要です。



警告	感　電	作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

1 プリンタ本体背面のプリンタ LAN ケーブルコネクタに、プリンタ LAN ケーブルを接続する



電源を入れる

⚠ 警告

感　電　・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本製品の定格電源は、100V、7A となっています。
・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

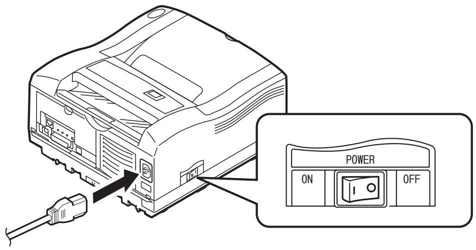
⚠ 注意

故　障　電源を入れる前に必ずプロセスカートリッジの保護シートと透明フィルムを取り外してください。故障の原因になります。

次の手順に従って、電源を入れてください。

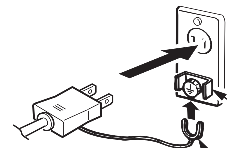
1 電源コードをプリンタ本体背面にある電源コードコネクタに差し込む

電源が切れていることを確認してから作業してください。



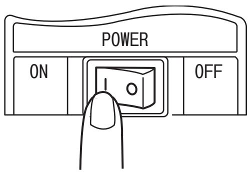
2 電源プラグをコンセントに差し込む

コンセントにアースが付いている場合は、アースも接続します。

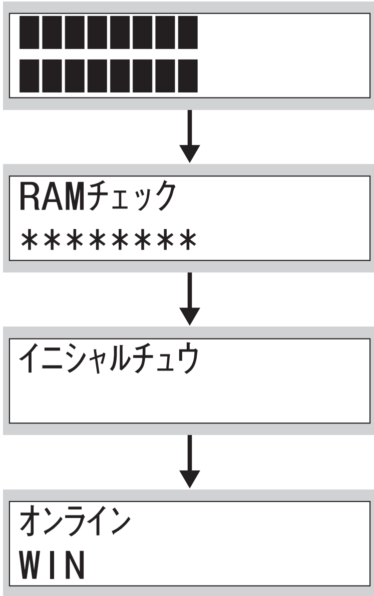


3 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「｜」側を押す

電源が入ります。



4 オペレータパネルの液晶ディスプレイに、〔イニシャルチュウ〕と表示される。この表示が〔オンライン WIN〕に変わることを確認する

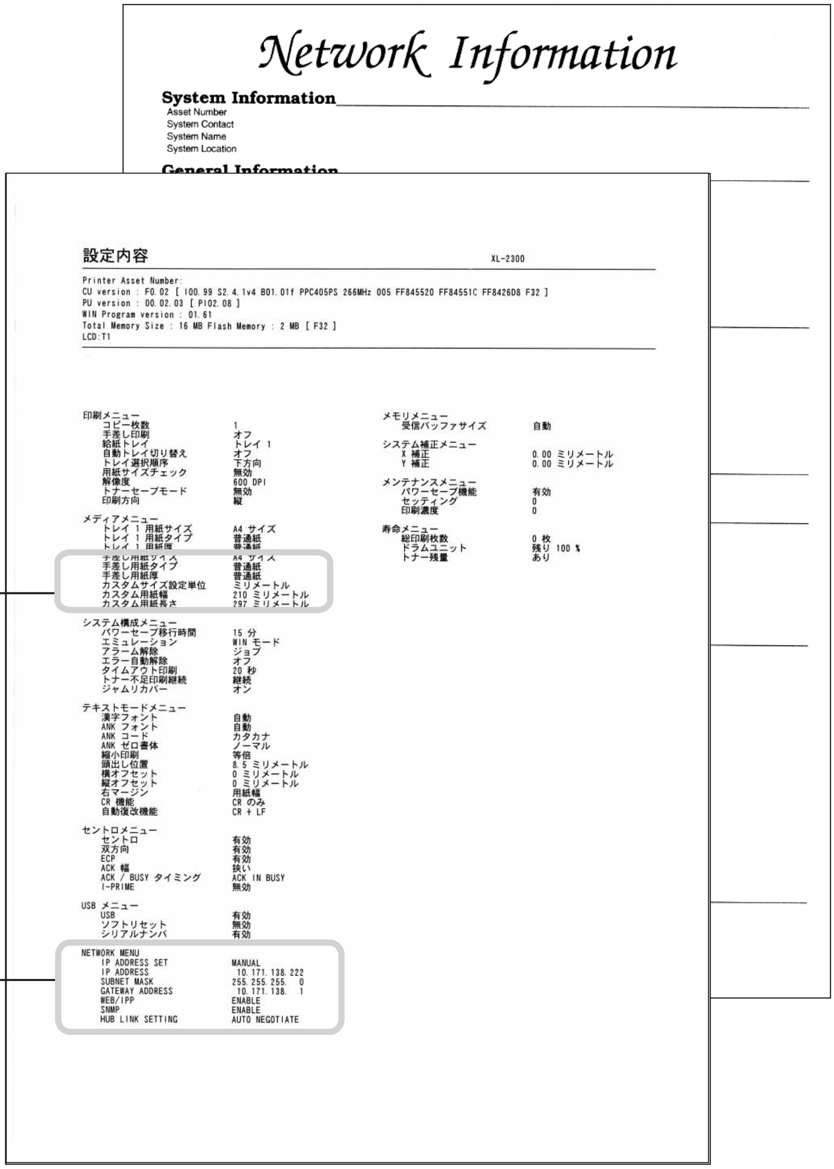


参照　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、「メッセージが表示されるとき」（224 ページ）を参照してください。

プリンタの設定内容を確認する

プリンタの設置後は設定内容の一覧を印刷し、オプション品が正しく取り付けられているか、またプリンタが正しく設置され、動作しているかどうかを確認してください。

参照　「設定内容の一覧を印刷する」（157 ページ）を参照


Network Information

System Information
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

設定内容　XL-2300

Printer Asset Number:
CU version : F0.02 [100.99 S2.4.1v4 B01.01f PPC405PS 266MHz 005 FF845520 FF84551C FF8426D8 F32]
PU version : 00.02.03 [P102.08]
WIN Program version : 01.61
Total Memory Size : 16 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
LCD:T1

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	無効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	WIN モード
アラーム解除	ジョブ
エラー自動解除	オフ
タイムアウト印刷	20 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
テキストモードメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8.5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF
セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
シリアルナンバ	有効
NETWORK MENU	
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	10.171.138.222
SUBNET MASK	255.255.255. 0
GATEWAY ADDRESS	10.171.138. 1
WEB/IPP	ENABLE
SNMP	ENABLE
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
システム補正メニュー	
X 補正	0.00 ミリメートル
Y 補正	0.00 ミリメートル
メンテナンスメニュー	
パワーセーブ機能	有効
セッティング	0
印刷濃度	0
寿命メニュー	
総印刷枚数	0 枚
ドラムユニット	残り 100 %
トナー残量	あり

オプション品の情報が印刷されます。

プリンタの環境を設定する

『XL-2300G 取扱説明書』「第 3 章　外部との接続」（63 ページ）、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 1 章 ネットワークプリンタの設定」を参照して、必要な設定を行ってください。
環境設定が終了したら『XL-2300G 取扱説明書』「第 4 章　プリンタドライバのインストール」（71 ページ）を参照して、各クライアントにプリンタドライバをインストールしてください。

参照　本製品添付の CD-ROM に収められているネットワークガイドを参照

第3章
外部との接続

この章では、本製品をパソコンまたはLANに接続する方法について説明します。

インストールの手順と設定の概要

プリンタの設置が終わったら、パソコンまたは LAN と接続し、印刷するために必要な設定を行います。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なりますので、次の図を参照し、必要な設定を行ってください。
設定は❶プリンタ❷サーバまたはパソコン（管理者）❸クライアントまたはパソコンの順に行ってください。

ガイド

接続・運用形態は、お使いの環境にあわせて以下を目安に選択してください。

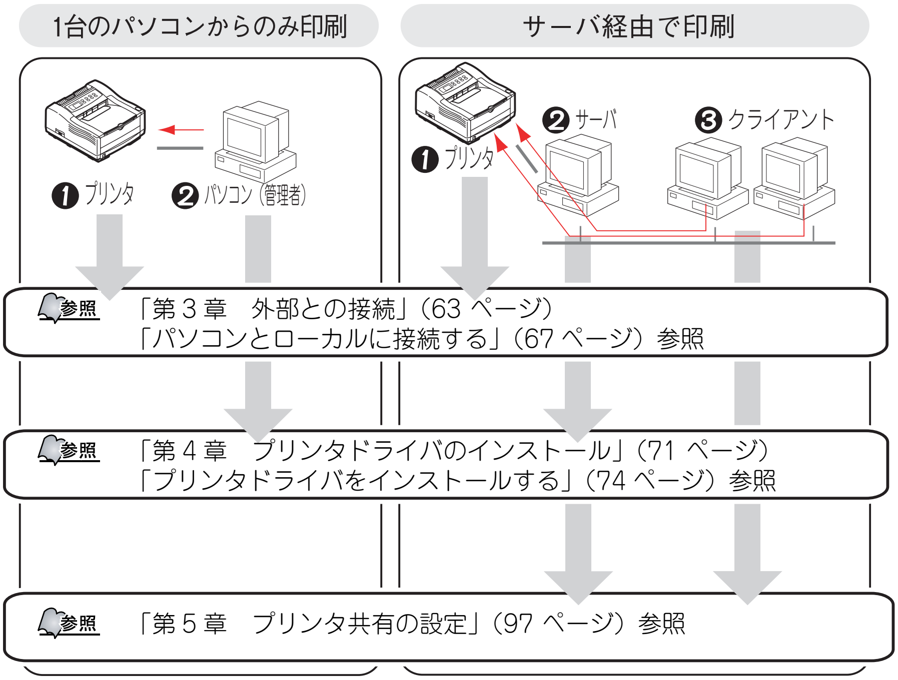
- プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルで接続
  1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合
- プリンタ LAN ケーブルで接続
  プリンタの設置場所が自由、データの転送速度が高速、またインターネットを利用して印刷する場合

サーバ経由で印刷すると、ホスト側の設定 / 管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

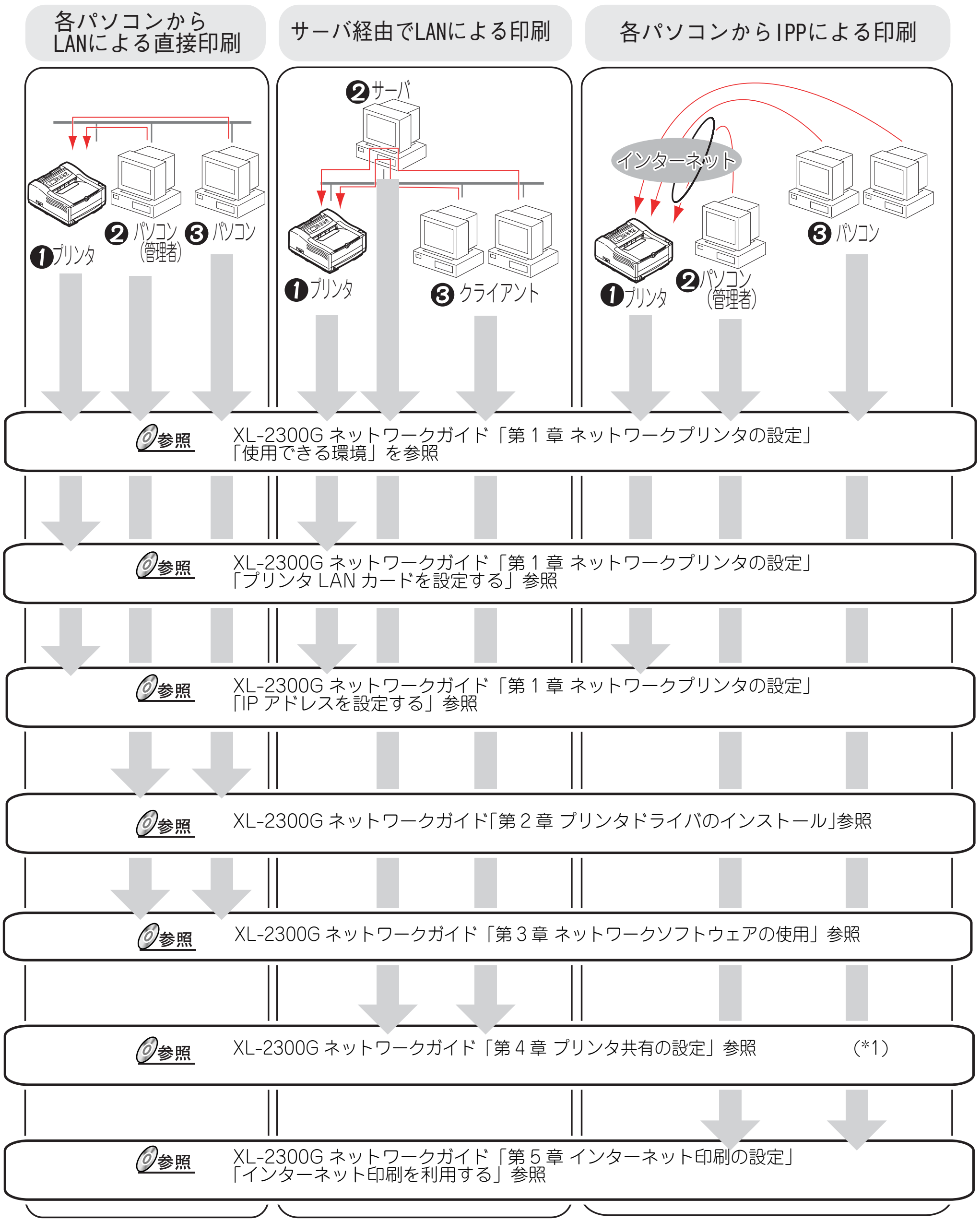
お願い

- ネットワークガイドは本体に添付されているソフトウェア CD-ROM 内に収められています。（(13 ページ、34 ページ) を参照）
- 本製品をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワークガイドを参照してください。

プリンタケーブル/プリンタUSBケーブルで接続するとき



プリンタLANケーブルで接続するとき（プリンタLANカード搭載時）



*1:　本書の「第５章　プリンタ共有の設定」（97 ページ）と同一の手順となります。

参照　設定手順について、詳しくは装置添付のプリンタソフトウェア CD-ROM 内にあるネットワークガイド（PDF ファイル）を参照

パソコンとローカルに接続する

本製品は、セントロニクス準拠のパラレルインターフェースと USB インターフェース（フルスピードモード：12Mbps）を標準装備しています。パラレルインターフェースまたは USB インターフェースにパソコンを接続する方法については、「第 2 章　プリンタの設置」の「ローカルプリンタとして使用する」（55 ページ）を参照してください。

⚠ 警告	感 電	プリンタケーブルを接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠ 注意	故 障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

・切替器を利用して本製品とパソコンを接続すると、プリンタが応答しなかったり、文字化けしたりする原因となります。パソコンとプリンタは、1 対 1 で接続してください。
・プリンタケーブル / プリンタ USB ケーブルについては、次の制約があります。
  − パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
  − ケーブルの長さは、プリンタケーブルは 1.5m 以下、プリンタ USB ケーブルは 5m 以下の物をお使いください。
・本製品には、プリンタケーブルおよびプリンタ USB ケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。

ネットワーク経由で接続する

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-2300G とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー５、またはエンハンスドカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。

お願い

ネットワークプリンタとして使用するには、オプションのプリンタ LAN カードが必要となります。

⚠ 注意

故 障	プリンタ LAN ケーブルを接続するときは、必ず本製品の電源を切ってください。電源を切らずに接続すると誤動作の原因となります。

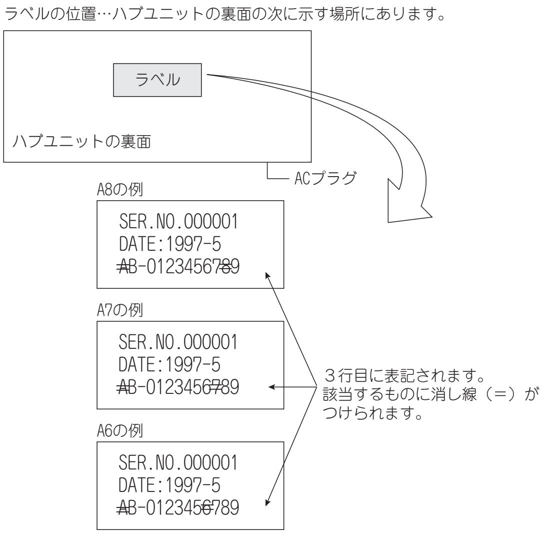
プリンタ LAN ケーブルの接続方法については、「第２章　プリンタの設置」の「ネットワークプリンタとして使用する」（58 ページ）を参照してください。

LAN に接続するときの注意事項

●本製品のイーサネットタイプは、「自動」「100Mbps Full/Half」「10Mbps Full/Half」の中から選ぶことができます。プリンタのイーサネットタイプは、メニューモードの「Network」にある「Hub Link」で変更します。通常は「自動」（デフォルト）でご使用ください。
●プリンタ LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のイーサネットタイプを同じ規格に設定してください。

参照　メニューモードについては、「第 8 章　オペレータパネルの操作」（171 ページ）の「共通メニュー画面の設定一覧」（178 ページ）を参照

ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
なお、プリンタとハブユニットの Ethernet タイプを「自動」以外の固定値に設定することで、なんらかの要因で回線の切断が一時的に発生しても、その後の通信再開がより速やかになります。
●ハブユニットに STP（スパニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。
●ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
・ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（287 ページ）にご相談ください。
ラベルの見かたを次の図に示します。



●特定のスイッチングハブ（SH1516 など）で、ハブ側の通信モードがオートネゴシエーション設定でプリンタ側の Hub Link 設定が Full 固定の場合、印刷性能が遅くなることがあります。その場合は、ハブとプリンタの通信モードを、両方とも Full か Half 固定に合わせて設定することにより、遅くなる現象を回避できることがあります。

3
セットアップ編

パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、さらに 2 台のパソコンをパラレルポートと USB ポートに接続することができます。
パラレルポート、USB ポート、LAN ポートの各ポートにパソコンを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
・1 つのポートを使用して印刷している場合、その他のポートは使用できません。3 つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、1 つのパソコンからの印刷が完了してからその他の印刷を再開してください。
・1 つのポートで未印刷データがある場合、その他のポートには切り替わりません。

お願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタから USB ケーブルやプリンタ LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

第4章
プリンタドライバのインストール

この章では、パソコンとローカル接続でプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

プリンタドライバインストールの概要

ホストから印刷するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。プリンタドライバとは、ホストからの印刷データや印刷指示を、本製品が解釈できるデータに変換するソフトウェアです。
ここでは、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を使って XL-2300G プリンタドライバをインストールするために必要な環境について説明します。

参照　「プリンタドライバをインストールする」（74 ページ）参照

ホスト環境について

サポートしている OS、システム環境は次のとおりです。

Windows 98

Windows 98 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows Me

Windows Me 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows NT 4.0

Windows NT Server 4.0 日本語版もしくは Windows NT Workstation 4.0 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows 2000

Windows 2000 Professional 日本語版もしくは Windows 2000 Server 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows XP/Windows XP x64 Edition

Windows XP Professional 日本語版もしくは Windows XP Home Edition 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows Server 2003/Windows Server 2003 x64 Edition

Windows Server 2003 Standard Edition 日本語版もしくは Windows Server 2003 Enterprise Edition 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows Vista/Windows Vista x64 Edition

Windows Vista Ultimate 日本語版、 Windows Vista Home Premium 日本語版、 Windows Vista Home Basic 日本語版、 Windows Vista Business 日本語版、 または Windows Vista Enterprise 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

Windows Server 2008/Windows Server 2008 x64 Edition

Windows Server 2008 Standard Edition 日本語版もしくは Windows Server 2008 Enterprise Edition 日本語版の動作するパーソナルコンピュータ
FMV シリーズおよび PC/AT 互換機

ガイド

- DOS アプリケーションには対応していません。
- WIN-OS/2、および Windows NT3.51 以下のバージョンには対応していません。
- Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の各英語版には対応していません。
- 〔プリンタの追加〕からもプリンタドライバをインストールできます。プリンタソフトウェア CD-ROM 内の「Fjxldrv」フォルダを開き、お使いの OS に合わせて、「Win9xme」フォルダ（Windows 98/Me 用）、「WinNT」フォルダ（Windows NT 4.0 用）、「2KXP2003」フォルダ（Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 用）、または「x64」フォルダ（Windows x64 Edition 用）を選択してください。

プリンタドライバの更新およびアンインストールについて

プリンタドライバの更新およびアンインストールについては、「プリンタドライバを削除する」（92 ページ）を参照してください。

TCP/IP プロトコル使用前の確認事項

TCP/IP プロトコルを使用する前に、次のことを確認してください。
lpr を使用して印刷する場合、ホスト側では弊社製「FUJITSU LPR ユーティリティ」を使用します。FUJITSU LPR ユーティリティのインストール方法については『XL-2300G ネットワークガイド』「第 3 章 ネットワークソフトウェアの使用」の「FUJITSU LPR ユーティリティを使用する場合」を参照してください。

参照　本製品添付の CD-ROM に収められているネットワークガイドを参照

プリンタドライバをインストールする

本製品をご使用になるには、ご使用のパソコンのOSおよびパソコンがサポートしているインターフェースに適したプリンタドライバをインストールする必要があります。

インストール方法を決める

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、パソコンがサポートしているインターフェースによって異なります。

パラレルインターフェースによる接続

パソコン	双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
OS	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版
セットアップ方法	インストーラによるセットアップ (Windows 98/Me/NT 4.0/2000 日本語版) プラグアンドプレイによるインストール (Windows XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版)

パラレルインターフェースで接続するときは、次のことを確認してください。

⚠ 警告

感 電	プリンタケーブルを接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠ 注意

故 障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お 願 い

・パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
　本製品には、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。
・USB との同時接続はできません。

USB*1 による接続

パソコン	USB インターフェースを内蔵する PC/AT 互換機
OS	Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版
セットアップ方法	プラグアンドプレイによるインストール

*1：キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶ、データ送路の規格の 1 つです。

USB インターフェース接続で接続するときは、次のことを確認してください。

お願い

- Windows 95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- Windows 95/NT 4.0 では動作しません。
- パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本製品と接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パラレルとの同時接続はできません。

ガイド

USB2.0 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途ご購入ください。

共有プリンタによる接続（ネットワークを利用したインストール）

パソコン	TCP/IP をサポートする PC/AT 互換機
OS	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版
インストール方法	サーバからのネットワーク経由

参照 ネットワーク接続でのインストールに関しては「第 5 章　プリンタ共有の設定」（97 ページ）を参照

ガイド

本プリンタドライバを他機種のプリンタで使用することはできません。
また、他機種用のプリンタドライバを本製品で使用することもできません。

インストール方法

本章では、次のセットアップ方法について説明します。

●プラグアンドプレイ

Windows は起動するときに新しく接続されたプリンタを自動的に検出し、プリンタを使用するために必要な操作が画面に表示されます。その指示に従って、インストールを行います。

●プリンタの追加（通常のインストール）

・Windows 98/Me/NT 4.0/2000 の場合
〔プリンタ〕フォルダ内の〔プリンタの追加〕をダブルクリックしてインストールを開始します。

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
〔プリンタと FAX〕フォルダ内の〔プリンタのインストール〕をクリックしてインストールを開始します。

・Windows Vista/Windows Server 2008 の場合
〔プリンタ〕フォルダ内の〔プリンタのインストール〕をクリックしてインストールを開始します。

> **ガイド**
>
> プラグアンドプレイ、プリンタの追加どちらででもインストールできる環境の場合は、プラグアンドプレイでインストールすることをお勧めします。

●インストーラの利用

添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から FUJITSU XL-2300 プリンタ CD-ROM メニューを起動し、インストールします。

> **ガイド**
>
> 文中において、〔　〕で囲んだ表記はメニューやボタン、ダイアログボックス名を示し、〈　〉で囲んだ表記はダイアログボックス上に表示される文字を示します。
> また、メニューなどのうしろに（　）で囲まれている文字は、アクセスキーを示します。

パラレル接続でインストールする場合（Windows 98/Me/NT 4.0/2000）

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
ここでは、Windows 98 を例に CD-ROM 内のインストーラを使ってセットアップする方法について説明します。
添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

・パソコンとプリンタをパラレルインターフェースで接続する手順については「ローカルプリンタとして使用する」、「プリンタケーブル」（55 ページ）を参照してください。
・ご使用のパソコンにインストールされている Windows98/Me/NT 4.0/2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
・〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕からセットアップすることも可能です。

お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「README.TXT」をお読みください（CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥Fjxldrv¥Readme.txt」を参照してください）。

1. プリンタの電源が入っていないことを確認し、Windows を起動する

   お願い

   Windows NT 4.0/2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

2. プリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする
3. 〔スタート〕－〔ファイル名を指定して実行〕の順にクリックする
4. 〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「xlsetup.exe」と入力し、〔OK〕をクリックする
   CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥xlsetup.exe」と入力してください。
   富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動します。
5. 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔OK〕をクリックする
6. 〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
7. ポートで〔LPT1〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
8. 必要に応じてプリンタ名を変更する

9 チェックボックスにチェックを付け、通常使うプリンタに設定して、〔次へ〕をクリックする

Windows 98/Me をご使用の場合、ここでファイルのコピーが行われます。

ガイド

Windows 2000/NT 4.0 をご使用の場合、〔プリンタの共有〕が表示されたら、〔共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。Windows NT 4.0 では、ファイルのコピーが行われます。また、Windows 2000 をご使用の場合、〔デジタル署名が見つかりませんでした〕と表示されたら、〔はい〕をクリックしてください。ファイルのコピーが行われます。

10 〔完了〕をクリックする

11 〔スタート〕－〔Windows の終了〕の順にクリックし、Windows を再起動する

12 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。パソコンとプリンタをプリンタケーブルに接続し、プリンタの電源を入れると印刷できるようになります。

パラレル接続でインストールする場合（Windows XP/Windows Server 2003）

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP/Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

参照
「プラグアンドプレイでインストールする」（79 ページ）参照
「プリンタのインストールでインストールする」（80 ページ）参照

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「README.TXT」をお読みください（CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥Fjxldrv¥Readme.txt」を参照してください）。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- プリンタケーブルは、パソコンとプリンタの電源を切った状態で接続してください（55 ページ）。

プラグアンドプレイでインストールする

1. **Windows を起動し、管理者権限でログオンする**

2. **プリンタの電源を入れる**
   電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

3. **〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されたら、〔一覧または特定の場所からインストールする（詳細）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**
   〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合は、「〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合」（80 ページ）を参照してください。

4. **添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする**

5. **〔次の場所で最適のドライバを検索する〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索〕のチェックを外す**

6. **〔次の場所を含める〕にチェックを付け、OS に応じて以下のフォルダ名を入力し、〔次へ〕をクリックする**
   CD-ROM ドライブが F: の場合
   ・Windows XP/Windows Server 2003 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」
   ・Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」

7. **〔ハードウェアのインストール〕が表示されたら、〔続行〕をクリックする**
   ファイルのコピーが開始されます。

> **ガイド**
> 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、「ディスクの挿入が表示された場合」（79 ページ）を参照してください。

8. **〔完了〕をクリックする**

9. **〔スタート〕－〔シャットダウン〕の順にクリックし、Windows を再起動する**

10. **〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックする**
    プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
    これでインストールは完了です。

●ディスクの挿入が表示された場合

インストールの途中で〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、次の手順に従ってください。

1. **〔ディスクの挿入〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットし、〔OK〕をクリックする**

2 OS に応じて以下のフォルダ名を〔コピー元〕に入力し、〔OK〕をクリックする

CD-ROM ドライブが F: の場合
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」
・Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」
ファイルのコピーが開始されます。

3 〔完了〕をクリックする

4 〔スタート〕－〔シャットダウン〕の順にクリックし、Windows を再起動する

5 〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックする

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

●〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合

1 〔スタート〕－〔マイコンピュータ〕をマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択する

2 〔ハードウェア〕タブの〔デバイスマネージャ〕をクリックする

3 〔その他のデバイス〕の「FUJITSU XL-2300」を右クリックして〔削除〕を選択する

4 〔デバイスの削除の確認〕で〔OK〕をクリックし、〔デバイスマネージャ〕を閉じる

5 〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックする

6 Windows を再起動し、〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕から再度インストールする

プリンタのインストールでインストールする

1 Windows を起動し、管理者権限でログオンする

2 〔プリンタの追加ウィザード〕を起動する

Windows XP の場合：
〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択し、〔プリンタのインストール〕をクリックします。
Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順に選択し、〔プリンタの追加〕をクリックします。

3 〔プリンタの追加ウィザード〕が起動したら、〔次へ〕をクリックする

4 〔このコンピュータに接続されているローカルプリンタ〕を選択し、〔プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする〕のチェックを外して、〔次へ〕をクリックする

5 〔次のポートを使用〕を選択し、「LPT1：（推奨プリンタポート）」を選択し、〔次へ〕をクリックする

6 〔ディスク使用〕をクリックする

7 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットし、OS に応じて〔製造元のファイルのコピー元〕に以下のフォルダ名を入力し、〔OK〕をクリックする

CD-ROM ドライブが F の場合
・Windows XP/Windows Server 2003 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」
・Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」

8 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

ガイド

すでに他のドライバがインストールされている場合は、〈既存のドライバを使う〉と表示されたら、「新しいドライバに置き換える」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

9 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックする

10 〔このプリンタを共有しない〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

11 〔テストページを印刷しますか？〕で「いいえ」を選択し、〔次へ〕をクリックする

12 〈プリンタの追加ウィザードの完了〉と表示されたら、〔完了〕をクリックする

13 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、〔続行〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

14 〔スタート〕－〔シャットダウン〕の順にクリックし、Windows を再起動する

15 〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックする

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

パラレル接続でインストールする場合（Windows Vista/Windows Server 2008）

ここでは、Windows Vista/Windows Server 2008 が動作するパソコンをご使用になっている場合の、プリンタドライバのインストール方法について説明します。
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされている Windows Vista/Windows Server 2008 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

参照
「プラグアンドプレイでインストールする」（82 ページ）参照
「プリンタのインストールでインストールする」（83 ページ）参照

お願い

- インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「README.TXT」をお読みください（CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥Fjxldrv¥Readme.txt」を参照してください）。
- プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- プリンタケーブルは、パソコンとプリンタの電源を切った状態で接続してください（55 ページ）。

プラグアンドプレイでインストールする

1. Windows を起動し、管理者権限でログオンする

2. プリンタの電源を入れる

   電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

3. 〔新しいハードウェアが見つかりました〕が表示されたら、〔ドライバソフトウェアを検索してインストールします〕をクリックする

4. 〔続行するにはあなたの許可が必要です〕と表示されたら、プリンタドライバのインストールであることを確認し、〔続行〕をクリックする

5. 〔新しいハードウェアの検出〕が表示されたら、〔ディスクはありません。他の方法を試します〕をクリックする

6. 〔コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します〕をクリックする

7. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

8 OS に応じて以下のフォルダ名を入力し、〔次へ〕をクリックする

CD-ROM ドライブが F: の場合

・Windows Vista/Windows Server 2008 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」

・Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」

9 〔Windows セキュリティ〕が表示されたら、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

10 インストールが完了したら、〔閉じる〕をクリックする

11 〔スタート〕－  の  －〔再起動〕の順にクリックし、Windows を再起動する

12 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックする

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

これでインストールは完了です。

プリンタのインストールでインストールする

1 Windows を起動し、管理者権限でログオンする

2 〔プリンタ〕フォルダを開き、「プリンタの追加」画面を表示する

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順に選択し、〔プリンタのインストール〕をクリックします。

3 〔ローカルプリンタまたはネットワークプリンタの選択〕画面で、〔ローカルプリンタを追加します〕をクリックする

4 〔プリンタポートの選択〕画面で、〔既存のポートを使用〕を選択し、〔LPT1:(プリンタポート)〕を選択して〔次へ〕をクリックする

5 〔プリンタドライバのインストール〕画面で、〔ディスク使用〕をクリックする

6 〔フロッピーディスクからインストール〕画面が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をセットし、〔製造元のファイルのコピー元〕に以下のフォルダ名を入力し、〔OK〕をクリックする

CD-ROM ドライブが F の場合

・Windows Vista/Windows Server 2008 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」

・Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」

7 〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

> **ガイド**
>
> すでにこのプリンタのドライバがインストールされている場合は、〔どのバージョンのドライバを使用しますか？〕画面で〔現在のドライバを置き換える〕を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

8 〔プリンタ名を入力してください〕画面で、プリンタ名および通常使うプリンタに設定するかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックする

9 〔ユーザー アカウント制御〕ダイアログが表示され、〔続行するにはあなたの許可が必要です〕と表示されたら、〔続行〕をクリックする

> **ガイド**
>
> Windows Server 2008 の場合は、この画面は表示されません。

10 〔Windows セキュリティ〕が表示されるので、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする

プリンタのインストールが開始されます。

11 〔テストページの印刷〕を行うかどうかを設定し、〔完了〕をクリックする

12 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックする

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
以上でインストールは完了です。

USB 接続でインストールする場合（Windows 98/Me/2000）

ここでは、Windows 98/Me/2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合のプリンタドライバのインストール方法について説明します。プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。添付のプリンタソフトウェア CD-ROM を準備してください。

1. **プリンタの電源が入っていないことを確認し、Windows を起動する**

お願い

Windows 2000 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。

ガイド

・パソコンとプリンタを USB で接続する手順については「ローカルプリンタとして使用する」「プリンタ USB ケーブル」（56 ページ）を参照してください。
・プリンタの電源が入っていると、〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されます。この場合には、〔キャンセル〕をクリックし、プリンタの電源を切って次に進んでください。

2. **プリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする**
3. **〔スタート〕－〔ファイル名を指定して実行〕の順にクリックする**
4. **〈名前〉に CD-ROM ドライブ名と「xlsetup.exe」と入力し、〔OK〕をクリックする**
CD-ROM ドライブが F の場合、「F:¥xlsetup.exe」と入力してください。
富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動します。
5. **〔FUJITSU XL-2300〕を選択し、〔OK〕をクリックする**
6. **〔ローカルプリンタ〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**
7. **ポートで〔USB〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**
ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

・Windows 2000 をご使用の場合、〔デジタル署名が見つかりませんでした〕と表示されたら、〔はい〕をクリックしてください。
・〔コンピュータの再起動〕が表示されたら、〔再起動する〕にチェックをつけ、〔完了〕をクリックしてください。Windows が再起動したら、手順 8 へ進みます。

4 セットアップ編

8 「ケーブルの接続」が表示されたら、パソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続する

9 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「｜」側に倒れていることを確認します。

ガイド

USB ドライバのインストール方法は、ご使用になっている OS によって異なります。お使いの OS の手順を参照してください。

Windows 98 の場合　86 ページ
Windows Me の場合　87 ページ
Windows 2000 の場合　87 ページ

● Windows 98 の場合

〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は、「〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されない場合」（87 ページ）を参照してください。

① 〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする
② 〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
③ 〔CD-ROM ドライブ〕にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする
④ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする
　ファイルのコピーが開始されます。
⑤ 〔完了〕をクリックする
　引き続き USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出しますので、検出されたら〔完了〕をクリックし、手順 6 へ進んでください。〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、手順 7 へ進んでください。
　また、富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動した場合は、〔終了〕をクリックしてください。
⑥ 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する
　プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
　これでインストールは完了です。
⑦ 〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットし、〔OK〕をクリックする
⑧ 〔ファイルのコピー元〕に「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」と入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROM ドライブが F ドライブの場合）
⑨ 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する
　プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
　これでインストールは完了です。

● Windows Me の場合

〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されます。次の手順に従って USB ドライバをインストールします。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は、「〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されない場合」(87 ページ)を参照してください。

① 〔適切なドライバを自動的に検索する(推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
② 〔完了〕をクリックする
引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。
〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、手順④へ進んでください。
また、富士通 Printia LASER シリーズセットアップが起動した場合は、〔終了〕をクリックしてください。
③ 〔スタート〕−〔設定〕−〔プリンタ〕の順に選択する
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。
④ ディスクの挿入が表示された場合は、〔ファイルのコピー元〕に 「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」と入力し、〔OK〕をクリックする (CD-ROM ドライブが D ドライブの場合)
ファイルのコピーが開始されます。
⑤ 〔スタート〕−〔設定〕−〔プリンタ〕の順に選択する
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

● Windows2000 の場合

システム標準の USB ドライバが自動的にインストールされます。このとき、1 〜 2 分かかることがあります。

① 新しいハードウェアが見つかり、〔プリンタドライバのインストール完了〕が表示されたら、〔完了〕をクリックする
② 〔スタート〕−〔設定〕−〔プリンタ〕の順に選択する
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されない場合

● Windows 98 の場合

① 〔スタート〕−〔設定〕−〔コントロールパネル〕の順に選択する
② 〔システム〕をダブルクリックする
③ 〔デバイスマネージャ〕タブの〔その他のデバイス〕で〔USB Device〕を選択し、プロパティをクリックする
〔不明なデバイス〕と表示される場合があります。
④ 〔ドライバの再インストール〕をクリックする
⑤ 〔デバイスドライバの更新ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする
⑥ 現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
⑦ 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする
⑧ 〔CD-ROM ドライブ〕にチェックを付け、〔次へ〕をクリックする
⑨ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする
ファイルのコピーが開始されます。

⑩ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする
⑪〔USB Printing Support プロパティ〕で〔閉じる〕をクリックする
引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。
⑫〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする
⑬〔使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨)〕を選択する
⑭〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」と入力し、〔次へ〕をクリックする (CD-ROM ドライブが F の場合)
⑮ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする
⑯ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
⑰〔印字テストを行いますか？〕で〔いいえ〕を選択し、〔完了〕をクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
⑱〔完了〕をクリックする
⑲〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックし、〔コントロールパネル〕を閉じる
⑳〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

● Windows Me の場合

①〔スタート〕－〔設定〕－〔コントロールパネル〕の順に選択する
②〔システム〕をダブルクリックする
③〔デバイスマネージャ〕タブの〔その他のデバイス〕で〔USB Device〕を選択し、プロパティをクリックする
④〔ドライバの再インストール〕をクリックする
⑤ 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする
⑥〔デバイスドライバの更新ウィザード〕が表示されたら、〔適切なドライバを自動的に検索する（推奨)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。
⑦〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け)〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
⑧〔使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨)〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など)〕のチェックを外す
⑨〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」と入力し、〔次へ〕をクリックする
⑩ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、〔次へ〕をクリックする
⑪ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで〔はい〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
⑫〔印字テストを行いますか？〕で〔いいえ〕を選択し、〔完了〕をクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
⑬〔完了〕をクリックする
⑭ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする
⑮〔USB Printing Support プロパティ〕で〔閉じる〕をクリックする
⑯〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックし、〔コントロールパネル〕を閉じる
⑰〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択する
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。
これでインストールは完了です。

USB 接続でインストールする場合（Windows XP/Windows Server 2003）

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンを使用し、「プラグアンドプレイ」でセットアップする方法を例に説明します。事前にパソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続してください。

参照 「プリンタ USB ケーブル」（56 ページ）参照

プラグアンドプレイでインストールする

1. プリンタの電源が入っていないことを確認する
2. Windows を起動し、管理者権限でログオンしてから、プリンタの電源を入れる
3. 〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されたら、〔一覧または特定の場所からインストールする（詳細）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする
   〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合は、「〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合」（90 ページ）を参照してください。
4. 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする
5. 〔次の場所で最適なドライバを検索する〕を選択し、〔リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索〕のチェックを外す
6. 〔次の場所を含める〕にチェックを付け、「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」と入力し、〔次へ〕をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）
7. 〔ハードウェアのインストール〕が表示されたら、〔続行〕をクリックする
   ファイルのコピーが開始されます。

> **ガイド**
> 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、「ディスクの挿入が表示された場合」（90 ページ）へ進んでください。

8. 〔完了〕をクリックする
9. 〔スタート〕－〔シャットダウン〕の順にクリックし、Windows を再起動する
10. 〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックする
    プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
    これでインストールは完了です。

●ディスクの挿入が表示された場合

インストールの途中で〔ディスクの挿入〕が表示された場合は、次の手順に従ってください。

① 〔ディスクの挿入〕が表示されたら、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットし、〔OK〕をクリックする

② OS に応じて以下のフォルダ名を〔コピー元〕に入力し、〔OK〕をクリックする（CD-ROM ドライブが F: の場合）
- Windows XP/Windows Server 2003 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」
- Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」

ファイルのコピーが開始されます。

③ 〔完了〕をクリックする

④ 〔スタート〕－〔シャットダウン〕の順にクリックし、Windows を再起動する

⑤ 〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックする
プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。
これでインストールは完了です。

●〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されない場合

① 〔スタート〕－〔マイコンピュータ〕をマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択する

② 〔ハードウェア〕タブの〔デバイスマネージャ〕をクリックする

③ 〔その他のデバイス〕の「FUJITSU XL-2300」を右クリックして〔削除〕を選択する

④ 〔デバイスの削除の確認〕で〔OK〕をクリックし、〔デバイスマネージャ〕を閉じる

⑤ 〔システムのプロパティ〕で〔OK〕をクリックする

⑥ Windows を再起動し、〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕から再度インストールする

USB 接続でインストールする場合（Windows Vista/Windows Server 2008）

ここでは、Windows Vista/Windows Server 2008 が動作するパソコンを使用し、「プラグアンドプレイ」でセットアップする方法を例に説明します。事前にパソコンとプリンタをプリンタ USB ケーブルで接続してください。

参照　「プリンタ USB ケーブル」（56 ページ）参照

プラグアンドプレイでインストールする

1 プリンタの電源が入っていないことを確認する

2 Windows を起動し、管理者権限でログオンしてから、プリンタの電源を入れる

3 〔新しいハードウェアが見つかりました〕が表示されたら、〔ドライバソフトウェアを検索してインストールします〕をクリックする

4 〔ユーザーアカウント制御〕ダイアログが表示されたら、デバイスドライバソフトウェアのインストールであることを確認し、〔続行〕をクリックする

5 〔新しいハードウェアの検出〕が表示されたら、〔ディスクはありません。他の方法を試します〕をクリックする

6 〔コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します〕をクリックする

7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

8 OS に応じて以下のフォルダ名を入力し、〔次へ〕をクリックする

CD-ROM ドライブが F: の場合

・Windows Vista/Windows Server 2008 の場合：「F:¥Fjxldrv¥2KXP2003」

・Windows x64 Edition の場合：「F:¥Fjxldrv¥x64」

9 〔Windows セキュリティ〕が表示されたら、〔このドライバソフトウェアをインストールします〕をクリックする

ドライバソフトウェアのインストールが開始されます。

10 インストールが完了したら、〔閉じる〕をクリックする

11 〔スタート〕－  の  －〔再起動〕の順にクリックし、Windows を再起動する

12 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックする

プリンタアイコンが表示されていることを確認してください。

これでインストールは完了です。

最新プリンタドライバを入手する

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「富士通製品情報ページ」からダウンロードすることができます。「富士通製品情報ページ」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示した URL よりプリンタドライバをダウンロードしてください。
　富士通製品情報ページ：http://www.fmworld.net/biz/

ガイド

・「富士通製品情報ページ」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
・添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版ドライバが収められており、「富士通製品情報ページ」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

プリンタドライバを削除する

バージョンアップによりプリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

ガイド

プリンタドライバを置き換えると、すべてのドライバ設定が初期値に戻ります。
プリンタドライバは、次の手順に従って削除してください。

お願い

・Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合

1. 〔スタート〕―〔設定〕―〔プリンタ〕の順にクリックする（Windows XP/Windows Server 2003 の場合には、〔スタート〕―〔コントロールパネル〕―〔プリンタとその他のハードウェア〕―〔プリンタと FAX〕をクリックする）

2. 〔FUJITSU XL-2300〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択する

3 以降、画面の指示に従って操作する

> **ガイド**
> Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、手順4へ進んでください。

4 〔プリンタ〕フォルダ（Windows XP/Windows Server 2003 では〔プリンタと FAX〕フォルダ）を開き、〔ファイル〕－〔サーバーのプロパティ〕の順にクリックする

5 〔ドライバ〕タブで削除する機種名を選択し、〔削除〕をクリックする

6 Windows を再起動する

Windows Vista/Windows Server 2008の場合

1 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックする

2 〔FUJITSU XL-2300〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択する

3 以降、画面の指示に従って操作する

4 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックし、〔プリンタ〕フォルダ内の何もない部分をクリックする

5 表示されたメニューから〔管理者として実行〕－〔サーバーのプロパティ〕の順にクリックする

6 〔ユーザーアカウント制御〕ダイアログが表示され、〔続行するにはあなたの許可が必要です〕と表示されたら、〔続行〕をクリックする

7 〔プリントサーバーのプロパティ〕画面が表示されるので、以下の操作を行う

① 〔ドライバ〕タブをクリックする
② 削除するドライバパッケージをクリックする
③ 〔削除〕をクリックする

8 〔ドライバとパッケージの削除〕ダイアログが表示されたら、〔ドライバとドライバパッケージを削除する〕を選択し、〔OK〕をクリックする

9 〔プリントサーバープロパティ〕画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

10 削除するドライバパッケージを確認し、〔削除〕をクリックする

〔ドライバパッケージは削除されました〕と表示されます。

11 〔OK〕をクリックする

〔プリントサーバーのプロパティ〕画面に戻ります。

12 〔閉じる〕をクリックする

13 〔スタート〕－  の  －〔再起動〕の順にクリックし、Windows を再起動する

新しいプリンタドライバに置き換える

お願い

- 必ず古いプリンタドライバを削除してから、この作業を行ってください。
- Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンをご使用になっている場合、管理者権限でログオンしてください。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合

1 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックする（Windows XP/Windows Server 2003 では、〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔プリンタとその他のハードウェア〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックする）

3 〔FUJITSU XL-2300〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択する

4 以降、画面の指示に従って操作する

ガイド

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合、次の操作を行ってください。
〔プリンタ〕フォルダ（Windows XP/Windows Server 2003 では〔プリンタと FAX〕フォルダ）の〔ファイル〕－〔サーバーのプロパティ〕を選択します。次に〔ドライバ〕タブで該当する機種名を選択し、〔削除〕をクリックします。

5 Windows を再起動する

> ガイド
> プリンタの電源が切れていることを確認してから、Windows を再起動してください。

6 新しいプリンタドライバをインストールする

参照 「プリンタドライバをインストールする」(74 ページ)を参照

> ガイド
> Windows XP/Windows Server 2003 では、「プリンタのインストールでインストールする」(80 ページ)でインストールしてください。

Windows Vista/Windows Server 2008の場合

1 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックする

3 〔FUJITSU XL-2300〕アイコンを右クリックし、〔削除〕を選択する

4 以降、画面の指示に従って操作する

5 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックし、〔プリンタ〕フォルダ内の何もない部分をクリックする

6 表示されたメニューから〔管理者として実行〕－〔サーバーのプロパティ〕の順にクリックする

7 〔ユーザーアカウント制御〕ダイアログが表示され、〔続行するにはあなたの許可が必要です〕と表示されたら、〔続行〕をクリックする

8 〔プリントサーバーのプロパティ〕画面が表示されるので、以下の操作を行う

① 〔ドライバ〕タブをクリックする
② 削除するドライバパッケージをクリックする
③ 〔削除〕をクリックする

9 〔ドライバとパッケージの削除〕ダイアログが表示されたら、〔ドライバとドライバパッケージを削除する〕を選択し、〔OK〕をクリックする

10 〔プリントサーバープロパティ〕画面が表示されたら、〔はい〕をクリックする

11 削除するドライバパッケージを確認し、〔削除〕をクリックする

〔ドライバパッケージは削除されました〕と表示されます。

12 〔OK〕をクリックする

〔プリントサーバーのプロパティ〕画面に戻ります。

13 〔閉じる〕をクリックする

14 〔スタート〕ー  の  ー〔再起動〕の順にクリックし、Windows を再起動する

ガイド

プリンタの電源が切れていることを確認してから、Windows を再起動してください。

15 新しいプリンタドライバをインストールする

参照　「プリンタドライバをインストールする」（74 ページ）を参照

ガイド

Windows Vista/Windows Server 2008 では、「プリンタのインストールでインストールする」(80 ページ)でインストールしてください。

第5章
プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

準　備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1 〔ネットワーク〕プロパティを開く

〔スタート〕から〔設定〕－〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2 〔ファイルとプリンタの共有〕をクリックする



3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、〔OK〕をクリックする



4 〔ネットワーク〕プロパティの〔OK〕をクリックして閉じ、OS を再起動する

設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 XL-2300G のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する

参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は『XL-2300G ネットワークガイド』「第３章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照

2 〔スタート〕から〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

3 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

4 「共有する」を選択し、共有名を入力する

必要に応じてコメント、パスワードを入力してください。



共有名……………………共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント…………………プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード………………他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

クライアント側の設定

Windows 98/Me をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 98/Me のクライアントから Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。
サーバが Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合は、代替インストールが必要となります。

参照　代替インストールについては、「サーバ側の設定」Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のとき（105 ページ）、Windows NT 4.0 のとき（101 ページ）を参照

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ...Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント...................................Windows 98/Me が動作するパソコンです。

設　定

1 エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕－〔エクスプローラ〕（Windows Me は〔スタート〕から〔プログラム〕－〔アクセサリ〕－〔エクスプローラ〕）の順に選択します。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク　コンピュータ〕（Windows Me は〔マイネットワーク〕）をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows NT 4.0 のとき

ここでは、OS が Windows NT 4.0 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

参照　本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収められている『XL-2300G ネットワークガイド』を参照

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1. XL-2300G のプリンタドライバ、プリンタポートを設定する

参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は『XL-2300G ネットワークガイド』「第 2 章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照

2. Windows NT 4.0 を起動し、管理者権限でログオンする
3. 〔スタート〕から〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
4. 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

5 「共有する」を選択し、共有名を入力する



共有名 .... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントの OS が Windows 98/Me の場合は、引き続き手順 6 以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

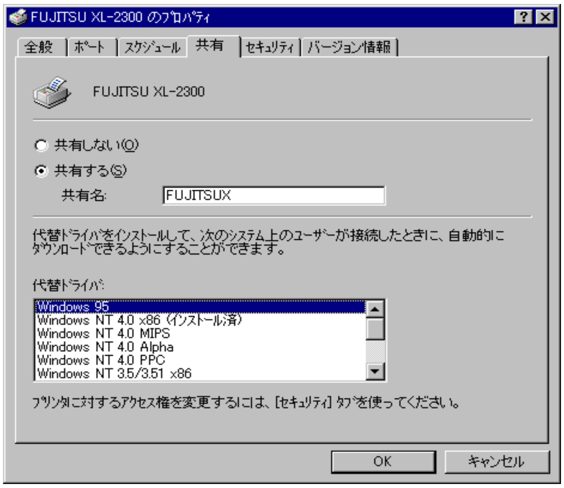
ガイド

代替ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

6 「代替ドライバ」リストからクライアントの OS を選択し、〔OK〕をクリックする

ガイド

Windows 98/Meの代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

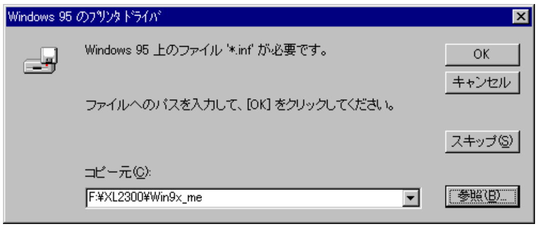


7 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットする

8 「コピー元」に「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」と入力する、または〔参照〕をクリックして「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」を選択する（CD-ROM ドライブが F: のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。



クライアント側の設定

Windows NT 4.0 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows NT 4.0 のクライアントから Windows NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

> **ガイド**
> サーバが Windows 98/Me の場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールは CD-ROM から行う必要があります。

準　備

クライアント側の設定には、本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM が必要です。（サーバが Windows 98/Me のとき）
また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ..Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント....................................Windows NT 4.0 が動作するパソコンです。

設　定

1. **〔スタート〕から〔プログラム〕－〔Windows NT エクスプローラ〕の順に選択する**

2. **〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをクリックする**

3. **〔プリンタ〕をクリックする**
   利用可能な共有プリンタが表示されます。

4. **設定を行う共有プリンタを右クリックし、〔インストール〕をクリックする**
   ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

参照　本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収められている『XL-2300G ネットワークガイド』を参照

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

Windows2000/XP/Windows Server 2003の場合

1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする

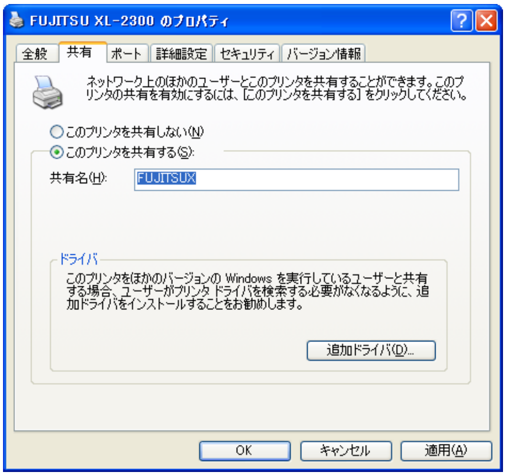
参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は『XL-2300G ネットワークガイド』「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照

2 〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

① Windows 2000 の場合：
〔スタート〕から〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックします。

② Windows XP/Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、共有するプリンタをクリックします。

3 「共有する」を選択し、共有名を入力する



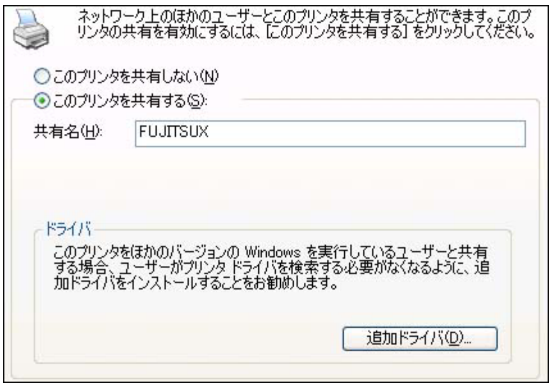
共有名................................共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントの OS が Windows 98/Me/NT 4.0 の場合は、引き続き手順 4 以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。

ガイド

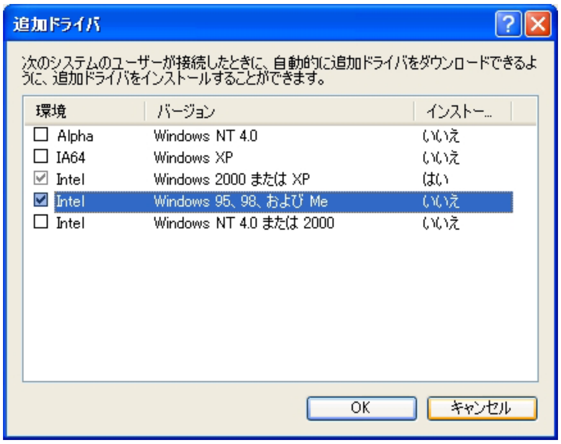
- 追加ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。
- 共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。

4 〔追加ドライバ〕をクリックする



5 「追加ドライバ」リストからクライアントの OS をチェックし、〔OK〕をクリックする

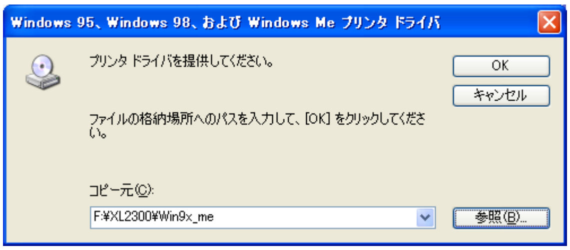
（画面はクライアントが Windows 98/Me 用のとき）



6 添付のプリンタソフトウェア CD-ROM をパソコンにセットして、〔OK〕をクリックする

7 「コピー元」にクライアントの OS 用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。



ガイド

プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。（CD-ROM ドライブが F: の場合）

クライアントの OS	フォルダ名
Windows 98/Me	F:¥Fjxldrv¥Win9xme
Windows NT 4.0	F:¥Fjxldrv¥WinNT

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

5

セットアップ編

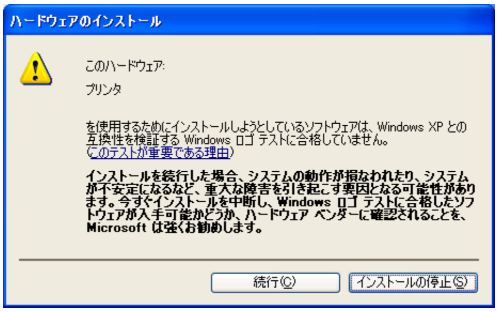
● Windows 2000 の場合

〔デジタル署名が見つかりませんでした〕ダイアログが表示されたときは、〔はい〕をクリックしてください。



● Windows XP/Windows Server 2003 の場合

〔ハードウェアのインストール〕ダイアログが表示されたときは、〔続行〕をクリックしてください。



Windows Vista/Windows Server 2008の場合

1 Windows Vista/Windows Server 2008 を起動し、管理者権限でログオンする

参照　プリンタドライバ、プリンタポートの設定方法は『XL-2300G ネットワークガイド』「第３章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照

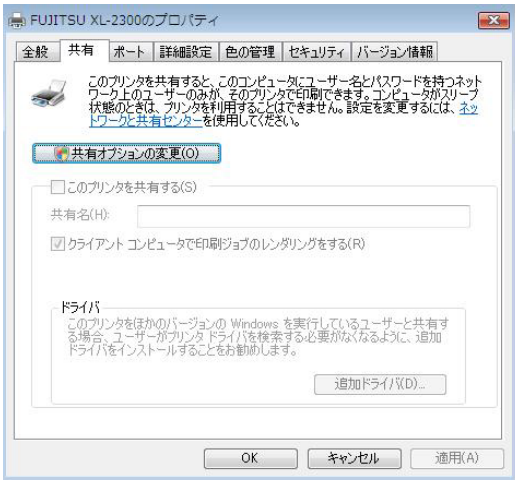
2 〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックする

3 共有するプリンタを右クリックし、表示されたメニューから〔プロパティ〕を選択する

プリンタのプロパティが表示されます。

4 〔共有〕タブをクリックし、〔共有オプションの変更〕をクリックする

Windows Server 2008 の場合は、〔共有〕タブをクリックすると、**6** の画面が表示されます。

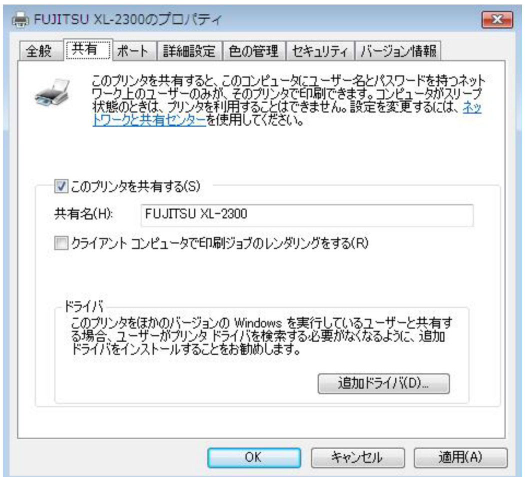


5 〔続行するにはあなたの許可が必要です〕と表示されるので、〔続行〕をクリックする

ガイド

Windows Server 2008 の場合は、この画面は表示されません。

6 (1)〔このプリンタを共有する〕をクリックして☑にし、
(2)〔クライアントコンピュータで印刷ジョブのレンダリングをする〕をクリックして☐にする



7 〔OK〕をクリックする

クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。
Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008のクライアントから、Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークを経由して、サーバから簡単にプリンタドライバをインストールできます。

ネットワーク経由による方法

Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008のクライアントから、Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバが Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」（111 ページ）でインストールしてください。

●準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント .... Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。

●設　定

1　共有プリンタのサーバを検索する

■ Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合

①エクスプローラを起動する

・Windows 2000 の場合
〔スタート〕－〔プログラム〕－〔アクセサリ〕－〔エクスプローラ〕の順に選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
〔スタート〕－〔すべてのプログラム〕－〔アクセサリ〕－〔エクスプローラ〕の順に選択する

②〔マイネットワーク〕を右クリックして〔コンピュータの検索〕を選択し、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

■ Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

①〔スタート〕－〔ネットワーク〕の順に選択する

②ネットワークフォルダの右上にある検索ボックスに共有プリンタのサーバ名を入力して検索する

2　検索結果から、共有サーバをダブルクリックする

利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

ポート変更による方法

Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 のクライアントから、サーバが Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定して CD-ROM からプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。
この際、管理者権限でログオンしてください。

●準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 98/Me/NT 4.0 が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント .... Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンです。

●設　定

1 プリンタドライバをインストールする

参照　プリンタドライバのインストールについては、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 2 章　プリンタドライバのインストール」を参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1 など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

お願い

手順 2 を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

① Windows 2000 の場合：
〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順に選択し、設定を行うプリンタを選択する
Windows XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合：
〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕を選択し、設定を行うプリンタを選択する

② 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕タブをクリックする

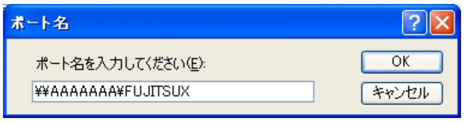
③　〔ポートの追加〕をクリックする



④　「Local Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックする



⑤　〔ポート名〕ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「¥¥サーバのネットワークコンピュータ名¥プリンタの共有名」）を入力する
入力が終わったら、〔OK〕をクリックして設定を終了します。



運　用　編

第6章
用紙について

本製品で使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙

本製品では、普通紙をはじめ、さまざまな用紙を使用することができます。しかし、一般に市販されている用紙の中には、本製品に適さないものもあります。適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因となることがあります。本製品の性能を効果的に活用するために、サプライ用紙を使用することをお勧めします。

参照　「サプライ品について」（143 ページ）を参照

なお、サプライ用紙以外を使用するときは、本製品の規格に合った一般の用紙（「使用できる用紙サイズ」（117 ページ）を参照）を使用するか、購入元または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」（287 ページ）にお問い合わせください。

お願い

- 用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。
- ご購入する用紙のメートル坪量が、本製品の規格内（117 ページ）であるかどうか、用紙の購入元に確認することをお勧めします。
- 規格にギリギリの用紙を使用すると、紙づまりなどの原因となることがあります。ご注意ください。

使用できる用紙サイズ

本製品は、標準給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション品）、給紙トレイ（オプション品）、手差しトレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。次の用紙の使用をお勧めします。

○：使用できる　×：使用できない

タイプ		サイズ	連量/坪量または厚さ	標準給紙カセット	拡張給紙ユニット(オプション)	給紙トレイ(オプション)	手差し
普通紙	A4	210×297(mm)	55～75kg / 64～87g/m²	○	○	○	○
	A5	148×210(mm)		○	○	○	○
	A6	105×148(mm)		○	×	○	○
	B5	182×257(mm)		○	○	○	○
	ユーザ定義 *1	90×148(mm) ～215.9×297(mm)		○	○	○	○
	レター (LETTER)	215.9×279.4(mm) (8.5×11インチ)		○	○	○	○
ラベル紙		—	0.1～0.15mm	×	×	○	○
厚　紙		—	75～90kg / 87～105g/m²	×	×	○	○
OHPフィルム		—	0.08～0.11mm	×	×	○	○
はがき	はがき	100×148(mm)	郵便はがき 163kg / 190g/m²	×	×	○	○
	往復はがき	148×200(mm)		×	×	○	○

*1　ユーザ定義サイズ：　トレイ2以外……長さ148～297mm、幅90～215.9mm*2
トレイ2…………長さ210～297mm、幅148～215.9mm*2

*2　プリンタのメニュー設定では幅は最大216mmです。

ガイド

- 給紙トレイ（オプション品）はプリンタドライバやプリンタのメニュー設定ではMPF（給紙トレイ）と表示します。
- OHPフィルムとラベル紙は、給紙トレイと手差しで使用できます。

用紙使用上のご注意

・用紙種類ごとに記載されている使用できる用紙、使用環境、および使用できない用紙を確認のうえ、用紙を正しい環境でご使用ください。
間違った使用をされると装置故障の原因となる場合があります。
・銘柄によっては、用紙のカールが大きくなる場合があります。用紙セット時の面を反対にすることで、カールが小さくなる場合があります。
・用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷をし、印刷に支障がないことを確認してください。市販の用紙には本製品に適さないものがありますので、できるだけサプライ品をご使用ください。

参照　「サプライ品について」（143 ページ）を参照

普通紙

●使用できる用紙

・オフィス用紙 W

参照　「サプライ品について」（143 ページ）を参照

・再生オフィス用紙 EC100

参照　「サプライ品について」（143 ページ）を参照

・PPC 用紙および普通紙で坪量が 64 ～ 87g/m^2 の用紙。

お願い

・市販品の中には印刷品質がサプライ品に比べ劣るものがあります。できるだけサプライ品をご使用ください。
・用紙は縦目用紙をご使用ください。
・横目用紙を使用されると紙づまりなどが発生しやすくなります。
・縦目用紙については用紙購入元にお問い合わせください。
・サプライ品は縦目用紙を推奨紙としています。

参照　「サプライ品について」（143 ページ）を参照

●使用環境

・すべての給紙口から印刷できます。
・A5 サイズより小さい用紙は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。

参照　「印刷面を上にして用紙を排出する」（139 ページ）を参照

・A6 サイズ用紙は拡張給紙ユニット（トレイ 2）からは印刷できません。
標準給紙カセット、手差し、または給紙トレイ（オプション）から印刷してください。

●使用できない用紙

・坪量が 64g/m^2 未満の薄い用紙
・坪量が 87g/m^2 以上の厚い用紙（厚紙使用は厚紙の項目を参照）
・湿っている用紙やぬれている用紙
・一度印刷された用紙（裏紙など）
・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
・反り（カール）、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙

- 静電気で密着している用紙
- バインダー用の穴またはミシン目のある用紙や長方形以外の用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙、またはインクジェット専用紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

●使用できない用紙を使用したときの問題点

- 坪量が 64g/m^2 未満の薄い用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 給紙カセットから坪量が 87g/m^2 以上の厚い用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 坪量が 64g/m^2 未満の薄い用紙や湿っている用紙、ぬれている用紙などに印刷した場合は、紙づまりやシワなどが発生しやすくなります。
- 坪量が 87g/m^2 以上の厚い用紙を普通紙設定で印刷すると、定着不良などが発生するため、厚紙設定にて印刷してください。

参照 「厚紙」（121 ページ）を参照

- 表面加工やコーティングされた用紙に印刷すると、給紙ミスや熱で表面の加工部分が溶け、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 一度印刷された用紙（裏紙）や静電気で密着している用紙を使用すると、多重送りや、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼り合わせた用紙や、糊の付いている用紙に印刷すると糊の成分などが装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 変形している用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙に印刷すると、用紙搬送路で引っかかり、用紙づまりや、破れの原因となります。
- A5 サイズより小さい用紙を、印刷面を下にして印刷すると、スタック不良や搬送路上での用紙づまりが発生しやすくなります。印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。

ラベル紙

●使用できる用紙

- ラベル紙 A4[商品番号：LBP-A693]

参照 「サプライ品について」（143 ページ）を参照

- 厚さ 0.1 ～ 0.15mm のレーザプリンタ用ラベル紙で、紙質は普通紙と同等のもの
- 全面ラベル紙
（ただし、用紙の上下端および左右端 10mm 以内に切り込みがない用紙を使用してください。）

お願い

市販品の中には印刷品質がサプライ品に比べ劣るものがあります。できるだけサプライ品をご使用ください。

●使用環境

- 給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。

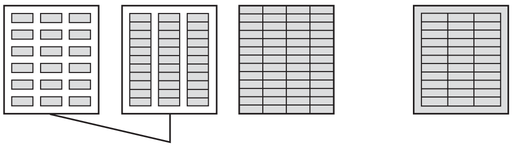
参照　「印刷面を上にして用紙を排出する」（139 ページ）を参照

- Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「より厚い紙」にしてお使いください。
  ホストから用紙厚指定ができない場合（ESC/P 対応の DOS アプリケーションなど）は、プリンタのメディアメニュー設定でテサシタイプまたは MPF タイプを「ラベルシ」に設定しておいてください。
  上記設定後、印字が濃すぎたり、薄すぎたりする場合には、各設定を変更して調整してください。

●使用できない用紙

- 厚さ 0.1mm 未満の薄いラベル紙
- 厚さ 0.15mm 以上の厚いラベル紙
- 用紙の上下端、左右端 10mm 以内に切り込みがある用紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない、または用紙端までカットラインのある用紙

×使用できません　　○使用できます



つるつるした台紙面　　全面ラベル紙

- 湿っている用紙やぬれている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などがラベルからはみ出している用紙
- 反り（カール）、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- 静電気で密着している用紙
- バインダー用の穴またはミシン目のある用紙や長方形以外の用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙、またはインクジェット専用紙など）
- 裏面に特別なコーティングをしたつるつるの用紙
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

●使用できない用紙を使用したときの問題点

- 給紙カセットから給紙すると給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、ラベルが台紙からはがれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや、装置内部への貼りつきにより装置故障の原因となります。
- 用紙の上端 10mm 以内に切り込みがあると、ラベルが台紙からはがれやすくなり、用紙搬送ローラへの巻きつきや装置内部への貼りつきにより、装置故障の原因となります。
- 表面加工やコーティングされた用紙に印刷すると、給紙ミスや熱で表面の加工部分が溶け、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 一度印刷された用紙（裏紙）や静電気で密着している用紙を使用すると、多重送りや、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 変形している用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙に印刷すると、用紙搬送路で引っかかり用紙づまりや、破れの原因となります。

厚紙

●使用できる用紙

- 坪量 87 ～ 105g/m^2 の用紙

お願い

用紙によっては用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄かったりすることがあります。

●使用環境

- 給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。

参照　「印刷面を下にして用紙を排出する」（140 ページ）を参照

- Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「厚い紙」にしてお使いください。
  ホストから用紙厚指定ができない場合（ESC/P 対応の DOS アプリケーションなど）は、プリンタのメディアメニュー設定でテサシウエイトまたは MPF ウエイトの設定を「アツイカミ」にしてお使いください。
  上記設定後、印字が濃すぎたり、薄すぎたりする場合には各設定を変更して調整してください。

●使用できない用紙

- 坪量 105g/m² 以上の用紙
- 湿っている用紙やぬれている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
- 反り（カール）、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- 静電気で密着している用紙
- バインダー用の穴またはミシン目のある用紙や長方形以外の用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙、またはインクジェット専用紙など）
- 裏面が特殊なコーティングをしたつるつるの用紙
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

●使用できない用紙を使用したときの問題点

- 坪量 105g/m² 以上の用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり装置故障の原因となります。
- 給紙カセットから印刷すると、用紙の腰が強いため給紙部での紙づまりが発生しやすくなります。また、無理に印刷を続けると給紙部ローラの摩耗などを促進させることになり、装置の寿命を縮めることになります。
- 表面加工やコーティングされた用紙に印刷すると、給紙ミスや熱で表面の加工部分が溶け、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 一度印刷された用紙（裏紙）や静電気で密着している用紙を使用すると、多重送りや、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼り合わせた用紙や、糊の付いている用紙に印刷すると糊の成分などが装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 変形している用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙に印刷すると、用紙搬送路で引っかかり用紙づまりや、破れの原因となります。

OHP フィルム

●使用できる用紙

・OHP フィルム A4[商品番号：CG3720]

参照　「サプライ品について」（143 ページ）を参照

・厚さ 0.08mm ～ 0.11mm のレーザプリンタ用 OHP フィルム

●使用環境

・給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。

参照　「印刷面を上にして用紙を排出する」（139 ページ）を参照

・Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「OHP フィルム」にしてお使いください。
ホストから用紙厚指定ができない場合（ESC/P 対応の DOS アプリケーションなど）は、プリンタのメディアメニュー設定でテサシタイプまたは MPF タイプを「OHP」に設定してお使いください。
上記設定後、印字が濃すぎたり、薄すぎたりする場合には、各設定を変更して調整してください。

●使用できない用紙

・薄い（厚さ 0.08mm 以下）OHP フィルム
・厚い（厚さ 0.11mm 以上）OHP フィルム
・湿っている用紙やぬれている用紙
・一度印刷された用紙
・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
・反り（カール）、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・静電気で密着している用紙
・バインダー用の穴またはミシン目のある用紙や長方形以外の用紙
・表面を加工、または特殊コーティングをした用紙（インクジェット専用紙）
・190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする用紙
・ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

●使用できない用紙を使用したときの問題点

・薄い（厚さ 0.08mm 以下）OHP フィルムまたは厚い（厚さ 0.11mm 以上）OHP フィルムを使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
・190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする OHP を使用すると定着ローラへの巻きつきなどが発生しやすくなり、装置故障の原因となります。

プレプリント紙、OCR用紙、カラー紙

●使用できる用紙

・カラー紙と着色顔料やプレプリント用のインクが耐熱性で、190 ℃でも変質しなく、紙質は普通紙と同等のもの（坪量 64 ～ 105g/m^2）

●使用環境

・普通紙と用紙厚が同等（坪量 64 ～ 87g/m^2）な用紙は、すべての給紙口から印刷できます。
・厚紙と用紙厚が同等（坪量 87 ～ 105g/m^2）な用紙は、給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また印刷面を上に向け排紙するようにしてください。

参照　「厚紙」（121 ページ）を参照

お願い

・金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
・印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
　－ 位置精度 A4 サイズで± 2mm 程度
　－ 用紙の傾き 100mm あたり± 1mm 程度
　－ 画像の伸縮 100mm あたり± 1mm 程度

・印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
　位置精度　A4 サイズで± 2mm 程度
　用紙の傾き　100mm あたり± 1mm 程度
　画像の伸縮　100mm あたり± 1mm 程度

●使用できない用紙

・坪量が 64g/m^2 未満の薄い用紙
・湿っている用紙やぬれている用紙
・一度印刷された用紙（裏紙など）
・貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
・反り（カール）、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・静電気で密着している用紙
・バインダー用の穴またはミシン目のある用紙や長方形以外の用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙、またはインクジェット専用紙など）
・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190 ℃以下の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
・190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする用紙
・ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙

●使用できない用紙を使用したときの問題点

- 坪量が 64g/m^2 未満の薄い用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 給紙カセットから坪量が 87g/m^2 以上の厚い用紙を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 坪量が 64g/m^2 未満の薄い用紙や湿っている用紙、ぬれている用紙などに印刷した場合は、紙づまりやシワなどが発生しやすくなります
- 坪量が 87g/m^2 以上の厚い紙を普通紙設定で印刷すると、給紙ミスや定着不良などが発生するため、厚紙設定にて印刷してください。

参照　「厚紙」（121 ページ）を参照

- 表面加工やコーティングされた用紙に印刷すると、給紙ミスや熱で表面の加工部分が溶け、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 一度印刷された用紙（裏紙）や静電気で密着している用紙を使用すると、多重送りや、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼り合わせた用紙や、糊の付いている用紙に印刷すると糊の成分などが装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。
- 変形している用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙に印刷すると、用紙搬送路で引っかかり用紙づまりや、破れの原因となります。

はがき

●使用できる用紙

・郵便はがき
（往復はがきの場合は、折り目のないものをご使用ください。）

お願い

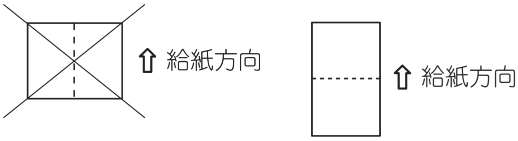
- **用紙によっては用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄かったりすることがあります。**
- **用紙によっては印刷後反りが発生することがあります。**

●使用環境

・給紙カセットからは給紙できません。手差しまたは給紙トレイ（オプション）をお使いください。また、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。

参照　「印刷面を上にして用紙を排出する」（139 ページ）を参照

・往復はがきをご使用のときは、給紙方向に注意してください。



・用紙サイズの設定は「はがき」「往復はがき」のいずれかでお使いください。他の用紙サイズを設定すると、印刷品位が著しく低下することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄かったりすることがあります。
・はがきは反りがないものをご使用ください。2mm 以上の反りがあるときは、反りを修正してからセットしてください。
・切手の貼ってあるはがきは、使用できません。
・Windows でご使用の場合は、プリンタドライバの用紙厚の設定を「より厚い紙」にしてお使いください。
・ホストから用紙厚指定ができない場合（ESC/P 対応の DOS アプリケーションなど）は、プリンタのメディアメニュー設定でテサシタイプまたは MPF タイプを〔アツガミ〕に設定してお使いください。テサシウェイトまたは MPF ウェイトは、〔ヨリアツイカミ〕に設定してお使いください。

●使用できない用紙

- 郵便はがきでないもの
- 隠ぺいはがき
- 湿っている用紙やぬれている用紙
- 一度印刷された用紙（裏紙など）
- 貼り合わせた用紙（切手など）や、糊などが付いている用紙
- 反り（カール）、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（インクジェット専用紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- 190 ℃以下の熱で溶けたり、変質したりする用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙

●使用できない用紙を使用したときの問題点

- 郵便はがき以外を使用すると、給紙ミス、紙づまりが発生するだけでなく、給紙ローラがすべってしまうことにより、ローラが摩耗し、本製品に適している用紙まで給紙できなくなり、装置故障の原因となります。
- 表面加工やコーティングされた用紙に印刷すると、給紙ミスや熱で表面の加工部分が溶け、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 一度印刷された用紙（ 裏紙 ）や静電気で密着している用紙を使用すると、多重送りや、感光ドラムや用紙搬送ローラなどへの用紙巻きつきなどの不具合が発生する場合があります。
- 貼り合わせた用紙や、糊の付いている用紙に印刷すると糊の成分などが装置内部に付着し、印字不良や装置故障の原因となることがあります。

6

運用編

用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態で保管してください。

用紙は次のような場所に保管してください。
・ 暗く、湿気の少ない、平らな書棚の中のような場所。
・ 平らなパレットの上。
・ 温度 20 ℃、湿度 50％RH の環境。

次のような場所は避けてください。
・ 床の上に直接置く。
・ 直射日光の当たる場所。
・ 外壁の内側の近く。
・ 段差や、曲がりのある場所。
・ 静電気が発生する所。
・ 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある所。
・ 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば。

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。
用紙を長期間保管するときは、次の配慮をしてください。
・ 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む。
・ 長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットなどから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む。

ガイド

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

用紙をセットする

用紙トレイや手差しトレイに、用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときは、次の手順に従って、用紙をセットしてください。

参照 「用紙使用上のご注意」(118 ページ)を参照

お願い

・インクジェット用郵便はがきは、特殊なコーティングが施されているため、本製品では使用しないでください。
・各給紙口にセットした用紙サイズは自動で検知されませんので、オペレータパネルの〔メディアメニュー〕の用紙サイズ値を実際にセットした用紙サイズに合わせて変更してください。

標準給紙カセットに用紙をセットする

お願い

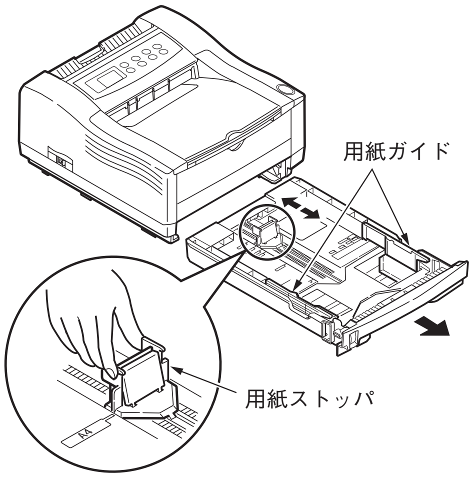
・用紙は、印刷する面を下にしてセットしてください。
・用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
・また、用紙が曲がるほど、用紙ガイドを強く押しつけないでください。
・指定した位置を越えて用紙をセットしないでください。
・厚紙や OHP フィルム、ラベル紙などの特殊紙は使えません。
厚紙や OHP フィルム、ラベル紙を、給紙カセットから印刷すると紙づまりの原因となりますので、手差しまたは給紙トレイ(オプション)から印刷してください。
・給紙カセットを差し込むときは、あまり勢いよく押さないでください。
・印刷中は、給紙カセットを引き出さないでください。
・拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、手差しトレイを閉じないでください。
もし手差しトレイを閉じてしまった場合は、無理に開けずプリンタ本体を少し持ち上げて手差しトレイを開いてください。
・拡張給紙ユニットを使って、下段カセットから給紙しているときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを開けないでください。
・給紙カセットの用紙は、完全になくなってから、補充してください。
・A5 サイズより小さい用紙の場合は、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。(「印刷面を上にして用紙を排出する」(139 ページ)を参照)

次の手順に従って、標準給紙カセットへ用紙をセットしてください。

1 取っ手を持って給紙カセットを引き出す

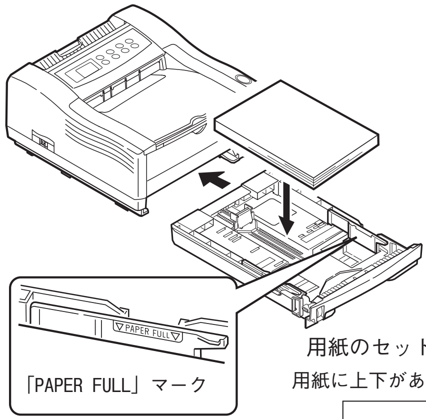
2 用紙ガイドをセットする

標準給紙カセット内部の用紙ガイドと用紙ストッパを、使用する用紙サイズに合わせてセットします。用紙ストッパは、うしろ側を軽く持ち上げるようにしながら動かします。

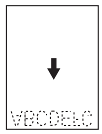


3 標準給紙カセットに用紙をセットする

印刷面を下にして、用紙の束が用紙ガイドの保持クリップに押さえられるようにセットしてください。
用紙ガイドの「PAPER FULL」表示ラインまで用紙をセットできます。（坪量 64g/m^2 の用紙の場合、約 250 枚セットできます。）
印刷面を下として、用紙上端が装置手前側となるように用紙をセットしてください。



用紙のセット方向
用紙に上下がある場合



装置手前側
（用紙上端）

お願い

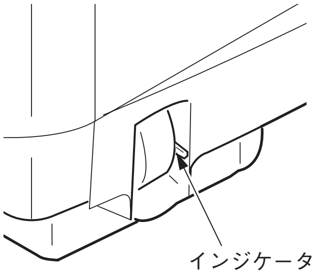
- 用紙はさばいてからセットしてください。
- 用紙が残っている状態で追加する場合は、残っている用紙を取り出し、揃えてからセットしてください。
- セットした用紙が給紙カセットに押しつけられた状態で給紙カセットをプリンタに戻すと、ボトムプレートが上がらず、用紙なしアラームになることがあります。この場合は、用紙ストッパの位置を用紙表示目盛りから 1 ～ 3 クリックの範囲でうしろにずらしてください。

4 標準給紙カセットをプリンタに差し込む

標準給紙カセットが止まるまで押し込むと、「カチッ」と音がしてロックされます。
拡張給紙ユニットを取り付けてあるときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを閉じてください。

ガイド

給紙カセット内の用紙量は、カセット前面にある用紙残量表示（赤）で確認することができます。インジケータが下がるほど用紙量が少ないことを示します。



手差しトレイに用紙をセットする

お願い

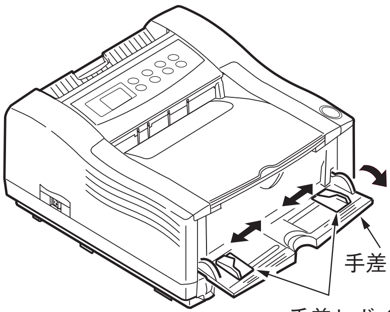
- 用紙は、印刷する面を上にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
- また、用紙が曲がるほど用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。
- 90 × 148 mm 未満の用紙は使えません。
- 手差しトレイや給紙トレイの上には、印刷する用紙以外のものを置かないでください。
- 手差しトレイや給紙トレイを上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- A5 サイズより小さい用紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙に印刷するときは、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（139 ページ）を参照）
- 手差しトレイに用紙をセットした場合、標準給紙カセット（トレイ 1）／拡張給紙カセット（トレイ 2）からの印刷はできません。
  手差しトレイの用紙が優先的に印刷されます。

次の手順に従って、手差しトレイへ用紙をセットしてください。

1 手差しトレイを開く

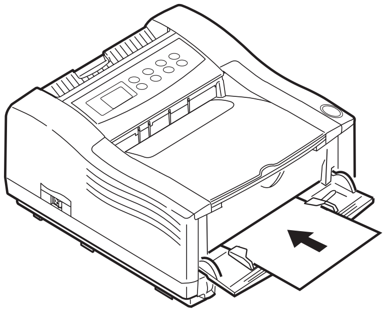
2 用紙ガイドを調節する

使用する用紙のサイズに合わせて、用紙ガイドの位置を調節します。



3 印刷面を上にして用紙を差し込む

用紙の先端が突き当たるまで、用紙ガイドに沿って用紙を差し込みます。
用紙は、自動的に約 2cm 吸入されて、固定されます。



ガイド

セットした用紙は、「キャンセル」スイッチを押すと排出されます。
紙づまりの原因となりますので、一度排出された用紙は再使用しないでください。

拡張給紙カセット（オプション品）に用紙をセットする

拡張給紙カセットを使用するときは、拡張給紙ユニット（オプション品）が必要です。

お願い

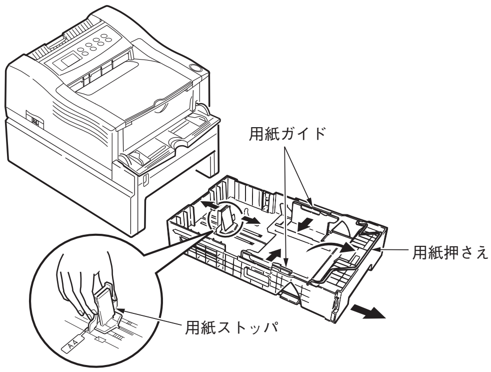
- 用紙は、印刷する面を下にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは､用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
- また､用紙が曲がるほど､用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 指定した位置を越えて用紙をセットしないでください。
- 厚紙や OHP フィルム、ラベル紙などの特殊紙は使えません。
- 給紙カセットを差し込むときは、あまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中は、給紙カセットを引き出さないでください。
- 拡張給紙ユニットを使って、下段カセットから給紙しているときは、拡張給紙ユニットのフロントカバーを開けないでください。
- 給紙カセットの用紙は、完全になくなってから、補充してください。

次の手順に従って、拡張給紙カセットへ用紙をセットしてください。

1. **取っ手を持って拡張給紙カセットを引き出す**

2. **用紙ガイドをいっぱいに開く**

   拡張給紙カセット内部の、用紙ガイドの下の方を内側から押し広げていっぱいに開き、用紙押さえを上げます。

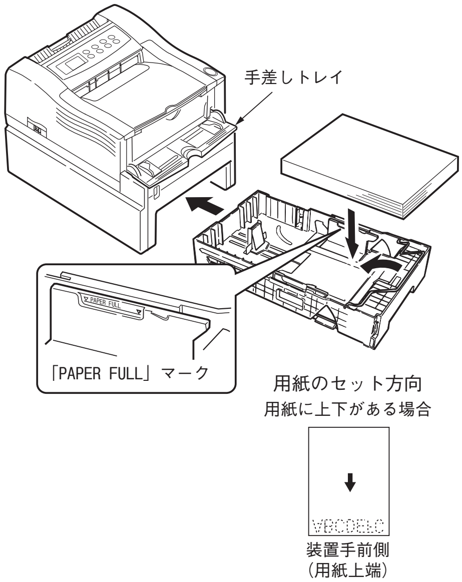


3. **用紙ストッパをセットする**

   拡張給紙カセット内部の用紙ストッパを、使用する用紙サイズに合わせてセットします。用紙ストッパは、うしろ側を軽く持ち上げるようにしながら動かします。

4 拡張給紙カセットに用紙をセットする

印刷面を下にして、用紙の束が用紙ガイドの保持クリップに押さえられるようにセットしてください。用紙ガイドの「PAPER FULL」表示ラインまで用紙をセットできます。（坪量 64g/m^2 の用紙の場合、約 500 枚セットできます。）
印刷面を下として、用紙上端が装置手前側となるように用紙をセットしてください。



お願い

- 用紙はさばいてからセットしてください。
- 用紙が残っている状態で追加する場合は、残っている用紙を取り出し、揃えてからセットしてください。
- セットした用紙が給紙カセットに押しつけられた状態で給紙カセットをプリンタに戻すと、ボトムプレートが上がらず、用紙なしアラームになることがあります。この場合は、用紙ストッパの位置を用紙表示目盛りから 1 ～ 3 クリックの範囲でうしろにずらしてください。

5 用紙ガイドを用紙幅にセットする

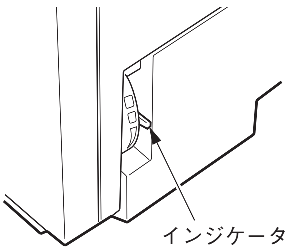
拡張給紙カセット内部の用紙ガイドを、横に空いている穴から用紙に突き当たるまで押して、用紙幅に合わせます。用紙押さえを戻します。

6 拡張給紙カセットを拡張給紙ユニットに差し込む

拡張給紙カセットを、拡張給紙ユニットの給紙カセット取り付け口にゆっくりと差し込み、カチッという音がしてロックされるまで押し込みます。

ガイド

給紙カセット内の用紙量は、カセット前面にある用紙残量表示（赤）で確認することができます。インジケータが下がるほど用紙量が少ないことを示します。



6

運用編

給紙トレイ（オプション品）に用紙をセットする

お願い

- 用紙は、印刷する面を上にしてセットしてください。
- 用紙ガイドは、用紙との間に隙間ができないようにセットしてください。
- また、用紙が曲がるほど用紙ガイドを強く押しつけないでください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。
- 90 × 148 mm 未満の用紙は使えません。
- 手差しトレイや給紙トレイの上には、印刷する用紙以外のものを置かないでください。
- 手差しトレイや給紙トレイを上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- A5 サイズより小さい用紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙に印刷するときは、印刷面を上に向けて排紙するようにしてください。（「印刷面を上にして用紙を排出する」（139 ページ）を参照）

次の手順に従って、給紙トレイへ用紙をセットしてください。

1 用紙サポータを引き出す

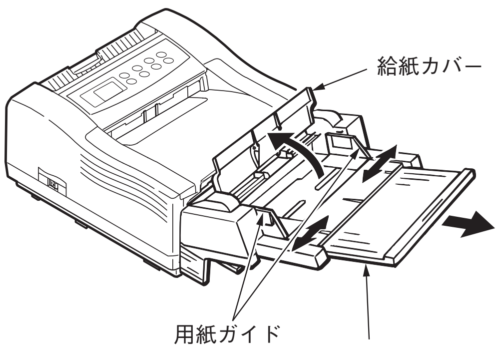
A5 サイズ（148 × 210 mm）よりも大きな用紙をセットするときは、用紙サポータをいっぱいに引き出します。

2 給紙カバーを開く

給紙カバーをいっぱいに開き、用紙押さえを上げます。（用紙押さえは、給紙カバーと連動して動きます。）

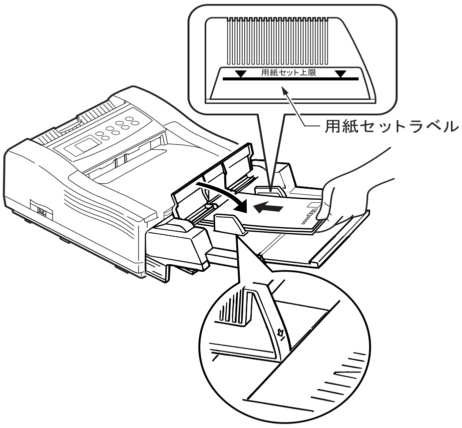
3 用紙ガイドを調節する

使用する用紙に合わせて、用紙ガイドの位置を調節します。



4 印刷面を上にして用紙を差し込む

先端が突き当たるまで、用紙ガイドに沿って用紙を差し込みます。
用紙ガイドの「用紙セット上限」表示ラインまで用紙をセットできます。
(64g/m² の用紙の場合、約 100 枚セットできます。郵便はがきの場合、約 50 枚セットできます。OHP フィルム／ラベル紙の場合、約 70 枚セットできます。)



お願い

- 用紙はさばいてからセットしてください。
- 用紙が残っている状態で追加する場合は、残っている用紙を取り出し、揃えてからセットしてください。

5 給紙カバーを閉じる

薄く柔らかい用紙を使用して紙づまりが発生する場合

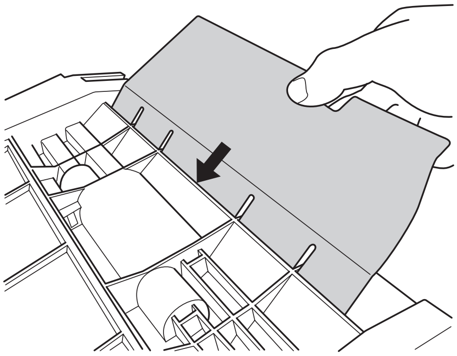
給紙トレイに添付されているフィルムガイドを取り付けることで、改善できる可能性があります。
次の手順に従って、給紙トレイへフィルムガイドを取り付けてください。

1 給紙トレイを取り外す

プリンタの電源を切り、「給紙トレイ（オプション品）を取り付ける」(51 ページ) と逆の手順で給紙トレイを取り外します。

2 フィルムガイドを差し込む

フィルムガイドのテープから剥離紙をはがし、粘着面を下にして給紙トレイの裏面 4 本の突起部にフィルムガイドのくぼみを合わせて、ななめ上から奥まで差し込んでください。

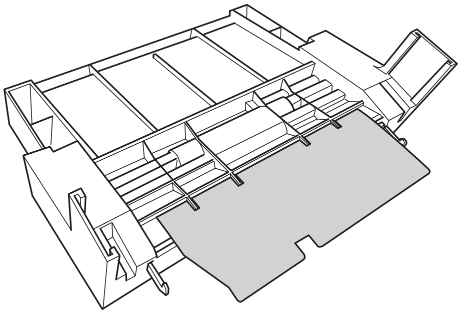


6

運用編

3 フィルムガイドを貼り付ける

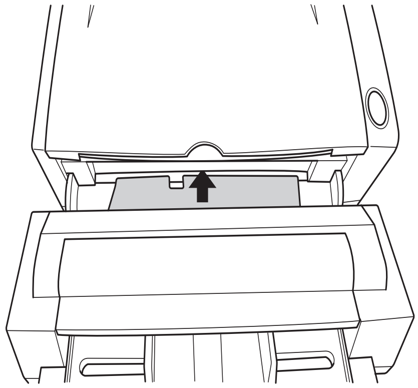
粘着面が下にあることを確認して、そのまま下におろして給紙トレイに貼り付けてください。



4 給紙トレイを取り付ける

「給紙トレイ（オプション品）を取り付ける」（51 ページ）に従って取り付けます。

フィルムガイドが折れ曲がらないよう、プリンタ本体の給紙部の隙間に差し込むようにして取り付けてください。



用紙の排出面を切り替える

用紙の排出面を切り替える方法について説明します。

印刷面を上にして用紙を排出する

OHP フィルムやラベル紙などの特殊紙、厚手の用紙、郵便はがきなどに印刷するときは、印刷面を上にして排紙します。用紙が曲がらずにまっすぐなまま排出できます。
印刷された用紙はフェイスアップスタッカに排出され、印刷した順序と逆に重ねられます。

お願い

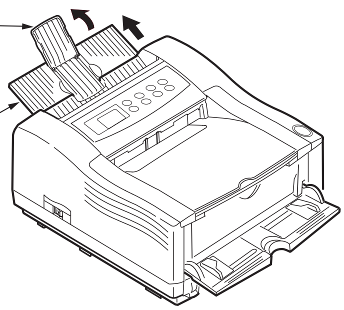
薄手の用紙や普通紙でも A5 サイズより小さいものは、印刷面を上に向けて排出してください。紙づまりを予防できます。

6

1 プリンタ背面のフェイスアップスタッカを引き出し、用紙サポータを起こす

お願い

印刷中にスタッカプレート（フェイスアップ）を押し込んだり、引き出したりしないでください。紙づまりの原因になります。



運用編

印刷面を下にして用紙を排出する

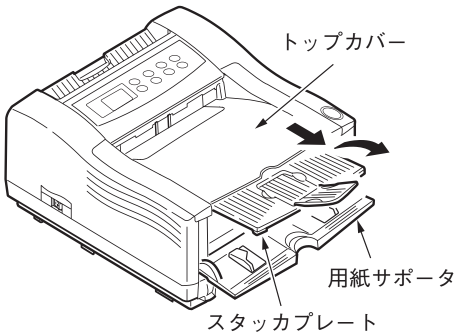
普通紙への印刷時は、印刷面を下にして排出します。印刷した順に重ねて取り出すことができます。

お願い

A5 サイズより小さい用紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、はがきなどの特殊紙に印刷するときは、印刷面を下に向けて排出しないでください。紙づまりの原因になります。

1. プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認する

2. スタッカプレートを引き出し、用紙サポータを起こす



お願い

- 印刷中にスタッカプレート（フェイスアップ）を引き出したり、押し込んだりしないでください。紙づまりの原因になります。
- 印刷面を下に向けて排紙するときは、必ずスタッカプレート（フェイスアップ）を押し込んでください。

第7章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的
に必要となる操作について説明します。

用紙を補給する

選択されている給紙口に用紙がなくなると、プリンタはオフライン状態となり液晶ディスプレイに次のように表示されます。該当する用紙を補給してください。

XXXX ヨウシ　ガ゛アリマセン*		例：	トレイ1 ヨウシ　ガ゛アリマセン*
（XXXX：給紙口）			*：スクロール表示

用紙を補給する

「ヨウシ　ガアリマセン」のメッセージは、次の状態のときに表示されます。

・ 給紙カセットがセットされていない
・ 給紙カセット、または給紙トレイに用紙がない

ただし、手差しトレイの場合には「ヨウシ　セット」と表示されます。
該当する用紙を補給するか、給紙カセットをセットしてください。

給紙カセットの場合

給紙カセットがセットされていなければ、給紙カセットをセットします。
給紙カセットの用紙がなければ、給紙カセットを取り出して用紙を補給し、セットします。（「標準給紙カセットに用紙をセットする」（129 ページ）を参照）

手差しトレイの場合

手差しトレイを使用しての印刷は、1 枚ごとの手差し印刷です。
用紙は 1 枚ずつセットしてください。（「手差しトレイに用紙をセットする」（132 ページ）を参照）

給紙トレイ（オプション品）の場合

給紙トレイに用紙がなければ、用紙を補給します。
一度にセットできる枚数は、郵便はがきで約 50 枚、普通紙（重量 $64g/m^2$）で約 100 枚、OHP フィルム／ラベル紙で約 70 枚です。（「給紙トレイ（オプション品）に用紙をセットする」（136 ページ）を参照）

印刷を再開する

用紙の補給が完了すると、プリンタはオンライン状態になります。プリンタ内に未印刷データがあり、印刷起動が行われていれば、印刷を続行します。

サプライ品について

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。
なお、次の表のうち、ラベル紙と OHP フィルム以外の品物については、本製品のご購入元、または以下のお問い合わせ先にご相談ください。

「富士通コワーコお客様総合センター」
　通話料無料　0120-505-279
　月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始を除く）
　URL:http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商　品　名			商品番号	備　考
オフィス用紙 W	A4		0411610	500 枚× 5 冊で 1 ケース
オフィス用紙 W	A5		0411630	
オフィス用紙 W	B5		0411640	
オフィス用紙 W	レター		0411660	
再生オフィス用紙 EC100	A4		0414315	
再生オフィス用紙 EC100	B5		0414345	
ラベル紙	A4		LBP-A693*3	50 枚× 5 冊　コクヨ製ラベル紙
OHP フィルム	A4		CG3720*4	100 枚× 1 冊　住友スリーエム製 OHP
トナーカートリッジ (*)		LB107	0852110*1	有効期限は製造年月日より 2 年以内、開封後は 1 年です。
プロセスカートリッジ (*)		LB107	0852410*2	有効期限は製造年月日より 2 年以内、開封後は 1 年です。
給紙カセット		LB107	0852310	A4 ～ A6 サイズで 250 枚 添付のカセットと同一です。
		LB105	0876320	A4 ～ B5 サイズで 500 枚 拡張給紙ユニットに添付のカセットと同一です。

*　XL-2110 用トナーカートリッジおよびプロセスカートリッジは、使用できません。
*1　A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5% 以下のときに、印刷寿命は約 2,500 枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。また、新しいプロセスカートリッジに最初にセットしたときは、寿命は約 1,000 枚程度になることがあります。
*2　感光体とドラムクリーナで構成されています。プロセスカートリッジの寿命は A4 用紙で 22 枚 / 分のスピードで連続印刷したときの値です。1 枚印刷などの間欠印刷を行ったときは、約 12,500 枚程度になることがあります。

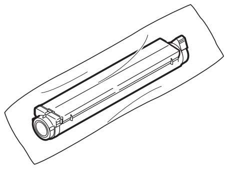
*3　下記の問い合わせ先へご相談ください。
コクヨ（株）　URL:http://www.kokuyo.co.jp/
*4　下記の問い合わせ先へご相談ください。
住友スリーエム（株）　URL:http://solutions.3m.com/ja_JP/WW/Country/

お願い

トナーカートリッジおよびプロセスカートリッジは、富士通コワーコ社製の純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。

トナーカートリッジ

トナーが残り少なくなると、印刷がかすれたり薄くなったりします。交換時期がきたら、「トナーカートリッジを交換する」（145 ページ）を参照して、新しいトナーカートリッジと交換してください。



プロセスカートリッジ

プロセスカートリッジが劣化すると、黒い汚れが生じるなど、印字品質が低下します。交換時期がきたら、「プロセスカートリッジを交換する」（150 ページ）を参照して、新しいプロセスカートリッジと交換してください。

使用済みカートリッジ（トナー、プロセス）の回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

通話料無料　0120-300-693
平日　8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

サプライ品を交換する

サプライ品の交換時期が近づくと、オペレータパネルにメッセージが表示されます。この場合は、該当する品目を速やかに交換してください。

トナーカートリッジを交換する

1 本のトナーカートリッジで印刷できる枚数の目安は、A4 サイズの用紙で約 2,500 枚です。ただし、以下の場合、これより少ない枚数でトナーがなくなることがあります。

・印字率 5％以上の場合（印刷内容による）

・新しいプロセスカートリッジに交換した直後の 1 本目（約半分の枚数）

液晶ディスプレイに〔トナーロー〕と表示されたら、トナーカートリッジを交換します。そのまま印刷を続けると〔トナー　コウカン　LED セイソウ〕を表示して、印刷を停止します。

お願い

・〔トナーロー〕が表示された場合は、速やかに新しいトナーカートリッジに交換されることをお勧めします。

・トナーカートリッジの交換時には、LED ヘッドの清掃を同時に行ってください（149 ページ）。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。

・LED ヘッドの清掃は、トナーカートリッジに添付されている、LED レンズクリーナを使います。

取り扱い上の注意

- トナーを吸い取るために掃除機を使用しないでください。静電気によるセンサ破損の原因になります。
- 一度プリンタから取り外したトナーカートリッジは再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください (結露がなければ使用可能です)。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときには、すぐに洗い流してください。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には弊社が推奨するトナーカートリッジを使用してください。
- 富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みのトナーカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、回収サービスをご利用にならない場合は、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
- 装置やカートリッジをゆすった場合に〔トナーロー〕が一時的に解除されることがありますが、少量の印刷で再び〔トナーロー〕表示に戻ります。
  〔トナーロー〕の表示後は約 100 枚の印刷で〔トナー　コウカン〕のメッセージが表示されますので、その前に新品トナーに交換してください。(〔トナーロー〕の表示直後にトナーカートリッジを交換することをお勧めします。)
- 印刷濃度が薄くなりトナーカートリッジの交換時期となった場合は、必ず液晶ディスプレイの表示状態を確認してください。
  〔トナーロー〕または〔トナー　コウカン〕と表示されている場合は、トナーカートリッジを交換してください。また、〔ドラム　コウカン〕と表示されている場合は、プロセスカートリッジおよびトナーカートリッジをいっしょに交換してください。
  〔ドラム　コウカン〕表示後にトナーカートリッジだけを交換して使用を継続すると、画質不良や用紙走行ジャム、装置本体の故障の原因となります。

参照　「使用済みカートリッジ（トナー、プロセス）の回収サービス」（144 ページ）を参照

保管上の注意

トナーカートリッジを保管するときは、以下の点にご注意ください。

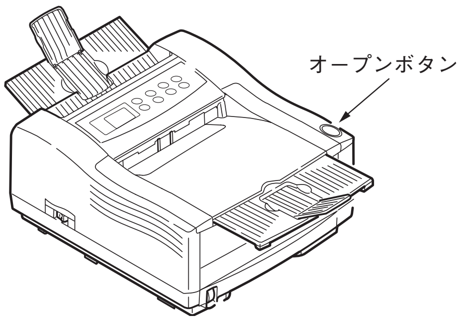
・ご使用になるまで開封しないでください。
・直射日光を避け、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
　　温度：0 ～ 35 ℃　　　湿度：20 ～ 85％RH
・周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所は避けてください。
・幼児の手が届かない所に保管してください。

次の手順に従って、トナーカートリッジを交換してください。
なお、液晶ディスプレイの 1 行目に〔ドラム　コウカン〕と表示されている場合は、先にプロセスカートリッジを交換してください。

ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ LEDｾｲｿｳ

参照　「プロセスカートリッジを交換する」（150 ページ）を参照

1 装置上面右手前側にあるオープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く



注意	やけど	トップカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

7

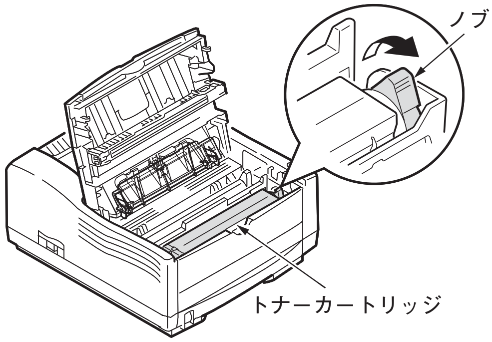
運用編

2 使用済みのトナーカートリッジの右側のノブ（青緑色）を、止まるまで手前（矢印方向）に回す

3 使用済みのトナーカートリッジの右側を持ち上げて外す

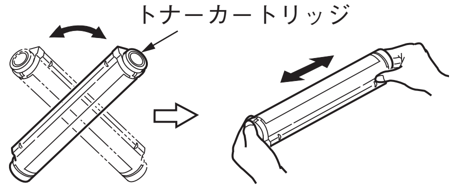
使用済みのカートリッジは、無償で回収しております。

手順**4**で残った包装袋に包んだ状態で『エコ受付センター』（144 ページ）までご連絡ください。回収便にて引き取りにうかがいます。



4 包装袋を開けて新しいトナーカートリッジを取り出す

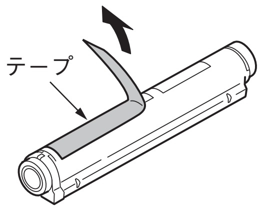
5 トナーカートリッジを図のように縦と横にして、それぞれ数回振る



お願い

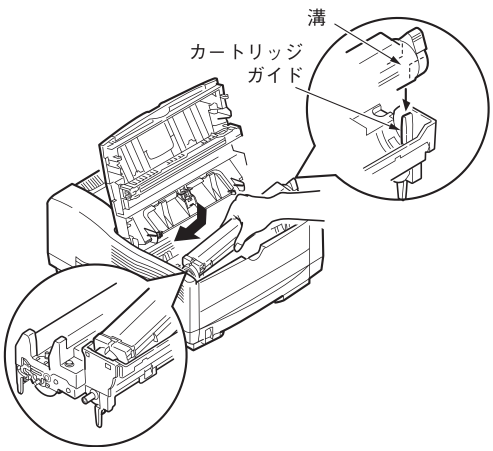
この操作は、トナーの状態を均一にするために必要です。必ず行ってください。
トナーが均一になっていないと印字品質が低下することがあります。

6 トナーカートリッジを水平にし、テープをゆっくりとはがす



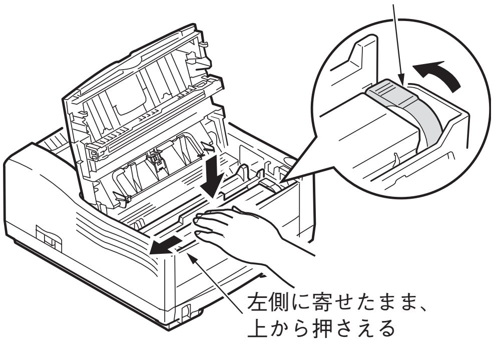
7 テープをはがした面を下にしてトナーカートリッジの左側のガイドをプロセスカートリッジのカートリッジ押さえの下に入れる

8 トナーカートリッジ右側の溝をプロセスカートリッジのカートリッジガイドの突起にあわせ、左側に寄せたまましっかりと押さえ込む



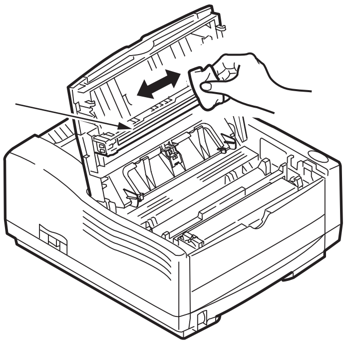
9 トナーカートリッジが浮き上がらないように上の面を手で支えながら、右側のノブを矢印方向へ止まるまで回す

ノブが水平になった所で止まります。



10 LED ヘッドを清掃する

トナーカートリッジに添付しているレンズクリーナを取り出し、細長い LED ヘッド面全体を軽く拭きます。

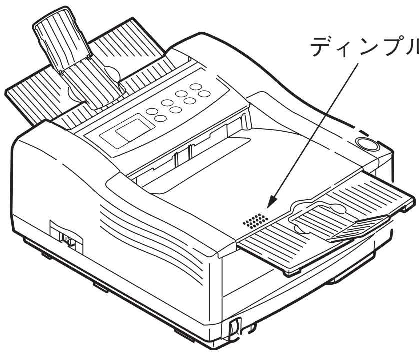


お願い

アルコールやシンナーなどの溶剤は、LED レンズ面を傷めますのでお使いにならないでください。

11 トップカバーを閉じる

トップカバー手前側の左寄りにあるディンプルマークを、『カチッ』と音がしてロックされるまで押します。



ガイド

トナーカートリッジの交換または取り付け直後に、〔トナーロー〕または〔トナー　コウカン〕の表示が消えないことがありますが、故障ではありません。この場合、トップカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作後に上記表示が消えることをご確認ください。
上記操作を5～6回繰り返しても〔トナーロー〕または〔トナー　コウカン〕表示が消えないときは、トナーカートリッジをセットし直してください。
トナーカートリッジが正しく固定されていない場合、印刷品質が低下することがあります。

プロセスカートリッジを交換する

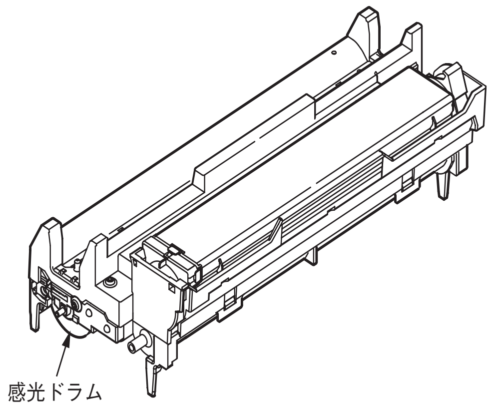
プロセスカートリッジ内の感光ドラムの寿命が近づくと、液晶ディスプレイに〔ドラム　コウカン〕と表示されます。
〔ドラム　コウカン〕と表示されたらプロセスカートリッジとトナーカートリッジをいっしょに交換します。
プロセスカートリッジは、1 本あたりの目安として A4 サイズの用紙で約 25,000 枚の印刷（1 ジョブ平均３枚印刷時）ができます。ただし、これは連続で印刷したときの枚数で、一度に１枚ずつ印刷する場合には、ドラムの寿命は約半分になることがあります。

お願い

- プロセスカートリッジの交換時には、LED ヘッドの清掃（149 ページ）を同時に行ってください。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。LED ヘッドの清掃にはトナーカートリッジに添付されているLEDレンズクリーナを使います。
- プロセスカートリッジを交換した直後は、印刷がかすれる場合があります。

取り扱い上の注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、以下の点にご注意ください。
- 下図のように、平らな所に置いてください。



- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。
- 室内の照明の下でも、５分以上放置しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動させたときは、周囲の温度になじむまで（1 時間程度）使用しないでください。
- 感光ドラム（緑色の筒）は傷付きやすいため、触れないでください。

保管上の注意

プロセスカートリッジを保管するときは、以下の点にご注意ください。

・ご使用になるまで開封しないでください。
・直射日光を避け、次の温度、湿度の範囲にある場所で保管してください。
・また、周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所は避けてください。
　温度：0 ～ 35 ℃
　湿度：20 ～ 85％RH
・アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所、空気中に塩分が多量に含まれている場所は避けてください。
・立てたり、裏返したりして置かないでください。
・幼児の手が届かない所に保管してください。

次の手順に従って、プロセスカートリッジを交換してください。

1 プリンタ内に印刷データが残っている場合は、パソコンからのデータ転送を一時停止したうえで、オペレータパネルのオンラインスイッチを何度か押して残りの印刷をすべて完了させる

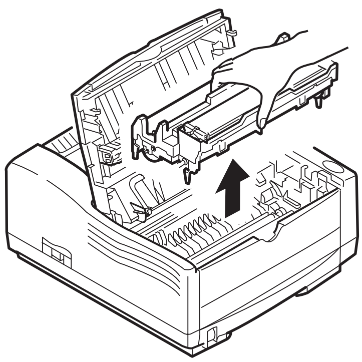
プリンタ内の印刷データが大量にある場合は、印刷が完了する前に印字不良などが発生することがありますので、早めの交換をお勧めします。

2 オープンボタンを押してロックを外し、トップカバーを完全に開く

⚠ 注意	やけど	トップカバーを開けると「高温注意」のラベルが見えます。この部分は非常に熱くなっていますので、決して触らないでください。

3 プロセスカートリッジの手前側（トナーカートリッジ側）を少し持ち上げそのままゆっくりと取り出す

トナーカートリッジもいっしょに取り出されます。プロセスカートリッジとトナーカートリッジは無償で回収しております。取り扱いについては『エコ受付センター』（144 ページ）までご連絡ください。



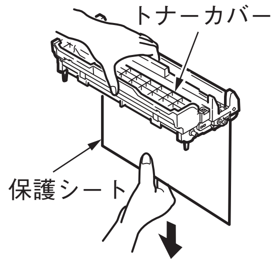
お願い

プロセスカートリッジを取り出すときは、傾けず水平に取り出してください。

4 新しいプロセスカートリッジを梱包箱から取り出す

7 運用編

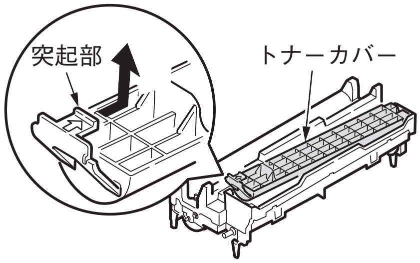
5 プロセスカートリッジの中央を手でしっかりと押さえ、保護シートを矢印の方向に引き抜く



お願い

プロセスカートリッジは光に対して非常に敏感です。交換に際しては、次の点に注意してください。
- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 感光ドラム（緑の筒）は非常に傷付きやすいため、絶対に手を触れないでください。

6 トナーカバー（オレンジ色）の突起部を矢印方向に押し、トナーカバーを取り外す

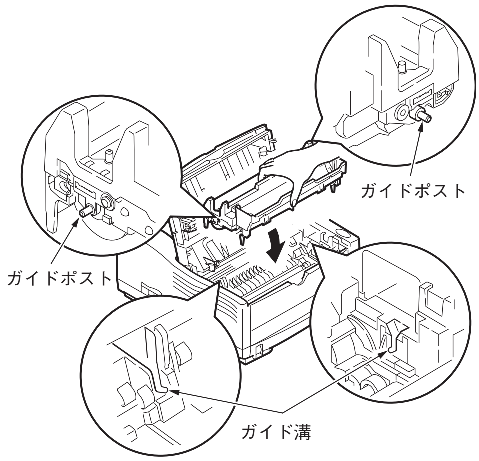


お願い

- トナーカバーを外すとき、トナーが飛散する場合があります。大きめの紙の上で行ってください。
- トナーカバーは不燃物として処理してください。

7 プロセスカートリッジを持ち、プリンタにゆっくりとセットする

左右のガイドを本体の溝に合わせ、手順 3 と逆の手順でプロセスカートリッジの前方を少し下向きにして、左右のガイドポストを本体のガイド溝に合わせてはめ込みます。次に手前側を下向きに回転させ、プリンタ本体にカチッとはまるようにセットします。



8 新しいトナーカートリッジをセットする

参照　「トナーカートリッジを交換する」（145 ページ）を参照

9 LED ヘッドを清掃する

トナーカートリッジに添付されているレンズクリーナを使用してください。

10 トップカバーを閉じる

続けて、ドラムカウンタのリセットを行います。

ドラムカウンタをリセットする

ドラムカウンタのリセットを実行して、プロセスカートリッジを交換したことを設定します。
ドラムカウンタのリセットを実行するためには、以下の操作を行ってください。

1. 〔ドラム　コウカン〕または〔ドラム　ジュンビ〕が表示されている状態で〔メニュー〕スイッチを数回押し、〔メンテナンスメニュー〕を表示する

2. 〔設定項目▲〕スイッチを2回押し、〔ドラムカウンタリセット〕を表示する

   ドﾞラムカウンタ
   リセット

3. 〔メニュー選択〕スイッチを押す

4. 〔ドラム　コウカン〕または〔ドラム　ジュンビ〕表示が消えたことを確認する

   液晶ディスプレイの〔ドラム　コウカン〕または〔ドラム　ジュンビ〕という表示が消えたことを確認します。

   イニシャルチュウ

   ↓

   オンライン
   WIN

5. パソコンからのデータ転送を一時停止している場合は再開する

お願い

- 〔ドラム　コウカン〕表示は、ドラムカウンタのリセットを実行しないと消えません。プロセスカートリッジを交換したときは、必ずこの操作をしてください。
- プロセスカートリッジ交換時以外にこの操作をすると、交換時期が正しく表示されません。プロセスカートリッジ交換時以外は、操作しないでください。
- プロセスカートリッジを交換した後に、〔トナーロー〕または〔トナーコウカン〕の表示が消えないことがありますが、故障ではありません。この場合、トップカバーの開閉を行い、プリンタのモータが動作後、〔トナーロー〕または〔トナー　コウカン〕の表示が消えることをご確認ください。
  上記操作を 5 ～ 6 回繰り返しても、〔トナーロー〕または〔トナーコウカン〕表示が消えないときは、トナーカートリッジをセットし直してください。

クリーニングページを行う

プロセスカートリッジに付着した汚れを取り除きます。周期的な黒・白斑点が入る場合に行ってください。

お願い

クリーニングページを行う場合は、あらかじめ A4 用紙を手差しトレイにセットしてください。

1. 〔メニュー〕スイッチを数回押し、〔メンテナンスメニュー〕を表示する
2. 〔設定項目▼〕スイッチを 2 回押し、〔クリーニングインサツ〕を表示する
3. 〔メニュー選択〕スイッチを押す

   用紙が 1 枚印刷されます。

オプション品について

本製品は、次のオプションを用意しています。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、本書発行時点のものです。
最新情報は富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット（500 枚）

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット（500 枚）	XL-EF50P1G	2 段目の給紙ユニットとして使用できます。 A4 ～ A5 の用紙を約 500 枚セットできるカセットで構成されています。

給紙トレイ（100 枚）

品　名	型　名	内　容
給紙トレイ	XL-FT10P1G	給紙トレイとして使用できます。 A4 ～ A6 の用紙を約 100 枚セットできます。

プリンタ LAN カード

品　名	型　名	内　容
プリンタ LAN カード	XL-LN100PG	プリンタに取り付けると、ネットワーク環境で直接印刷できます。 100BASE-TX/10BASE-T に対応しています。

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。
なお、本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは次の物が用意されています。

●プリンタケーブル

品　名	型　名	備　考
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。

●プリンタ USB ケーブル

本製品をパソコンの USB インターフェースに接続して使用するためのケーブルです。

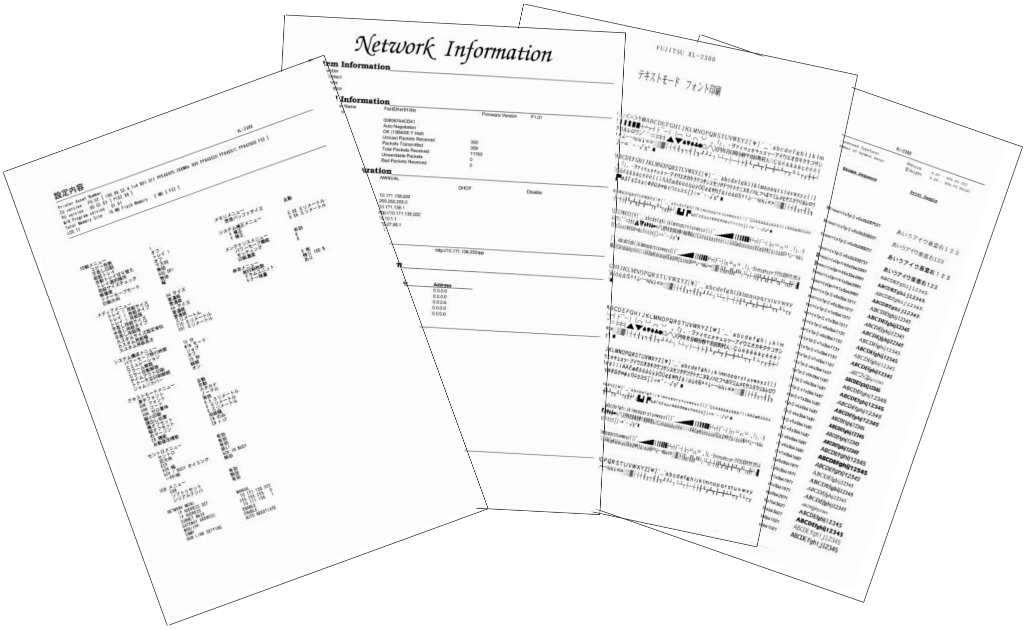
品　名	型　名	備　考
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	USB2.0（フルスピードモード）に対応し、Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 が動作するパソコンに接続できます。

設定内容の一覧を印刷する

オペレータパネルを操作して、次の情報を印刷できます。

・設定内容の一覧
　本製品に取り付けられているオプション品の情報について確認できます。また、オペレータパネルで設定した内容（ネットワークの設定に関する情報など）も確認できます。

・テキストフォント
　本製品が搭載しているフォントを確認できます。



設定内容を印刷する

プリンタ内部に記憶されている設定内容の一覧表を印刷します。

お願い

設定内容を印刷するときは、必ずA4の用紙を使用してください。A4以外の用紙でメニュー印刷を行うと、すべての設定内容が印刷できないことがあります。

1. **給紙カセットにA4用紙をセットする**

2. **〔メニュー〕スイッチを押す**

   〔インフォメニュー〕と表示されます。

3. **〔設定項目▲〕スイッチを押す**

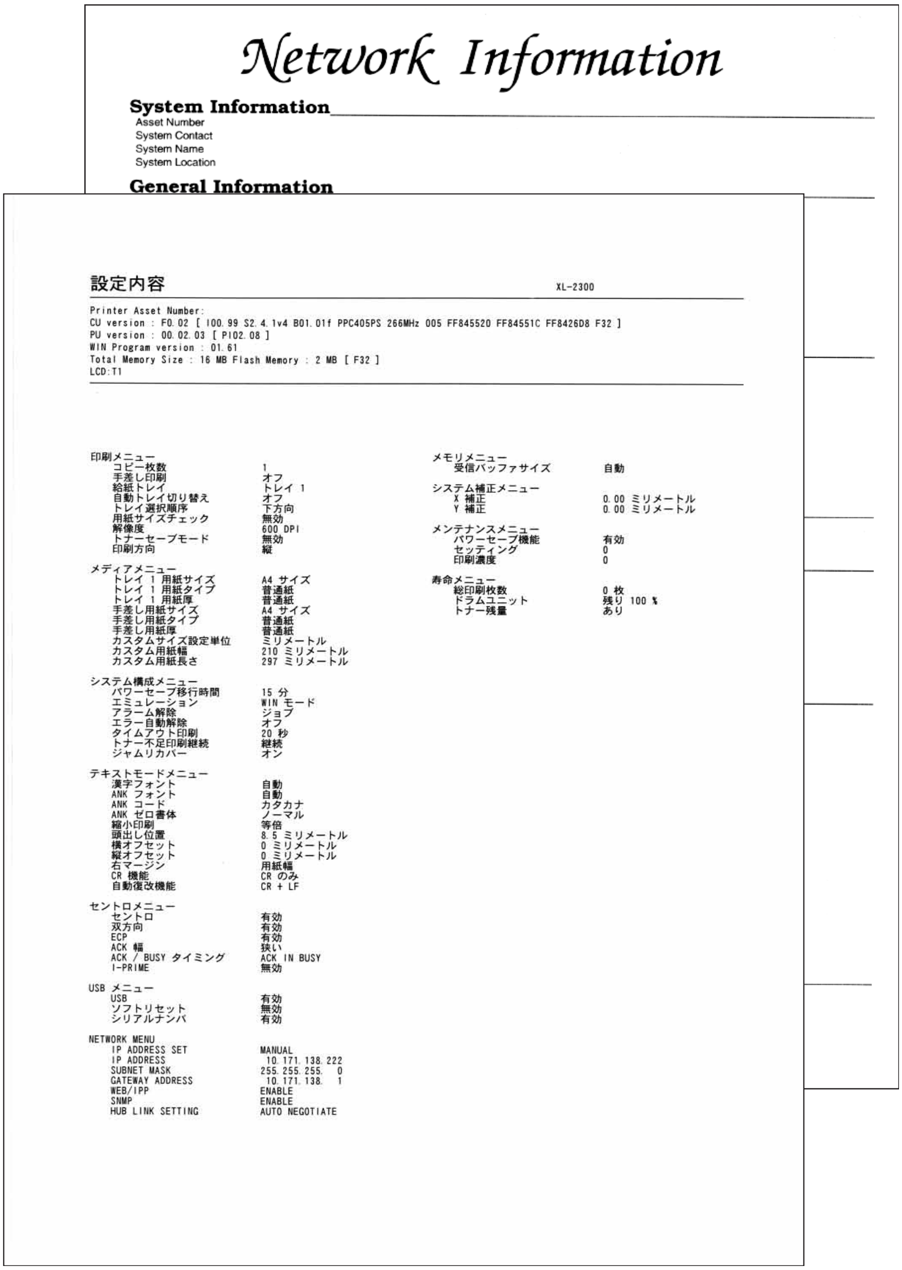
   〔セッテイナイヨウインサツ〕と表示されます。

4. **〔メニュー選択〕スイッチを押す**

   設定内容の印刷が開始されます。

＜設定内容印刷例＞

設定内容の印刷結果は、次のようになります。（縮小率 50%）



Network Information

System Information

Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

設定内容

XL-2300

Printer Asset Number:
CU version : F0. 02 [100. 99 S2. 4. 1v4 B01. 01f PPC405PS 266MHz 005 FF845520 FF84551C FF8426D8 F32]
PU version : 00. 02. 03 [P102. 08]
WIN Program version : 01. 61
Total Memory Size : 16 MB Flash Memory : 2 MB [F32]
LCD:T1

印刷メニュー	
コピー枚数	1
手差し印刷	オフ
給紙トレイ	トレイ 1
自動トレイ切り替え	オフ
トレイ選択順序	下方向
用紙サイズチェック	無効
解像度	600 DPI
トナーセーブモード	無効
印刷方向	縦
メディアメニュー	
トレイ 1 用紙サイズ	A4 サイズ
トレイ 1 用紙タイプ	普通紙
トレイ 1 用紙厚	普通紙
手差し用紙サイズ	A4 サイズ
手差し用紙タイプ	普通紙
手差し用紙厚	普通紙
カスタムサイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	15 分
エミュレーション	WIN モード
アラーム解除	ジョブ
エラー自動解除	オフ
タイムアウト印刷	20 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
テキストモードメニュー	
漢字フォント	自動
ANK フォント	自動
ANK コード	カタカナ
ANK ゼロ書体	ノーマル
縮小印刷	等倍
頭出し位置	8. 5 ミリメートル
横オフセット	0 ミリメートル
縦オフセット	0 ミリメートル
右マージン	用紙幅
CR 機能	CR のみ
自動復改機能	CR + LF
セントロメニュー	
セントロ	有効
双方向	有効
ECP	有効
ACK 幅	狭い
ACK / BUSY タイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
USB メニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
シリアルナンバ	有効
NETWORK MENU	
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	10. 171. 138. 222
SUBNET MASK	255. 255. 255. 0
GATEWAY ADDRESS	10. 171. 138. 1
WEB/IPP	ENABLE
SNMP	ENABLE
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE

メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
システム補正メニュー	
X 補正	0. 00 ミリメートル
Y 補正	0. 00 ミリメートル
メンテナンスメニュー	
パワーセーブ機能	有効
セッティング	0
印刷濃度	0
寿命メニュー	
総印刷枚数	0 枚
ドラムユニット	残り 100 %
トナー残量	あり

・設定内容一覧上部に表示される CU Version などの数字は変わることがあります。
・設定内容によっては、表示されない項目があります。
・プリンタ LAN カード搭載時は、2 枚目が追加印刷されます。

7

運用編

パソコン上でプリンタの状態を確認する

ガイド

本機能は、オプションのプリンタ LAN カードを取り付け、本製品をネットワークで使用できるように設定している場合にお使いになれます。

本製品では、ネットワーク上のパソコンからプリンタの状態を確認するためのツールが提供されています。
このツールを利用すると、使用しているパソコンを離れてわざわざプリンタまで見に行かなくても、プリンタが正常に動作しているかどうかを確認できます。
また、電子メールを使ってプリンタに取り付けたオプション品の状態などを確認することもできます。

参照　『XL-2300G ネットワークガイド』「第６章　Printia LASER Internet Service」を参照

電源を入れる / 切る

プリンタを使用するときは、電源を入れます。
また、1 日の印刷作業の終わりや、長期間プリンタを使用しないときには、電源を切ります。

電源を入れる

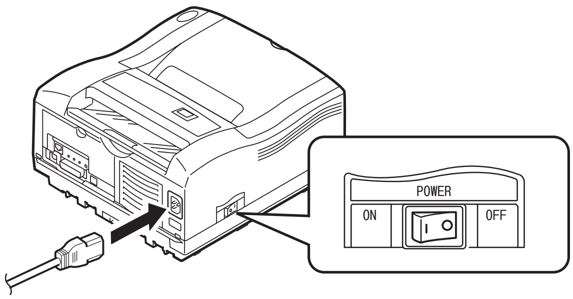
⚠ 警告	感　電	・電源プラグは、定格電圧 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、タコ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本製品の定格電源は、100V、7A となっています。 ・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。 - 電源コンセントのアース端子 - 銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物 - 接地工事（D 種）を行っている接地端子

次の手順に従って、電源を入れてください。

1. **プリンタの電源が切れていることを確認する**

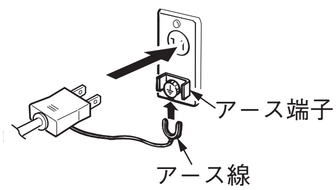
   電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2. **電源コードをプリンタ本体後背面にある電源コードコネクタに差し込む**



3. **電源コードの他方をコンセントに差し込む**

   コンセントにアースが付いている場合は、アースも接続します。

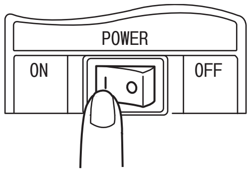


7

運用編

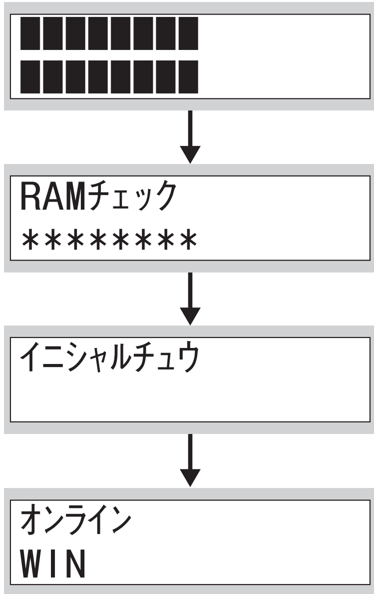
4 **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「|」側を押す**

電源が入ります。



5 **オペレータパネルの液晶ディスプレイに、〔イニシャルチュウ〕と表示される。この表示が〔オンライン WIN〕に変わることを確認する**

参照　液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して対処してください。また、オンライン表示にならないときや対処方法がわからない場合は、「メッセージが表示されるとき」（224 ページ）を参照してください。



電源を切る

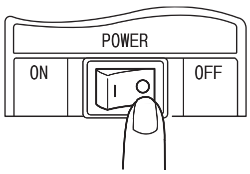
次の手順に従って、電源を切ってください。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。万一、印刷中に電源を切った場合は、トップカバーを開けて、用紙がプリンタ内に残っていないことを確認してください。

1 **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押す**

電源が切れます。



プリンタを清掃する

プリンタ外部を清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1 回、プリンタ外部を清掃してください。

⚠ 注意

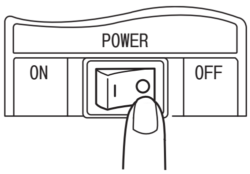
やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。
け　が やけど	プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。火災や故障の原因となります。

お願い

- ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。清掃の際は、注意してください。
- 洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- プリンタ内部の部品には、絶対に注油しないでください。このプリンタには注油の必要はありません。
- 掃除機は使用しないでください。
- 定着器周辺は熱くなっています。電源スイッチを切ってから 1 時間は、定着器周辺には手を触れないでください。

1 **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押す**

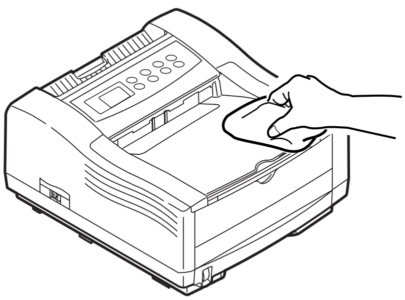
電源が切れます。



2 **外部の汚れは、水でぬらしかたく絞った柔らかい布で拭く**

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて、軽く拭いてください。

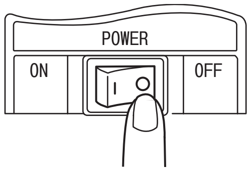
3 **乾いた柔らかい布で水分を拭き取る**



プリンタ内部を清掃する

入口で紙づまりが頻発するときは、次の手順に従って、プリンタ内部を清掃してください。

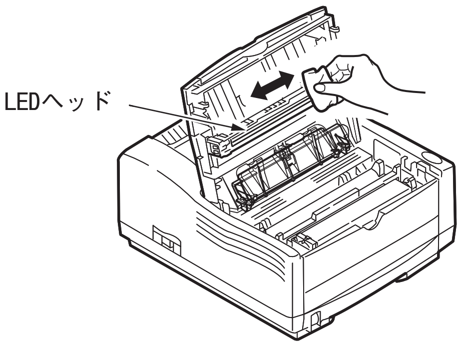
1. **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押す**
   電源が切れます。



2. **電源コードを抜く**

3. **オープンボタンを押し、トップカバーを開く**

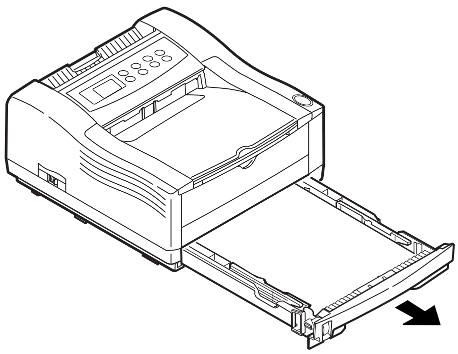
4. **LED ヘッドを清掃する**
   LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッド全体を軽く拭きます。



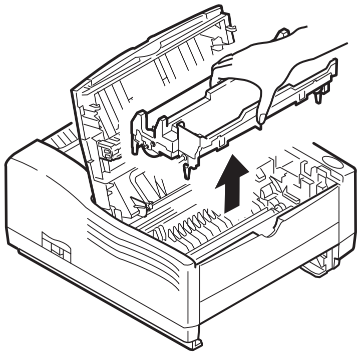
お願い

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED レンズ面を傷めますのでお使いにならないでください。

5. **給紙カセットをプリンタから引き出す**



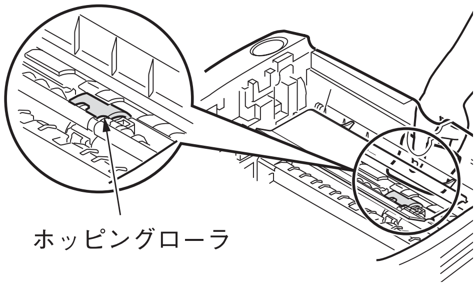
6 プロセスカートリッジの手前側（トナーカートリッジ側）を少し持ち上げ、そのままゆっくりと上に取り出す



お願い

取り外したプロセスカートリッジは平らな所に置き、添付の遮光袋（黒）に入れるか、黒い紙などをかぶせて光が当たらないようにしてください。

7 水を含ませてかたく絞った布で、給紙カセットの取り付け口からホッピングローラと搬送ローラの汚れを拭き取る

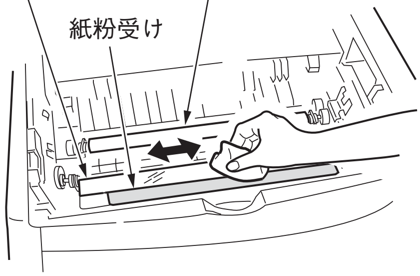


お願い

布には、水以外は使用しないでください。本製品では油をさす必要はありません。注油しないでください。

ホッピングローラの清掃は、給紙カセットの取り付け口から行い、汚れが取れたかどうかを確認してください。

8 LED レンズクリーナまたは水を含ませてかたく絞った布で、紙粉受けにたまった紙粉を拭き取る



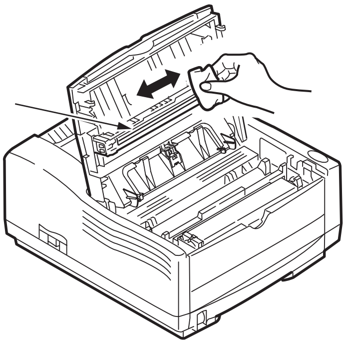
お願い

- 紙粉を用紙走行路や転写ローラに付着させないよう軽く丁寧に拭き取ってください。
- 紙粉取りフィルムは変形させないよう注意してください。

7

運用編

9 LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッド全体を軽く拭く



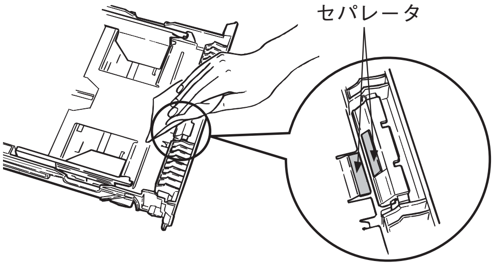
お願い

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

ガイド

LED レンズクリーナは、別売の交換用トナーカートリッジに添付されています。

10 給紙カセットの用紙を取り出し、水を含ませてかたく絞った布でセパレータを清掃する



お願い

清掃時、水以外は使用しないでください。

11 プロセスカートリッジを戻し、トップカバーを閉じる

12 給紙カセットに用紙を戻し、プリンタに取り付ける

クリーニングページを行う

プロセスカートリッジ内のローラに付着した汚れを取り除きます。周期的な黒点や黒・白斑点が入る場合に行ってください。

ガイド

1 回のクリーニングで汚れが取り除けない場合は、数回クリーニングを繰り返してください。それでも汚れが取れない時は、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。

お願い

必ず A4 の用紙を使用してください。

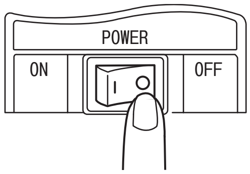
1. 〔メニュー〕スイッチを数回押し、〔メンテナンスメニュー〕を表示する
2. 〔設定項目▼〕スイッチを 2 回押し、〔クリーニングインサツ〕を表示する
3. 手差しトレイに A4 用紙をセットする
   〔メニュー選択〕スイッチを押す
   クリーニング印刷をはじめます。
4. 印刷が終わったら〔オンライン〕スイッチを押す
   〔オンライン〕表示に戻ります。

長期間プリンタを使用しない

長期間、プリンタを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。

1. **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押す**

   電源が切れます。



2. **電源コードやプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外す**

警告	感　電	電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

注意	火　災 感　電	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っぱるとコードが傷付き、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3. **給紙カセットや給紙トレイから用紙を取り出す**

   湿気やほこりのない場所に保管してください。

プリンタを移送する

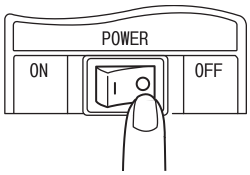
ここでは、トラックで長距離運搬するなど、大きな振動を伴ったプリンタの移送手順について説明します。

お願い

- 移動のとき、プリンタを前後、左右方向に 10 度以上傾けないでください。プリンタ内部のサプライ品がこぼれるなど故障の原因になります。
- 移動のとき、トナーカートリッジは取り外さないでください。プロセスカートリッジ内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- オプションの拡張給紙ユニット給紙トレイなどを取り付けている場合は、プリンタ本体から取り外して運搬してください。オプション品はプリンタ本体に固定されていないため、取り付けたままでは落下などによるけがの原因になります。取り外し方については、各オプション品の梱包箱に記載されている手順を参照して、取り付けと逆の手順で取り外してください。

1 プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押す

電源が切れます。



2 電源コードやプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外す

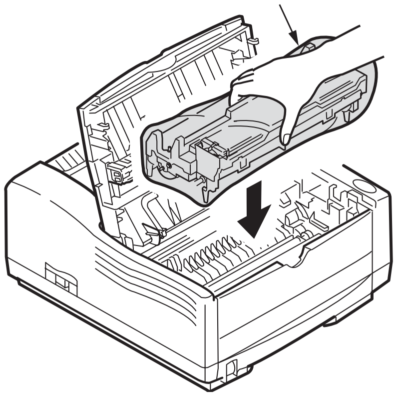
⚠ 警告	感　電	電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
⚠ 注意	火　災 感　電	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っぱるとコードが傷付き、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 給紙カセットや給紙トレイから用紙を取り出す

湿気やほこりのない場所に保管してください。

4 トップカバーを開け、プロセスカートリッジを取り出す

5 プロセスカートリッジをトナーカートリッジごと黒いビニール袋に入れ、プリンタに戻す



ガイド

黒いビニール袋はプリンタに同梱されています。

お願い

いったんトナーカートリッジを装着した後にトナーカートリッジを外すと、プロセスカートリッジの口が開いたままになり、輸送などの揺れによりプロセスカートリッジの口からトナーがこぼれ、飛粉する場合があります。また、プロセスカートリッジを黒いビニール袋に入れないで輸送すると、トナーがこぼれ、プリンタ内部を汚すおそれがあります。必ず黒いビニール袋を使用してください。

6 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れる

これで、移送できる状態になりました。

ガイド

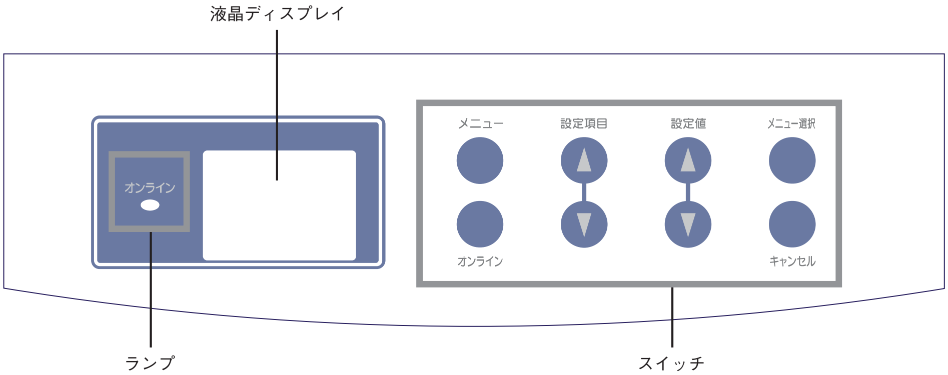
プリンタ購入時についていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

第8章
オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

オペレータパネルの各部の名称と機能

オペレータパネルは、ランプ、液晶ディスプレイ、スイッチで構成されています。ここでは、オペレータパネルの各部の名称と機能について説明します。



ランプ表示

ランプは、プリンタの状態を点灯 / 点滅 / 消灯で表します。

名称	説　明
オンラインランプ	緑色でデータの処理状況を表します。 点灯 データが受信できる状態です（オンライン）。 点滅 受信したデータを処理しています。 消灯 データが受信できない状態です（オフライン）。また、エラーが発生したときやイニシャル中のときも消灯しています。

液晶ディスプレイの表示

プリンタの状態を表す「プリント画面」と、プリンタに関する設定を行うための「共通メニュー画面」があります。

ガイド

プリンタに取り付けられているオプション品や設定の状態によって、表示される内容は異なります。

プリント画面

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。
1 行 8 文字で 2 行に表示します。

共通メニュー画面

プリンタに関する設定を行う画面です。
共通メニュー画面は、プリント画面から〔メニュー〕スイッチを押して表示します。次の手順に従って、画面を切り替えてください。

1. 〔メニュー〕スイッチを押し、目的のカテゴリを表示させる
2. 設定する項目を表示するまで、〔設定項目▲〕または〔設定項目▼〕スイッチを押す
3. 〔設定値▲〕または〔設定値▼〕スイッチを押し、目的の値にする
4. 〔メニュー選択〕スイッチを押し、値の右側に〔＊〕を付ける
5. 〔オンライン〕スイッチを押す

   〔オンライン〕にします。

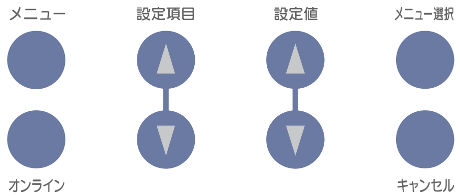
参照　共通メニュー画面の操作については、「共通メニュー画面の設定一覧」（178 ページ）を参照

8

運用編

スイッチ操作

オペレータパネルには、次の 8 種類のスイッチがあります。各スイッチは、プリント画面や共通メニュー画面で、次のような働きをします。



名称	説　明
〔オンライン〕スイッチ	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューモード中に押すとオンライン状態になります。印刷中、用紙サイズが違っている場合に押すと、用紙サイズが違うまま強制的に印刷します。
〔キャンセル〕スイッチ	処理中の動作を中断し、削除します。また、手差しトレイに用紙がある場合には用紙を強制的に排出します。
〔メニュー 〕スイッチ	メニューモードになります。メニューモード中に押すと、メニューのカテゴリ表示を一つ先に進めます。
〔設定項目▲〕スイッチ	メニューモード中に押すと項目表示を一つ先に進めます。2 秒以上押すと早送りします。
〔設定項目▼〕スイッチ	メニューモード中に押すと項目表示を一つ前に戻します。2 秒以上押すと早送りします。
〔設定値▲〕スイッチ	メニューモード中に押すと設定値を一つ先に進めます。2 秒以上押すと早送りします。
〔設定値▼〕スイッチ	メニューモード中に押すと設定値を一つ前に戻します。2 秒以上押すと早送りします。
〔メニュー選択〕スイッチ	メニューモードで短く押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“＊”を表示します。 パワーセーブモード中に押すとパワーセーブを解除します。（メニューモード時を除く）

残ったデータを強制印刷する

印刷中、または用紙サイズが違っている場合にオペレーションパネルの〔オンライン〕スイッチを押すと、強制的に印刷を行います。

プリンタ側で印刷を中止する

パソコン側で印刷指示を取り消した後、この操作をするとプリンタで処理中のデータの印刷を中止できます。ただし、印刷中のページは印刷されます。

1 〔プリンタ〕フォルダ、または〔プリンタとFAX〕フォルダを開く

Windows98/Me/NT 4.0/2000の場合：

〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003の場合：

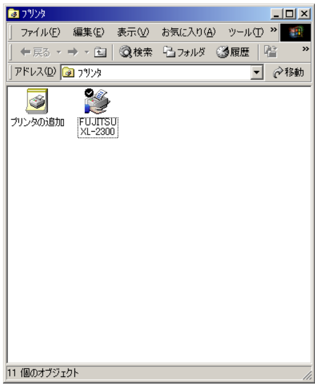
〔スタート〕－〔プリンタとFAX〕の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008の場合：

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックします。

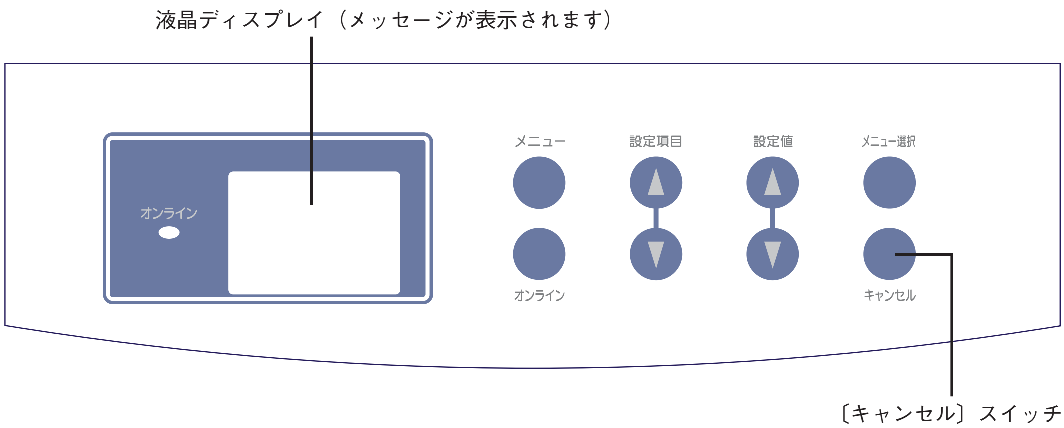
2 本製品のプリンタアイコンをダブルクリックする

プリンタウィンドウが表示されます。



3 中止したいドキュメントをクリックし、キーボードの〔Delete〕キーを押す

4 下に示すオペレータパネル上の〔キャンセル〕スイッチを使用して、印刷を中止する



参照　オペレータパネルの操作方法について、詳しくは「オペレータパネルの各部の名称と機能」（172 ページ）を参照

シヨリチュウ
ハ゜ラレル　　　トレイ1

〔ショリチュウ〕または〔データアリ〕が表示されている場合はプリンタのオペレータパネルで印刷をキャンセルします。

↓ ①〔オンライン〕スイッチを押す。

オフライン

（オフライン状態画面）

↓ ②〔キャンセル〕スイッチを1回押す。（印刷の中止の処理が行われます。）

テ゛ータクリア

↓ 中止の処理が終了すると、オンライン状態に戻ります。

オンライン

共通メニュー画面の設定一覧

プリンタのオペレータパネルで行う設定項目について説明します。
設定項目の設定方法は、「液晶ディスプレイの表示」「共通メニュー画面」（173 ページ）を参照してください。

お願い

・〔NETWORK〕の設定変更後の約 30 秒間、オペレータパネルには〔オンライン〕と表示されます。
・また、ネットワーク環境などの状況によっては、2 ～ 3 分間、オペレータパネルに〔オンライン〕と表示される場合があります。この間、プリンタは初期化のための準備をしています。
・準備が完了するとオペレータパネルの表示は〔ネットワーク　ショキカチュウ〕に変わり、初期化、設定変更およびシステムの再立ち上げを行います。
・システムの再立ち上げが完了するまでは、オペレータパネルの操作や電源の投入 / 切断を行わないでください。
・オプションのプリンタ LAN カードを搭載した装置では、Internet Service の操作によりオペレータパネルのロックが可能です。この場合は、ユーザメニューの設定／変更ができなくなりますので注意ください。
・ロック解除は、Internet Service の管理者モードで〔メンテナンス〕タブの〔オペパネのロック〕メニューで行います。
・詳しくは、本製品に添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収められている、ネットワークガイド（PDF ファイル）を参照してください。

注意

故 障	「パワーセーブ」は「有効」（デフォルト）の状態で使用してください。 「パワーセーブ」を「無効」に変更して使用する場合、電源を投入した状態のまま長時間放置すると、装置故障の原因となります。「無効」に設定しているときは、一日に一回はプリンタの電源をお切りください。

ユーザメニュー

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
－：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
インフォメニュー	セッテイナイヨウ	インサツ	設定内容の一覧を印刷します。	―
	テキストフォント	インサツ	テキストモード用フォントリストを印刷します。	―
インサツメニュー	コピーマイスウ	1 ～ 999	コピー枚数を設定します。	◎
	テサシ　インサツ	オン オフ	手差しモードを指定します。〔オン〕に設定するとPAPER INの指定にかかわらず（コマンドの指定は有効）手差しトレイから用紙を吸入します。	◎
	キュウシ　トレイ *1	トレイ 1 トレイ 2 MPF	給紙トレイを指定します。〔トレイ2〕、〔MPF〕は実装時のみ表示します。	◎
	ジドウトレイ	オン オフ	自動トレイ切り替え機能を設定します。本設定はトレイ 2、MPF のいずれかが実装されている場合のみ有効です。初期設定はトレイ 2、MPF のいずれかが実装されている場合は〔オン〕、未実装の場合は〔オフ〕です。	◎
	トレイ　ジュン *1	シタ　ホウコウ ウエ　ホウコウ キュウシトレイ	操作パネル設定 / 自動トレイ切り替え時の選択順序を指定します。	○

*1　操作パネル設定／自動トレイ切り替え時に、選択されるトレイの優先度は、次のようになります。

印刷メニューの給紙トレイ	印刷メニューのトレイ順	トレイの選択優先度
トレイ 1	下方向／上方向／給紙トレイ	トレイ 1 →トレイ 2 → MPF
トレイ 2	下方向／上方向／給紙トレイ	トレイ 2 →トレイ 1 → MPF
MPF	下方向／給紙トレイ	MPF →トレイ 1 →トレイ 2
	上方向	MPF →トレイ 2 →トレイ 1

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
インサツ メニュー	サイズチェック	ユウコウ ムコウ	編集サイズと用紙サイズが異なった場合に、オペレータパネルに警告メッセージを表示するかどうかを設定します。合わせて、エンジンでの用紙サイズチェックを行うかどうかを指定します。	◎
	カイゾウド	V1200 600	解像度を設定します。	◎
	トナーセーブ *2	ムコウ ヤヤセーブ セーブ	本機能はサポートしていません。 設定を変更をしないでください。	◎
	インサツホウコウ	タテ ヨコ	印刷方向を設定します。	◎
メディア メニュー	T1　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LETTER カスタム	トレイ1の用紙サイズを設定します。用紙サイズの検知機構がないので表示パネルから設定してください。	○
	T1　タイプ	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	トレイ 1 の用紙種別を設定します。	—
	T1　ウェイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	トレイ 1 の用紙厚を設定します。	◎
	T2　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ B5　サイズ LETTER カスタム	トレイ2の用紙サイズを設定します。用紙サイズの検知機構がないので表示パネルから設定してください。本メニューはトレイ 2 実装時のみ表示されます。	○

*2 トナーセーブはドライバから設定可能です。

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
メディア メニュー	T2　タイプ	フツウシ レターヘッド ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	トレイ 2 の用紙種別を設定します。本メニューはトレイ 2 実装時のみ表示されます。	—
	T2　ウェイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	トレイ 2 の用紙厚を設定します。本メニューはトレイ 2 実装時のみ表示されます。	◎
	MPF　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LETTER カスタム ハガキ オウフク	MPF（給紙トレイ）の用紙サイズを設定します。本メニューは給紙トレイ実装時のみ表示されます。	○
	MPF　タイプ	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	MPF（給紙トレイ）の用紙種別を設定します。本メニューは給紙トレイ実装時のみ表示されます。	◎
	MPF　ウェイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	MPF（給紙トレイ）の用紙厚を設定します。本メニューは給紙トレイ実装時のみ表示されます。	◎
	テサシ　サイズ	A4　サイズ A5　サイズ A6　サイズ B5　サイズ LETTER カスタム ハガキ オウフク	手差しトレイの用紙サイズを設定します。用紙サイズの検知機構がないので表示パネルから設定してください。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
メディア メニュー	テサシ　タイプ	フツウシ レターヘッド OHP ラベルシ ボンドシ サイセイシ アツガミ アライカミ	手差しトレイの用紙種別を設定します。	◎
	テサシ　ウェイト	ウスイカミ フツウシ ヤヤアツイカミ アツイカミ ヨリアツイカミ	手差しトレイ の用紙厚を設定します。	◎
	カスタムサイズ	インチ ミリ	カスタム用紙サイズ設定時の単位を設定します。	◎
	ヨウシハバ(インチ)	3.5 ～ 8.3 ～ 8.5	カスタム用紙の用紙幅を設定します。用紙幅は用紙走行方向と垂直方向に設定してください。ここで設定した値が、印刷時の指定トレイのサポートサイズ範囲外のときはマニュアル用紙を要求します。	◎
	ヨウシハバ(ミリメートル)	90　ミリ ～ 210　ミリ ～ 216　ミリ		
	ヨウシナガサ(インチ)	5.8 ～ 11.0 ～ 11.7	カスタム用紙の用紙長さを設定します。用紙長さは用紙走行方向と同じ方向に設定してください。ここで設定した値が印刷時の指定トレイのサポートサイズ範囲外のときはマニュアル用紙を要求します。	◎
	ヨウシナガサ(ミリメートル)	148　ミリ ～ 279　ミリ ～ 297　ミリ		
システムコウセイメニュー	パワーセーブ	1　フン 5　フン 10　フン 15　フン 30　フン 60　フン 120　フン 240　フン	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。エラー中もパワーセーブモードに移行します。 エラー中も有効です。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
システムコウセイメニュー	エミュレーション *3	WIN TEXT	プリンタ言語を選択する。 ESC/P データの印刷時は、必ずTEXT モードにしてください。WIN モードで印刷すると〔ムコウ　データ〕と液晶ディスプレイに表示され、何も印刷されません。	○
	アラーム　クリア	オン ジョブ	クリア可能なワーニングの表示消去タイミングを設定します。	○
	エラーカイジョ	オン オフ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかどうかを設定します。	○
	ウェイト　タイム	オフ 5 ビョウ ～ 20 ビョウ ～ 300 ビョウ	ジョブデータを受信しなくなってから強制印刷を行うまでの時間を設定します。	○
	トナーエラー	ケイゾク テイシ	トナーロー検出時のプリンタ動作を設定します。〔ケイゾク〕ではオンラインのままで印刷継続が可能です。〔テイシ〕ではオフラインになります。	○
	ジャムリカバ	オン オフ	ジャム時にリカバリ印刷を行うかどうかを設定します。	○
テキストモードメニュー	カンジショタイ	ジドウ ミンチョウ カクゴシック	漢字書体を設定します。内蔵は平成明朝と平成角ゴシックの 2 種類が選択可能です。自動選択が設定されている場合は電源投入時や各初期化終了後は平成明朝とし、その後はホストマシンより受信する漢字書体コマンドの設定に従います。また、各書体固定が選択されている場合は漢字書体コマンドを受け捨て、常に選択されている書体で印刷します。	－

*3 TEXT モード時にパソコン側より不当なデータ（254 ページ参照）が送られた場合、無効なデータは文字化けしたデータとしてそのまま印刷されます。

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
テキストモードメニュー	ANK ショタイ	ジドウ ローマン サンセリフ	ANK 書体を設定します。内蔵はローマンとサンセリフの 2 種類が選択可能です。自動選択が設定されている場合は 電源投入時や各初期化終了後はローマンとし、その後はホストマシンより受信する ANK 書体コマンドの設定に従います。また、各書体固定が選択されている場合は ANK 書体コマンドを受け捨て、常に選択されている書体で印刷します。	—
	ANK コード	カタカナ グラフィック	ANK 文字コード表を設定します。ANK 文字コード表設定コマンド受信時は、コマンドによる設定を優先します。	—
	ANK ゼロ	ノーマル スラッシュ　0	ANK のゼロ文字に対するスラッシュの有無を設定します。	—
	シュクショウ	トウバイ A4X2 → A4 B4 → A4 15" → A4 10" → A4	縮小サイズを設定します。等倍選択で縮小印刷は解除されます。〔15" → A4〕の選択では印刷方向は横、〔10" → A4〕の選択では印刷方向は縦になりますが、ページレイアウト 2 の印刷方向項目には影響しません。また、トレイ選択と用紙サイズとの選択の組み合わせで A4 以外となった場合でも本項目の選択肢はすべて選択可能ですが、動作は等倍になります。	—
	アタマダシイチ	5 ミリ 8.5 ミリ 22 ミリ	ページ内 1 文字目の垂直方向印刷位置を用紙上端から文字上端までの距離にて設定します。	—
	ヨコ　オフセット	-1.0 ミリ ～ 0 ミリ ～ +20.0 ミリ	印刷位置を編集方向に対し0.5mm単位で横方向に補正します。左 = マイナス、右 = プラス	—

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
テキストモードメニュー	タテ　オフセット	-15.0 ミリ ～ 0 ミリ ～ +15.0 ミリ	印刷位置を編集方向に対し0.5mm単位で縦方向に補正します。左＝マイナス、右＝プラス レベル 1 メニューの頭出し位置と本項目設定値の合計が4.0mm以下の場合には内部的な合計移動量を4.00mmとして動作します。	―
	ミギマージン	ヨウシハバ 136 ケタ	1 行内のリミットである右マージンの位置を設定します。用紙幅を選択した場合は、使用する用紙の印刷可能領域となります。136 桁を選択した場合は、用紙サイズに関係なく136 桁（13.6 インチ）となり、用紙の印刷可能領域を越える印刷データは切り捨てます。右マージン設定コマンド受信時は、コマンドによる設定を優先します。	―
	CR　キノウ	CR ノミ CR+LF	CR コード受信時の動作を設定します。	―
	オートフッカイ	CR＋LF WIN	ライトマージンオーバ時の動作を設定します。	―
セントロメニュー	セントロ	ユウコウ ムコウ	セントロ I/F の有効／無効を設定します。すでに NETWORK を除く他の I/F がすべて無効の場合は、本設定を無効にはできません。	○
	ソウホウコウ	ユウコウ ムコウ	双方向セントロの有効／無効を設定します。	○
	ECP	ユウコウ ムコウ	ECPモードの有効／無効を設定します。	○
	ACK　ハバ	セマイ フツウ ヒロイ	コンパチ受信時の ACK 幅を設定します。〔セマイ〕は 0.5μs、〔フツウ〕は 1.0μs、〔ヒロイ〕は 3.0μs です。	○
	ACK/BUSY	IN WHILE	コンパチ受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。〔IN〕は BUSY=LOW を ACK パルスの後縁にし、〔WHILE〕は BUSY=LOW を ACK パルスの中心にします。	○
	I-PRIME	3u　SEC 50u　SEC ムコウ	I-PRIME 信号の有効／無効を設定します。〔3u SEC〕では 3μs、〔50u SEC〕では 50μs の nInit 信号で有効になります。有効のときに I-PRIME 受信するとセントロドライバのみをイニシャルします。	○
USBメニュー	USB	ユウコウ ムコウ	USB I/F の有効／無効を設定します。すでに NETWORK を除く他の I/F がすべて無効の場合は、本設定を無効にはできません。	○
	ソフト　リセット	ユウコウ ムコウ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○
	シリアルナンバ	ユウコウ ムコウ	USB シリアルナンバの有効／無効を設定します。	○

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
NETWORK *4	IP ADDR.	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。	○
	IP　1/4	000 ～ 255	IP アドレスの 1 桁目を設定します。	○
	IP　2/4	000 ～ 255	IP アドレスの 2 桁目を設定します。	○
	IP　3/4	000 ～ 255	IP アドレスの 3 桁目を設定します。	○
	IP　4/4	000 ～ 255	IP アドレスの 4 桁目を設定します。	○
	MASK　1/4	000 ～ 255	サブネットマスクの 1 桁目を設定します。	○
	MASK　2/4	000 ～ 255	サブネットマスクの 2 桁目を設定します。	○
	MASK　3/4	000 ～ 255	サブネットマスクの 3 桁目を設定します。	○

*4　プリンタ LAN カードを取り付けた場合のみ表示されます。

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
NETWORK	MASK　4/4	000 ～ 255	サブネットマスクの 4 桁目を設定します。	○
	GATE　1/4	000 ～ 255	ゲートウェイアドレスの 1 桁目を設定します。	○
	GATE　2/4	000 ～ 255	ゲートウェイアドレスの 2 桁目を設定します。	○
	GATE　3/4	000 ～ 255	ゲートウェイアドレスの 3 桁目を設定します。	○
	GATE　4/4	000 ～ 255	ゲートウェイアドレスの 4 桁目を設定します。	○
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効／無効を設定します。	○
	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効／無効を設定します。	○
	HUB LINK *5	AUTO 100FULL 100HALF 10FULL 10HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○
メモリ メニュー	ジュシン　BUF	ジドウ 0.1MB 0.2MB	受信時にバッファサイズを設定します。	○
システム ホセイ メニュー	X　ホセイ	0.00 ミリ +0.25 ミリ ～ +2.00 ミリ -2.00 ミリ ～ -0.25 ミリ	印刷イメージ全体の位置を用紙の走行方向に垂直な方向（横方向）に補正します。（0.25mm 間隔）この指定により、印刷可能領域を超えた印刷イメージはクリップされます。	○

*5　〔HUB LINK〕の設定を変更した場合は、オペレータパネルに〔ネットワーク　ショキカチュウ〕が表示されシステムの再立ち上げが完了したことを確認後、必ずプリンタの電源をいったん切断し、再び投入してください。

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
システムホセイメニュー	Y　ホセイ	0.00 ミリ +0.25 ミリ ～ +2.00 ミリ -2.00 ミリ ～ -0.25 ミリ	印刷イメージ全体の位置を用紙の印刷走行方向に垂直な方向（縦方向）に補正します。(0.25mm 間隔）この指定により、印刷可能領域を超えた印刷イメージはクリップされます。	○
	ヘキサダンプ	ジッコウ	上位ホストより受信したデータを 16 進数のダンプ形式で印刷出力します。電源を OFF すると HEX ダンプモードから通常モードに戻ります。	○
メンテナンスメニュー	セッテイ	ショキカ	オペレーションパネルの設定内容を初期化します。	○
	ドラムカウンタ	リセット	プロセスカートリッジを交換したとき、ドラム寿命をリセットするための機能です。	○
	パワーセーブ *6	ユウコウ ムコウ	パワーセーブモードの有効／無効を設定します。有効時のパワーセーブ移行時間はシステムコウセイメニューの〔パワーセーブ〕から変更してください。	○
	セッティング	0 +1 +2 -2 -1	印刷結果にカスレ、チリなどが顕著に発生する場合の微調整に使用します。高密度印刷部で散ったような印刷あるいは雪が降ったような印刷が発生した場合は値を減らし、印刷がかすれるような場合は値を増やしてください。	○
	インサツノウド	0 +1 +2 -2 -1	印刷濃度を設定します。	◎
	クリーニング	インサツ	クリーニング印刷を実行します。	○

*6 「パワーセーブ」は「有効」（デフォルト）の状態で使用してください。
「パワーセーブ」を「無効」に変更して使用する場合、電源を投入した状態のまま長時間放置すると、装置故障の原因となります。「無効」に設定しているときは、一日に一回はプリンタの電源をお切りください。

カテゴリ	オペレータパネル表示		内容	
	設定項目（上段）	設定項目（下段）		
ジュミョウ メニュー	トータル　PG	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。総印刷枚数とは定着器を通過したページ数です。ホッピング後のジャム時はカウントされません。	○
	ドラム　ノコリ	xxx%	ドラムの使用量を表示します。ドラムの回転数から換算した値です。	○
	トナー　ノコリ	アリ／スクナイ(ロー)／ナシ(コウカン)	トナーの残量を表示します。プロセスカートリッジ内のセンサによりトナー量が少なくなったことを検出すると、〔スクナイ(ロー)〕と表示されます。 その後、規定のドットカウント分印刷が行われると〔ナシ(コウカン)〕と表示されます。 また、トナーローが検出されていない状態では、〔アリ〕と表示されます。 ※トナーローの状態でプロセスカートリッジの脱着などを行うと一時的にトナーローが解除されることがあります。 この場合は、〔スクナイ(ロー)〕の表示がいったん〔アリ〕に戻りますが、数枚から数十枚印刷を行うと再度トナーローが検出されるため、〔スクナイ(ロー)〕の表示に戻ります。	○

設定値を初期化する

ユーザメニュー（NETWORK 以外）の設定値を初期化する場合は、以下の手順に従って、オペレータパネルを操作してください。

1. 〔メンテナンスメニュー〕と表示されるまで、〔メニュー〕スイッチを数回押す
2. 〔設定項目▲〕スイッチを押し、〔セッテイ　ショキカ〕を表示させる
3. 〔メニュー選択〕スイッチを押す

   〔イニシャルチュウ〕と表示され、設定が初期化されます。

第9章

プリンタドライバの設定 / 印刷

この章では、プリンタドライバの設定項目および設定方法について説明します。

印刷の流れ

Windows 環境から印刷する場合の基本的な流れを説明します。
（ご使用になるホストやシステム構成によって、異なる場合があります。）

ホスト側で使用するアプリケーションを起動する

操作については、アプリケーションの説明書をご覧ください。

必要に応じて　**メニューを操作する**

クライアントから印刷するデータを送信する前に、次のことを行ってください。
① 共通メニューのネットワークポート設定で、使用するポート状態を確認する
② 共通メニューのネットワークポート設定メニューのプリントモード指定で、使用するポートのプリントモードを確認する

参照
操作については、「共通メニュー画面の設定一覧」（178 ページ）参照

アプリケーションなどから印刷を指示する

操作については、アプリケーションの説明書をご覧ください。

必要に応じて　**印刷を中止する**

参照
操作については、「プリンタ側で印刷を中止する」（176 ページ）参照

必要に応じて　**排出する**

参照
操作については、「残ったデータを強制印刷する」（175 ページ）参照

終　了

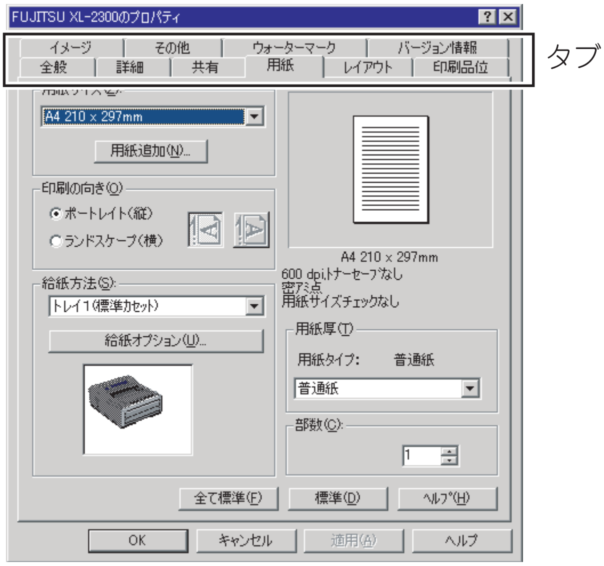
印刷機能の設定について

ほとんどの印刷機能は、アプリケーションから印刷するときに表示されるプロパティ画面や、お使いのパソコンにインストールしたプリンタのアイコンから表示させるプロパティ画面で設定を行います。
表示させたプロパティ画面でタブを切り替えて、各機能を設定します。
設定方法などについては、XL-2300Gプリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。
表示内容はお使いの Windows の種類によって、異なる場合があります。

参照　オンラインヘルプの使い方については、「オンラインヘルプの見かた」（17 ページ）を参照

プロパティ画面について

パソコンの〔スタート〕メニューから〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックし、本製品を選択してプリンタのプロパティを表示した場合は、次のように表示されます。



9

運用編

使用しているアプリケーションで〔ファイル〕－〔印刷〕の順にクリックし、本製品を選択してプリンタのプロパティ画面を表示した場合は、次のように表示されます。

ガイド

〔印刷〕コマンドは、お使いのアプリケーションによって表示が異なる場合があります。



タブ

各画面には３つのボタンがあり、それぞれ次のような機能があります。

全て標準　　：プリンタ設定のすべての項目を標準値に戻します。
標準　　　　：表示している画面の項目のみを標準値に戻します。
ヘルプ　　　：表示ダイアログのヘルプを表示します。

主な印刷機能一覧

主な印刷機能について説明します。
各機能を、プリンタドライバのプロパティ画面のタブごとに紹介します。

参照　プロパティ画面を表示させるには、「プロパティ画面について」（193 ページ）を参照

各タブの詳しい説明は、オンラインヘルプを参照してください。

参照　「オンラインヘルプの見かた」（17 ページ）を参照

〔用紙〕タブ

用紙サイズや給紙方法などを設定します。



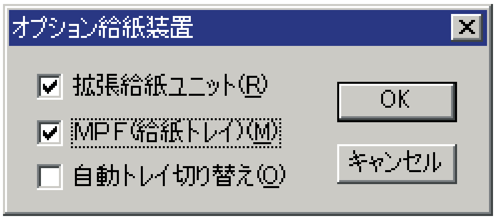
項　目	内　容
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。 ユーザ定義用紙は〔用紙追加〕ボタンをクリックして、設定できます。ここで定義されたサイズは、用紙サイズ一覧の最後尾に追加されます。最大で 32 の用紙サイズを登録することができます。
印刷の向き	印刷する用紙方向を指定します。
給紙方法	給紙方法を選択します。 デフォルトでは〔トレイ 1（標準カセット)〕または〔手差し〕がリストに表示されます。オプション給紙装置を設定すると〔トレイ 2（拡張給紙ユニット)〕、〔MPF（給紙トレイ)〕、〔操作パネル設定〕がリストに追加され選択可能となります。
用紙厚	印刷する用紙の厚さを選択します。用紙サイズを選択すると、自動的に最適なものが選択されます。
部数	印刷する部数を 1 ～ 999 の範囲で設定します。

ガイド

用紙サイズを選択すると、自動的に最適な用紙厚が選択されます。印刷した用紙にシワが生じるときは、「薄い紙」の方へ、トナーの定着が悪いときは「厚い紙」の方へ設定を変更してください。変更した結果は記憶されます。出荷時の値に戻す場合は、〔標準〕ボタンをクリックしてください。

〔オプション給紙装置〕ダイアログボックス

オプションの給紙装置を取り付けている場合に、〔用紙〕タブの〔給紙オプション〕ボタンを押すと、〔オプション給紙装置〕ダイアログボックスが表示されます。ここで、オプションのトレイ 2(拡張給紙ユニット) または MPF(給紙トレイ) を取り付けているかどうかを設定します。



項　目	内　容
拡張給紙ユニット	オプションの拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、チェックをつけます。
MPF（給紙トレイ）	オプションの給紙トレイを取り付けた場合は、チェックをつけます。
自動トレイ切り替え	チェックをつけると、給紙中のトレイに用紙がなくなった場合、自動的に他のトレイに切り替えます。ただし、オプションの拡張給紙ユニットまたは MPF（給紙トレイ）が取り付けられていない場合には、設定できません。

ガイド

「操作パネル設定」および「自動トレイ切り替え」の機能と用途は、次のとおりです。

項目	機能	用途
操作パネル設定	オペレータパネルで設定した用紙サイズに合わせて、給紙を行うトレイ（トレイ 1 ／トレイ 2（MPF ／給紙トレイ））を自動的に選択する機能です。〔用紙〕タブ（プリンタドライバ）の用紙サイズと、オペレータパネルの〔メディアメニュー〕であらかじめ設定された用紙サイズが一致するトレイから給紙が行われます。	複数のトレイにそれぞれ異なる用紙をセットして運用している場合に、印刷サイズを変更するたびに給紙口を切り替える必要がなくなります。
自動トレイ切り替え	プリンタドライバで指定したトレイに用紙がなくなった場合に他のトレイに自動的に切り替える機能です。〔用紙〕タブ（プリンタドライバ）の用紙サイズとオペレータパネルの〔メディアメニュー〕であらかじめ設定された用紙サイズが一致するトレイに切り替えます。	同一サイズの用紙を複数のトレイにセットし、大量の印刷物を一括して印刷する場合に利用できます。

参照　「主な印刷機能一覧」の「〔用紙〕タブ」（196 ページ）を参照

・「操作パネル設定」および「自動トレイ切り替え」を使用する場合は、次の点にご注意ください。
- 〔オプション給紙装置〕ダイアログボックスでトレイ 2 または給紙トレイ（MPF）をチェックした場合に設定可能となります。
- 〔その他〕タブの「用紙サイズチェック」を「あり」にして使用してください。「なし」を選択した状態で指定すると、すべてのトレイが給紙対象または給紙切り替えの対象となり、印刷指定サイズとは異なる用紙に印刷してしまう可能性があります。
- 現在セットされている用紙とは異なるサイズの用紙に入れ替える場合は、必ずオペレーションパネルの〔メディアメニュー〕で対象トレイの用紙サイズを変更してください。
- 「操作パネル設定」選択時に、〔用紙〕タブ（プリンタドライバ）の用紙サイズと〔メディアメニュー〕で設定した用紙サイズがすべて一致しない場合は、オペレータパネルの〔インサツメニュー〕にある〔キュウシトレイ〕で設定されたトレイから給紙を行います。ただし、用紙サイズチェック「あり」が選択されている場合は、用紙サイズと不一致となり、エラー（「...　サイズガ　チガイマス」）が表示されます。
- 用紙サイズが〔ハガキ〕、〔往復ハガキ〕の場合、あるいは用紙厚が〔OHP フィルム〕の場合、本機能は使用できません。

〔ユーザ定義サイズ〕ダイアログボックス

用紙サイズ一覧からユーザ定義サイズを選択すると、以下のダイアログが表示されます。



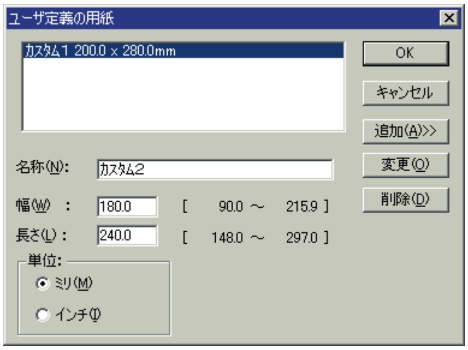
項　目	内　容
幅	90mm ～ 215.9mm の範囲で任意に設定することができます。
長さ	148mm ～ 297.0mm の範囲で任意に設定することができます。
単位	設定するサイズの、長さの単位を選択します。
標準	値を幅 210.0mm、長さ 297.0mm、単位ミリの標準値に戻します。

ガイド

「長さ」が「幅」よりも短い場合、その設定は無効となります。

〔ユーザ定義の用紙〕ダイアログボックス

〔用紙〕タブで〔用紙追加〕ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



項　目	内　容
リスト	登録した用紙の「名称」「幅」「長さ」「単位」を表示します。 ここに表示される名称が用紙サイズ一覧に追加されます。
名称	登録する用紙名を全角で 6 文字、半角で 12 文字以内で入力します。
幅	90mm ～ 215.9mm の範囲で任意に設定することができます。
長さ	148mm ～ 297.0mm の範囲で任意に設定することができます。
単位	設定する長さの単位を選択します。
追加	「名称」に新規に入力すると有効になります。新規に用紙を登録すると、リスト内に追加されます。
変更	登録済み用紙の設定を変更すると有効になります。変更した内容で再度登録できます。
削除	登録済みの用紙を選択すると有効になります。用紙を削除します。

ガイド

「長さ」が「幅」よりも短い場合、その設定は無効となります。

〔レイアウト〕タブ

とじ代、マルチページの設定を行います。



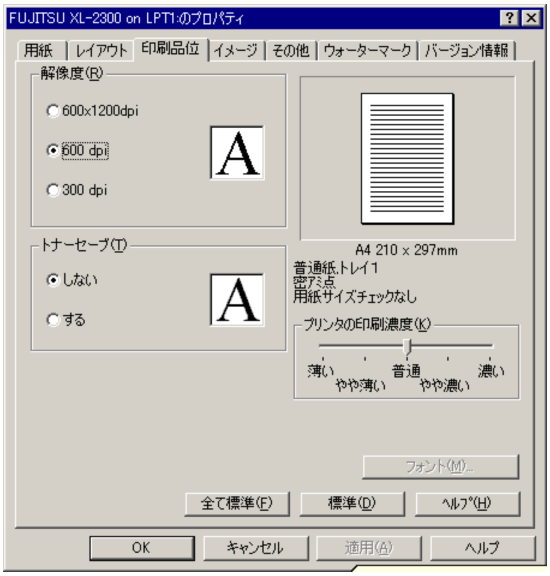
項　目	内　容
とじ代	印刷文書を縮小して、上下左右のいずれかに 0 ～ 30mm の範囲でとじ代の幅を設定することができます。
単位	設定する幅の単位を選択します。
マルチページ	1 枚の用紙に複数のページを縮小して印刷します。
ページの配置	割り付けるページの配置を選択します。

ガイド

- マルチページは次の用紙が選択されている場合に有効です。
  A4、A5、A6、B5、レター、往復ハガキ、ハガキ
- マルチページ機能は、1 ページの印刷領域内に 2 ページまたは 4 ページ分のデータを縮小して印刷しているだけで、用紙の中央が正確に合わない場合があります。印刷可能領域（余白領域）が多少異なります。綴じ代などについても考慮されておりませんのでご了承ください。
- 枠線は印刷用紙の印刷可能範囲いっぱいに描画されますが、1 枚の用紙に印刷される各ページの印刷可能範囲は、枠線と等しくありません。

〔印刷品位〕タブ

解像度、トナーセーブ、印刷濃度の設定を行います。



項　目	内　容
解像度	600 × 1200dpi、600dpi、300dpi を選択します。
トナーセーブ	印刷に使用するトナーの節約度合いを設定します。しない、するを選択します。
プリンタの印刷濃度	ドラッグバーを使い、印刷するときの濃さを 5 段階で設定します。

お 願 い

- トナーセーブの設定時には、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。
- トナーセーブモードを継続して使用した場合、印刷濃度が徐々に薄くなることがあります。このような現象を防ぐために、あらかじめ 300dpi の解像度で利用することをお勧めします。

ガ イ ド

プリンタドライバで〔600dpi × 1200dpi〕、〔600dpi〕に設定した場合、複雑なグラフィックや写真などのイメージ、細かな文字を多く使用したページを印刷すると、まれにプリンタのメモリが不足することがあります。このような場合、メモリ不足を予測して、複雑なページに対して自動的に解像度を調整して印刷するオートマティックフォールダウン機能（自動低解像度印刷）が働きます。
複数のページを印刷した場合、オートマティックフォールダウン機能が働くのはメモリの不足が予測されるページのみであり、それ以外のページは設定した解像度で印刷されます。

〔イメージ〕タブ

ディザリング、明暗、拡大・縮小などの設定を行います。



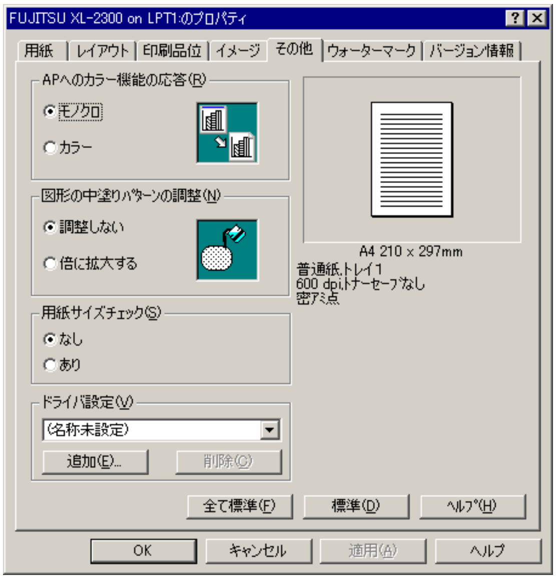
項　目	内　容
ディザリングのパターン	中間色の表現方法を設定します。
ディザリングの密度	ディザパターンを作成するときのドットの密度を設定します。
白以外を黒にする	白以外の色で設定された文字やグラフィックをディザリングせずに黒色にします。
明暗の調整	ドラッグバーを使い、ブライトネス（イメージ全体の明るさ）とコントラスト（明暗の差）を設定します。
印刷効果	イメージを反転させる場合に選択します。
拡大・縮小	リストボックスにあらかじめ用意されている拡大縮小率を選択します。直接拡大・縮小率を入力する場合は〔カスタム〕を選択してください。

ガイド

- 拡大・縮小機能は印刷データを拡大・縮小するもので、用紙サイズは変更されません。必要に応じて印刷する用紙サイズを設定してください。拡大・縮小により、印刷可能領域（余白領域）も変化します。
- 「拡大・縮小」を設定すると、アプリケーションによっては予期しない結果になる場合があります。正しく印刷できないときは、「なし」に設定してください。
- 「解像度」「ディザリングのパターン」「ディザリングの密度」「明暗の調整」の設定によって、文書のグラフィックスの印刷結果が総合的に決まります。場合によっては、希望する結果が得られるまで、これらの項目にいろいろな設定をしてみる必要があります。

〔その他〕タブ

AP へのカラー応答、中塗りパターンの調整を設定します。



項　目	内　容
AP へのカラー機能の応答	プリンタのカラー処理情報を調べて、カラーデータの処理を変えるアプリケーションのための設定です。ディスプレイの表示に近い印刷結果を得るために使います。
図形の中塗りパターンの調整	ハッチブラシ、パターンブラシを使用した場合の密度を選択します。中塗りのパターンは、カラー表現のディザリングとは異なります。 「調整しない」 解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、そのまま使います。 「倍に拡大する」 解像度に関係なくハッチブラシ、パターンブラシのパターンは、倍にして使います。

項　目	内　容
用紙サイズチェック	用紙サイズのチェックを行うかどうかを設定します。 サイズチェックありを選択すると、印刷時の用紙サイズとオペレータパネルで設定した用紙サイズが一致する場合のみ給紙を行います。 ただし、トレイ内にある実際の用紙が設定条件と異なる場合は、給紙直後に用紙幅センサ部でエラーとみなし、停止することがあります。 ・サイズチェックの対象トレイは、トレイ 1/ トレイ 2/MPF（給紙トレイ）の３つです。手差しトレイはサイズチェックを行いません。 ・用紙サイズチェックを行う場合は、あらかじめオペレータパネルのメディアメニューで各トレイの用紙サイズを正しく設定してください。設定が一致していない状態で印刷を行った場合、オペレータパネルに〔…サイズガ　チガイマス〕(*1) と表示されます。 ・用紙がユーザ定義（カスタム）サイズの場合は、メディアメニューの用紙サイズをカスタムと設定してください。 ・用紙幅センサは、用紙幅が 200mm よりも広いか狭いかをチェックします。印刷指定の用紙幅とセンサ部で検知した用紙幅の条件（200mm に対する大小比較）が不一致の場合はエラーとみなし、停止します。この場合はオペレータパネルに〔ヨウシサイズ　エラー〕と表示されます。 ・ユーザ定義（カスタム）サイズの場合は、用紙幅センサによるチェックを行いません。
ドライバ設定	ドライバで設定した内容を保存するために使用します。

*1 :〔…サイズガチガイマス〕と表示された場合、オペレータパネルの〔オンライン〕スイッチを押すことで強制的に給紙することができます。（念のためトレイ内の用紙サイズを確認することをお勧めします。）

ガイド

図形の中塗りパターンの調整機能は、解像度が 600 × 1200dpi のときには無効となります。

〔ウォーターマーク〕タブ

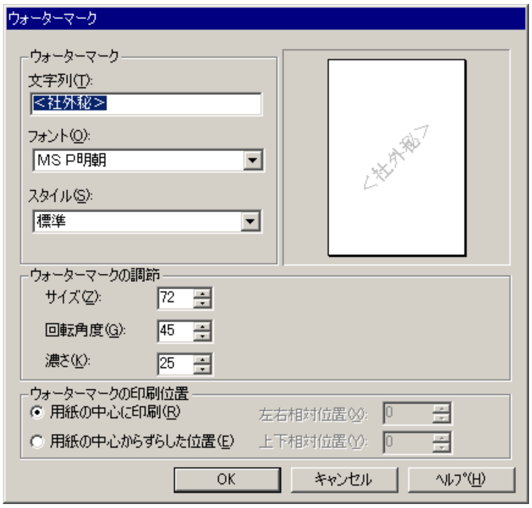
印刷結果にイメージ（ウォーターマーク）を重ね合わせる場合に設定します。〔新規〕を選択すると、〔ウォーターマーク〕ダイアログが表示されます。



項　目	内　容
新規	文字列、フォント、スタイルなどを入力し、新規にウォーターマークを作成します。最大で 16 のウォーターマークを登録することができます。
削除	登録したウォーターマークを削除します。
編集	登録したウォーターマークを編集します。
最初のページのみ付加	チェックすると印刷する先頭ページのみウォーターマークを付加します。

〔ウォーターマーク〕ダイアログボックス

〔ウォーターマーク〕タブで〔新規〕をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



項　目	内　容
ウォーターマーク	重ね合わせる文字列やそのフォント、スタイルを設定します。 「文字列」 重ね合わせる文字列を指定します。 ここで指定した文字列が登録名となります。最高で半角 63 文字（全角 31 文字）まで指定できます。 「フォント」 文字列のフォントを指定します。 「スタイル」 文字列のスタイルを指定します。
ウォーターマークの調節	文字列のサイズや傾き、色の濃さを設定します。 「サイズ」 文字列の文字サイズを 1 ～ 600 の範囲で指定します。 「回転角度」 文字列の傾きを 0° ～ 359° の範囲で指定します。0° で水平になります。 「濃さ」 ウォーターマークの濃さを 0 ～ 100 の範囲で指定します。0 で白（印刷しない）、100 で黒になります。
ウォーターマークの印刷位置	ウォーターマークの印刷位置を指定します。

お願い

全角フォント使用の際、印刷した文字がすべて□になってしまう場合は、別のフォントを指定してください。

印刷を中止する

印刷を中止するには、まずホスト側で印刷の指示を取り消します。印刷を取り消すことができなかった場合は、プリンタ側で印刷を取り消します。
次の手順に従って、ホスト側で印刷の指示を取り消してください。

Windowsから取り消す

印刷指示を Windows から取り消す方法について説明します。

1. **〔プリンタ〕フォルダ、または〔プリンタと FAX〕フォルダを開く**

Windows98/Me/NT 4.0/2000 の場合：
〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックします。
Windows Vista/Windows Server 2008 の場合：
〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックします。

2. **該当するプリンタアイコンをダブルクリックする**

3. **表示されたウィンドウから、任意のドキュメント名をクリックし、〔Delete〕キーを押す**



Printia LASER Internet Serviceを使って取り消す

Printia LASER Internet Service を使用して、プリンタに指示した印刷データを取り消すことができます。
詳しくは、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 6 章　Printia LASER Internet Service」を参照してください。

FUJITSU LPRユーティリティを使って取り消す

LPR ユーティリティを使用して、プリンタに指示した印刷データを取り消すことができます。
詳しくは、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照してください。

参照　プリンタ側で印刷を中止するには、「プリンタ側で印刷を中止する」(176 ページ)を参照

印刷指示したジョブの状態を確認する

印刷を指示したジョブの処理状況は、パソコンで確認できます。

Windows で確認する

印刷指示したジョブを Windows で確認する方法について説明します。

1 〔プリンタ〕フォルダ、または〔プリンタと FAX〕フォルダを開く

Windows98/Me/NT 4.0/2000 の場合：

〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕の順にクリックします。

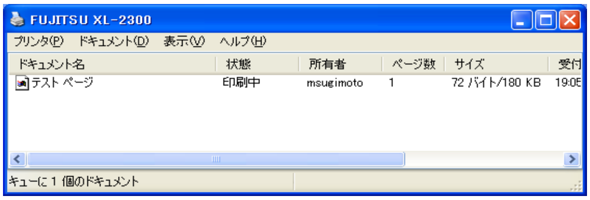
Windows XP/Windows Server 2003 の場合：

〔スタート〕－〔プリンタと FAX〕の順にクリックします。

Windows Vista/Windows Server 2008 の場合：

〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔ハードウェアとサウンド〕の〔プリンタ〕の順にクリックします。

2 該当するプリンタアイコンをダブルクリック（または右クリックしてメニューを表示し、〔開く〕を選択）して状態を確認する



Printia LASER Internet Service を使って確認する

Printia LASER Internet Service を使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

詳しくは、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 6 章　Printia LASER Internet Service」を参照

FUJITSU LPR ユーティリティを使って確認する

LPR ユーティリティを使用して、プリンタに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

詳しくは、『XL-2300G ネットワークガイド』「第 3 章　ネットワークソフトウェアの使用」を参照してください。

特殊な用紙に印刷する

特殊な用紙に印刷する方法を説明します。以下の用紙に印刷できます。
・はがき / 往復はがき
・厚紙 (87 ～ 105g/ ㎡)
・OHP フィルム
・ラベル紙
・ユーザ定義の用紙種類
特殊な用紙に印刷する場合は、手差しトレイまたは給紙トレイを使用します。
ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

印刷面を上に向けて排出する（フェイスアップ）

印刷面を上にして印刷するために、スタッカプレート（フェイスアップ）を引き出します。

参照　「用紙の排出面を切り替える」（139 ページ）を参照

ガイド
・プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。
・手差しトレイの使い方については、「手差しトレイに用紙をセットする」（132 ページ）を参照してください。

1. 手差しトレイまたは給紙トレイに特殊な用紙をセットする
2. ワードパッドの〔ファイル〕メニューから〔印刷〕をクリックする
3. 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする
4. 〔用紙〕タブをクリックする
5. 〔給紙方法〕から〔手差し〕または〔MPF（給紙トレイ)〕を指定する
6. 〔用紙厚〕から用紙の種類を選択する

7 〔用紙サイズ〕から使用する用紙を選択する



8 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

はがきに印刷する

はがきをセットする

手差しトレイまたは給紙トレイに郵便はがきをセットします。

印刷面を上に向けて排出する（フェイスアップ）

はがきを曲げずに印刷するためにスタッカプレート（フェイスアップ）を引き出します。

参照
「用紙の排出面を切り替える」（139 ページ）を参照
「手差しトレイに用紙をセットする」（132 ページ）を参照
「給紙トレイ（オプション品）に用紙をセットする」（136 ページ）を参照

項目を設定し、印刷を行う

印刷の設定は、〔用紙〕タブを表示して行います。ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS でも、手順は同じです。

ガイド

プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1 〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする

2 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする

3 〔用紙〕タブを開く



4 〔給紙方法〕で〔手差し〕または〔MPF（給紙トレイ）〕を指定する

ガイド

〔MPF（給紙トレイ）〕指定時は、あらかじめ〔給紙オプション〕をクリックし、〔MPF（給紙トレイ）〕用のチェックボックスを有効としてください。

5 〔用紙サイズ〕で〔ハガキ〕を指定する

ガイド

〔用紙サイズ〕を〔ハガキ〕または〔往復ハガキ〕とすると、〔用紙厚〕が自動的に〔より厚い紙〕になります。

6 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する

OHP フィルムに印刷する

OHP フィルムをセットする

OHP フィルムに印刷するときは、手差しトレイまたは給紙トレイにセットします。

参照 「手差しトレイに用紙をセットする」（132 ページ）を参照
「給紙トレイ（オプション品）に用紙をセットする」（136 ページ）を参照

印刷面を上に向けて排出する（フェイスアップ）

OHP フィルムを曲げずに印刷するためにスタッカプレート（フェイスアップ）を引き出します。

参照 「用紙の排出面を切り替える」（139 ページ）を参照

お願い

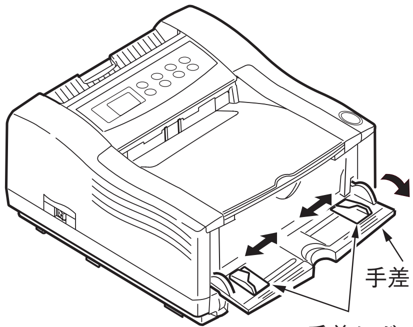
排出された OHP フィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されるたびに、取り除いてください。

次の手順に従って、手差しトレイへ OHP フィルムをセットしてください。

1. **手差しトレイを開く**

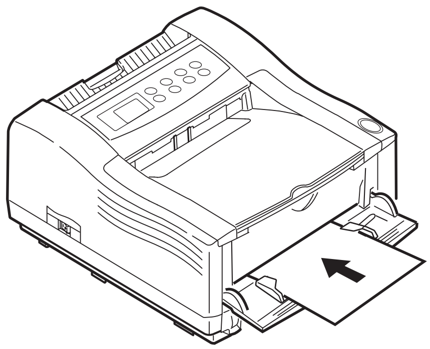
2. **用紙ガイドを調節する**

   使用する OHP フィルムのサイズに合わせて、用紙ガイドの位置を調節します。



3. **印刷面を上にして OHP フィルムを差し込む**

   OHP フィルムの先端が突き当たるまで、用紙ガイドに沿って OHP フィルムを差し込みます。
   OHP フィルムは、自動的に約 2cm 吸入されて、固定されます。



ガイド

セットした OHP フィルムは、「キャンセル」スイッチを押すと排出されます。

9

運用編

お願い

紙づまりの原因となりますので、一度排出された OHP フィルムは再使用しないでください。

項目を設定し、印刷を行う

ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS でも、手順は同じです。

1. アプリケーションの〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする
2. 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする
3. 〔用紙〕タブを開く
4. 〔給紙方法〕で〔手差し〕または〔MPF（給紙トレイ）〕を指定する

ガイド

「MPF（給紙トレイ）」指定時は、あらかじめ〔給紙オプション〕をクリックし、〔MPF（給紙トレイ）〕用のチェックボックスを有効としてください。

5. 〔用紙サイズ〕で〔A4〕または〔レター〕を指定する
6. 〔用紙厚〕で〔OHP フィルム〕を指定する
7. 〔OK〕をクリックし、印刷を実行する



不定形（ユーザ定義）用紙に印刷する

不定形サイズの用紙に印刷する方法について説明します。不定形用紙に印刷するには、まずプリンタドライバに不定形サイズの設定 / 登録をします。
〔用紙〕タブで不定形サイズをユーザ定義サイズとして設定 / 登録すると、用紙サイズ、不定形サイズの選択ができるようになります。
用紙サイズの単位設定がミリの場合は、幅 90 ～ 215.9mm、長さ 148 ～ 297mm の範囲で 0.1mm 刻みに、インチの場合は、幅 3.54 ～ 8.5 インチ、長さ 5.38 ～ 11.69 インチの範囲で 0.01 インチ刻みにサイズを指定できます。

標準のユーザ定義サイズを設定する

ユーザ定義サイズを設定する場合は、〔ユーザ定義サイズ〕ダイアログボックス内で行います。

1. **〔スタート〕－〔設定〕－〔プリンタ〕を選択する（Windows XP では〔スタート〕－〔コントロールパネル〕－〔プリンタとその他のハードウェア〕－〔プリンタと FAX〕をクリックする）**

2. **プロパティを開く**

   Windows 98/Me の場合
   　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔プロパティ〕を選択します。
   Windows NT 4.0 の場合
   　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔ドキュメントの既定値〕を選択します。
   Windows 2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 の場合
   　プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、〔印刷設定〕を選択します。

3. **〔用紙サイズ〕で〔ユーザ定義サイズ〕を選択する**

4. **〔単位〕、〔幅〕、〔長さ〕を入力し、〔OK〕をクリックする**

不定形用紙を追加登録する

ユーザ定義サイズの用紙を追加登録する場合は、〔ユーザ定義の用紙〕ダイアログボックス内で行います。

1 〔スタート〕メニューの〔設定〕から、〔プリンタ〕をクリックし、XL-2300 のプロパティを表示させる

2 〔用紙〕タブをクリックする

3 〔用紙追加〕ボタンをクリックする

〔ユーザ定義の用紙〕ダイアログボックスが表示されます。



4 新規に用紙サイズを追加登録する



5 幅と長さを指定する

幅は 90.0mm ～ 215.9mm 長さは 148.0mm ～ 297.0mm の範囲で任意に設定できます。

6 用紙名を〔名称〕に入力する

用紙名の最大文字数は半角で 12 文字、全半角 6 文字まで入力できます。

7 〔追加〕ボタンをクリックする

8 必要に応じて手順 4 ～ 7 を繰り返して、用紙サイズを定義し、〔OK〕をクリックする

9 〔用紙〕タブで、〔OK〕をクリックする

ここで追加設定された用紙は、用紙サイズリストの最後尾に追加されます。

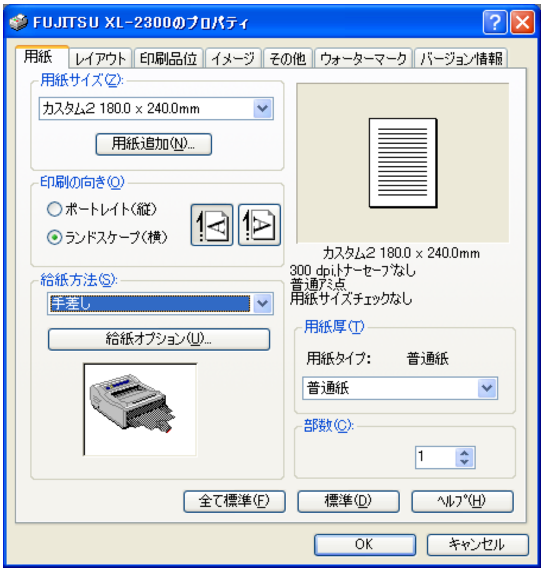
項目を設定し、印刷を行う

不定形サイズの用紙に印刷する方法を説明します。
ここでは、Windows Me のワードパッドを例に説明します。その他の OS での手順も同様です。

ガイド

プリンタのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションの説明書を参照してください。

1. 不定形サイズの用紙をトレイにセットする
2. アプリケーションの〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックする
3. 〔プリンタ名〕を確認し、〔プロパティ〕をクリックする
4. 〔用紙〕タブの〔用紙サイズ〕で使用する不定形サイズの用紙を選択する
5. 必要な項目を選択し、〔OK〕をクリックする



DOS から印刷する

DOS 環境で印刷するときは、テキストモードを使用します。プリンタドライバのセットアップは必要ありません。アプリケーション上で、プリンタ名を選択します。

ガイド

デフォルトの WIN モードでは、DOS 環境（ESC/P データ）の印刷が行えません。WIN モードのままで印刷を行った場合、液晶ディスプレイに〔ムコウ　デス〕と表示され、印刷が無効となります。

プリンタの設定を行う

1. 〔システムコウセイメニュー〕と表示されるまで、〔メニュー〕スイッチを数回押す

   システムコウセイメニュー

2. 〔エミュレーション〕と表示されるまで、〔設定項目▲〕または〔設定項目▼〕スイッチを数回押す

   エミュレーション

3. 〔TEXT〕と表示されるまで、〔設定値▲〕または〔設定値▼〕スイッチを数回押す

   TEXT

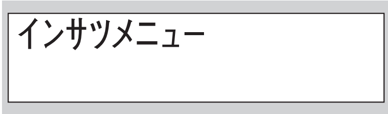
お願い

手差し以外から印刷する場合は、〔テサシ　インサツ　ミシテイ〕にメニュー確定マーク〔＊〕が表示されている必要があります。〔テサシ　インサツ　シテイ〕にメニュー確定マーク〔＊〕が表示されているときには〔＋〕または〔－〕スイッチを押し、〔テサシ　インサツ　ミシテイ〕を表示して、〔メニュー選択〕スイッチを押してください。

4. 〔メニュー選択〕スイッチを押し、値の右側に〔*〕を付ける

   これで、テキストモードが設定されます。

5 〔インサツメニュー〕と表示されるまで、〔メニュー〕スイッチを数回押す



6 〔キュウシトレイ〕と表示されるまで、〔設定項目▲〕または〔設定項目▼〕スイッチを数回押す



7 〔設定値▲〕または〔設定値▼〕スイッチを押して、トレイを選択する

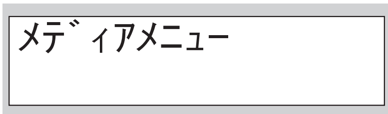
お願い

オプションの拡張給紙ユニット、給紙トレイを装着した場合に、選択できます。

8 〔メニュー選択〕スイッチを押し、値の右側に〔*〕を付ける

これで給紙トレイが設定されます。

9 〔メディアメニュー〕と表示されるまで、〔メニュー〕スイッチを数回押す



10 〔キュウシトレイ〕で選択したトレイサイズが表示されるまで、〔設定項目▲〕または〔設定項目▼〕スイッチを数回押す

11 〔設定値▲〕または〔設定値▼〕スイッチを押して、用紙サイズを選択する

12 〔メニュー選択〕スイッチを押し、値の右側に〔*〕を付ける

これで用紙サイズが設定されます。

13 〔オンライン〕スイッチを押す

〔オンライン〕表示に戻します。
これで、給紙トレイが設定されます。

ガイド
プリンタ内に未印刷データがあるときは、リセットを行うまで設定内容の変更は反映されません。

アプリケーションで設定を行う

1 プリンタ名を選択する

優先順位	プリンタ名
1	ESC/P24-J84
2	VP-1000/3000

2 プリンタと同じように、用紙サイズ、印刷方向を設定する

3 アプリケーションから印刷する

ガイド
テキストモードでの解像度は 300dpi と 600dpi です。

第 10 章
こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

メッセージが表示されるとき

異常が発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。ここで説明する処置をしても良くならない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（287 ページ）へご連絡ください。

xxxx= プリント言語	WIN	：WIN モード
	TEXT	：テキストモード
tttt= トレイ	トレイ 1	：標準カセット
	トレイ 2	：拡張給紙カセット
	MPF	：給紙トレイ
	テザシ	：手差し
mmmm= 用紙サイズ	A4/A5/A6/B5/ レター / ハガキ / オウフク / カスタム（ユーザ定義）	
yyyy= 動作状態	オンライン	：オンライン状態
	オフライン	：オフライン状態
pppp= 用紙タイプ	フツウシ /OHP/ アツガミ	

動作状態に関するメッセージ

オペレータパネル (日本語) (□は上段表示なしを示します)	内　容
ｵﾝﾗｲﾝ XXXX	オンライン状態を示します。
ｵﾌﾗｲﾝ XXXX	オフライン状態を示します。
■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■	電源投入時の表示です。
RAM ﾁｪｯｸ ********	RAM チェック中です。* は総容量の 1/8 ずつチェック後に表示します。
ｲﾆｼｬﾙﾁｭｳ	コントローラ（プリンタ内部の制御部）の初期化中、またはオペレータパネルの設定値（ユーザメニュー関連）の初期化中です。
ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ XXXX	データ受信中で処理が開始されていない状態です。主に文字印刷データのないジョブ処理やジョブスプール中に表示されます。
ｼｮﾘﾁｭｳ XXXX	データ受信中または出力処理中を示します。
ﾃﾞｰﾀｱﾘ XXXX	バッファに未印字データが残っていることを示します。引き続きデータを待っている状態です。
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	プリンタが印刷中です。

オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ □ kkk/lll	コピー印刷中です。kkk は印刷中の枚数、lll は総印刷枚数を示します。コピー枚数が 1 枚の場合は通常の印刷中表示になります。1 行目の他のメッセージと組み合わせて表示されます。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ	ジョブのキャンセルが指示され、ジョブの終了までデータを受け捨てている状態です。
ﾃﾞｰﾀ ｸﾘｱ （ｼﾞｬﾑ）	ジャムリカバー OFF のときにジャムが発生した場合、ジョブのキャンセルが指示され、ジョブの終了までデータを受け捨てている状態を示します。オペレータパネル上段のみメッセージ点滅します。
□ ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ	ウォーミングアップ中です。1 行目の他のメッセージと組み合わせて表示されます。
□ ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	プリンタが省電力状態になったことを知らせます。1 行目の他のメッセージと組み合わせて表示されます。
ﾑｺｳ ﾃﾞｰﾀ	無効なデータを受信したことを示します。〔オンライン〕スイッチを押すまで表示されます。未サポートのプリンタコマンドを受信した場合に表示されます。
ﾃｷｽﾄﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	フォント印刷中です。
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	オペレータパネルの設定内容を印刷中です。
ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	クリーニングページ印刷中です。
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼｮｷｶﾁｭｳ	ネットワーク制御部の初期化（リブート）中です。オペレータパネル上段のみメッセージ点滅します。
ｻｲｷﾄﾞｳ n	プリンタを再起動するときに表示します。 下段には再起動の理由が、コードで表示されます。 n 理由コード
	0：下記以外の原因 1：ドライバコマンドの指定 2：オペパネ操作 3：LAN カードの設定変更 4：Printia LASER Internet Service での設定 / 変更

用紙に関するメッセージおよびエラー

オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
380 ｿｳｺｳｼﾞｬﾑ	用紙走行路の主に後半部分でジャムが発生したことを知らせます。カバーオープンし内部の紙を取り除き、トップカバーを閉じるとリカバリ印刷し、続行します。
381 ｿｳｺｳｼﾞｬﾑ	用紙走行路の主に前半部分でジャムが発生したことを知らせます。カバーオープンし内部の紙を取り除き、トップカバーを閉じるとリカバリ印刷し、続行します。
382 ﾊｲｼｼﾞｬﾑ	用紙排出時、ジャムが発生したことを知らせます。カバーオープンし内部の紙を取り除き、トップカバーを閉じるとリカバリ印刷し、続行します。
391 ｷｭｳｼﾐｽ	標準給紙カセットからの給紙中にジャムが発生しました。給紙カセットを引き出し、つまった紙を取り除いてください。さらに、カバーオープンし紙づまりがある場合は取り除いてください。トップカバーを閉じるとリカバリし、印刷を続行します。
392 ｷｭｳｼﾐｽ	拡張給紙ユニットからの給紙中にジャムが発生しました。給紙カセットを引き出し、つまった紙を取り除いてください。さらに、カバーオープンし紙づまりがある場合は取り除いてください。トップカバーを閉じるとリカバリし、印刷を続行します。
399 ｷｭｳｼﾐｽ	給紙トレイからの給紙中にジャムが発生しました。給紙トレイのつまった紙を取り除いてください。さらに、カバーオープンし紙づまりがある場合は取り除いてください。トップカバーを閉じるとリカバリし、印刷を続行します。
yyyy tttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイで用紙がなくなったことを示します。用紙のないトレイに印刷指定があるまでこのメッセージが表示され続けます。ただし、MPF については表示しません。 ※表示はスクロールされます。
mmmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	tttt トレイの用紙がなくなったことを示します。mmmm 用紙を補充してください。 ※表示はスクロールされます。
ﾃｻﾞｼ mmmm ﾖｳｼｾｯﾄ	手差し印刷時に用紙がなくなったことを示します。mmmm 用紙をセットしてください。 ※表示はスクロールされます。
400 ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	トレイから不適格なサイズの用紙が供給されたことを知らせます。トレイ内の用紙をチェックまたは重送があったかを確認してください。トップカバーオープン / クローズでリカバリ印刷し、続行します。

オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
mmmm/pppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	オペレータパネルのメディアメニュー上で指定された用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっています。 メディアメニューで対象トレイの用紙サイズをプリンタドライバで設定した用紙サイズと同じに変更してください。（対象トレイ：トレイ 1/ トレイ 2 のみ有効） ※表示はスクロールされます。
mmmm/pppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ tttt ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	オペレータパネルのメディアメニュー上で指定された用紙タイプとプリンタドライバで設定した用紙タイプが異なっています。 メディアメニューで対象トレイの用紙タイプをプリンタドライバで設定した用紙タイプと同じに変更してください。（対象トレイ：トレイ 1/ トレイ 2 のみ有効） ※表示はスクロールされます。

カバーオープンに関するメッセージ

オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄｯﾌﾟ ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	カバーが開いていることを示します。 ※表示はスクロールされます。
yyyy ﾄﾚｲ 2 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	トレイ 2 カバーオープンを示します。トレイに印刷指定があるまではこのメッセージが表示され続けます。 ※表示はスクロールされます。（トレイ 2 関連）
ｶﾊﾞｰｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾚｲ 2 ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	トレイ 2 カバーオープン中にトレイ 2 から印刷が指定されたことを示します。カバーを閉じると印刷は続行されます。 ※表示はスクロールされます。

ハードウェアに関するエラー

オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
ｴﾗｰ nnn	プリンタに異常が発生しています。いったん電源を切り、再度入れてください。それでも復旧しない場合は、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（287 ページ）へご連絡ください。 nn が下記の場合は、次の処置も行ってください。 180： 給紙トレイを取り付け直していったん電源を切り、再度入れてください。 182： 拡張給紙ユニットを取り付け直していったん電源を切り、再度入れてください。 00X（X は 1 ～ 9 または A ～ F）：イーサネット接続をしている場合はプリンタの電源を OFF にし、接続しているイーサネットケーブルを外してプリンタをネットワークから切り離してください。その状態でプリンタの電源を ON にし、オペレータパネルから設定内容一覧の印刷を行ってください。設定内容一覧の印刷が正常にできる場合は、ネットワークシステムがコンピュータウィルスの被害を受けている可能性があります。コンピュータウィルスを駆除してください。プリンタ自体にコンピュータウィルスが感染することはありません。
□ ﾄﾅｰ ｾﾝｻｰ	トナーセンサに異常が検出されたことを知らせます。プロセスカートリッジをセットし直して電源を切り、再度入れてください。通常は運用可能です。それでも復旧しない場合は、ご購入または「ハードウェア修理相談センター」（287 ページ）へ修理を依頼してください。
ﾎｽﾄ I/F NETWORK	ネットワークエラーが発生しています。電源を OFF/ON してください。

寿命に関するメッセージ

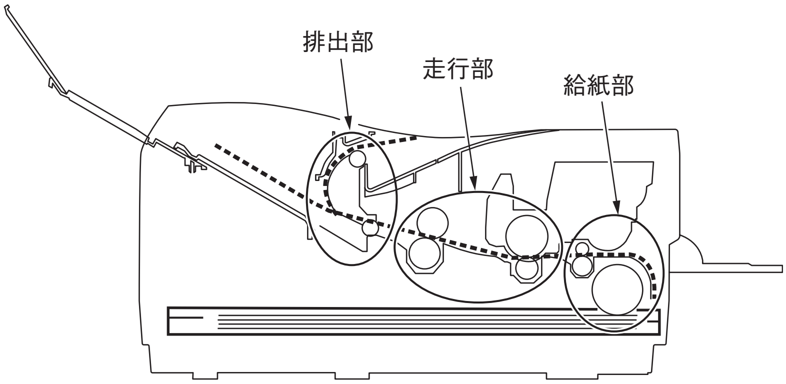
オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
□ ﾄﾅｰﾛｰ	トナー量が少ないことを知らせます。1 行目の他のメッセージと組み合わせて表示されます。早急にトナーカートリッジを交換してください。〔ドラムコウカン〕表示中は表示されません。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ LED ｾｲｿｳ	〔トナーロー〕のまま印刷を継続すると表示されます。ただちにトナーカートリッジを交換してください。カバーを開閉するか、または〔オンライン〕スイッチを押すと一時的に復旧します。 この表示は、トナーローを検知した後 100 枚程度印刷すると表示され、カートリッジの交換をうながします。 プロセスカートリッジが寿命の場合は、〔ドラムコウカン〕表示となり、プロセスカートリッジの交換をうながします。 トナーカートリッジ交換時には、添付の LED レンズクリーナで LED ヘッドの清掃を同時に行ってください（149 ページ）。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。
□ ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ LED ｾｲｿｳ	トナー量が空に近いことを知らせます。トナーローが発生してから 100 枚程度印刷すると表示されます。ただちにトナーカートリッジを交換してください。1 行目の他のメッセージと組み合わせて表示されます。〔ドラムコウカン〕表示中は表示されません。 トナーカートリッジ交換時には、添付の LED レンズクリーナで LED ヘッドの清掃を同時に行ってください（149 ページ）。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。
□ ﾄﾞﾗﾑｼﾞｭﾝﾋﾞ	プロセスカートリッジの寿命（ワーニング）を知らせます。1 行目の他のメッセージと組み合わせて表示されます。
ﾄﾞﾗﾑｺｳｶﾝ LED ｾｲｿｳ	プロセスカートリッジの寿命を知らせます。カバー開閉、または〔オンライン〕スイッチを押すと一時的に復旧しますが、プロセスカートリッジを交換してください。 プロセスカートリッジ交換時には、トナーカートリッジに添付のLED レンズクリーナでLED ヘッドの清掃を同時に行ってください（149 ページ）。LED ヘッド面が汚れていると、印刷時にカスレや白いスジが入ったり、文字がにじんだりします。
□ ｿｳﾁﾗｲﾌ	18 万枚印刷し、装置寿命となったことを知らせます。

その他のエラー

オペレータパネル（日本語） （□は上段表示なしを示します）	内　容
ﾄﾞﾗﾑｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾄﾞﾗﾑ ｴﾗｰ	プロセスカートリッジが正しくセットされていないことを示します。セットし直してください。
ﾒﾓﾘｰ ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ	印刷データが複雑すぎます。データを整理してください。〔オンライン〕スイッチを押すと現在の設定で処理できた部分を印刷します。テキストモード（ESC/P）の文字定義（ダウンロード）、外字定義に使用するメモリが不足しています。テキストモード（ESC/P）の文字定義・外字定義の数を減らしてください。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると液晶ディスプレイに『サイズ゛　エラー』、『ハイシ　ジ゛ャム』、『ソウコウ　ジ゛ャム』もしくは『キュウシ　ミス』と表示されます。次の手順に従って、つまった用紙を取り除いてください。



お願い

- つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- 用紙は破れないようにゆっくりと、確実に取り除いてください。装置内に紙片が残ったままになっていると、故障の原因となります。

⚠ 注意

やけど	プリンタを使用した直後は、定着器および排紙ガイドが熱くなっています。つまった用紙を取り除くときは、手を触れないよう充分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

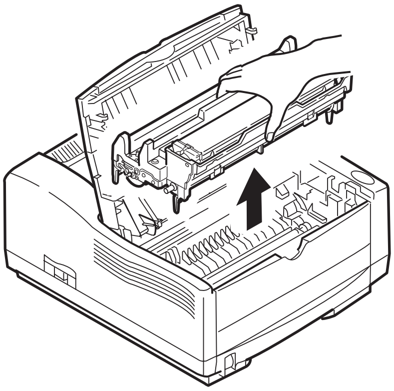
1 トップカバーを開ける

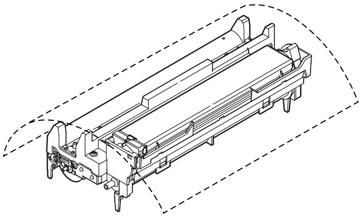
トップカバー手前右側のボタンを押し、ロックを外します。そのまま静かにトップカバーをいっぱいに開きます。

2 プロセスカートリッジをゆっくりと取り出す

お願い

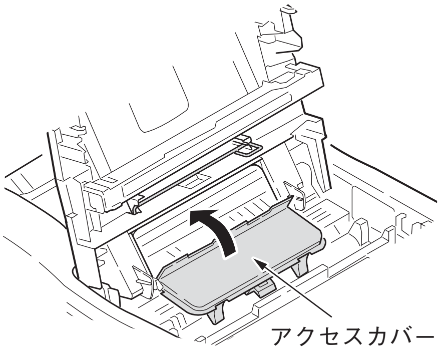
- プロセスカートリッジを取り出すときは、傾けず水平に取り出してください。
- 取り外したプロセスカートリッジは図のように平らな場所に置き、添付の遮光袋（黒）に入れるか、黒い紙などをかぶせて光が当たらないようにしてください。
- つまった用紙が装置の外に見えている場合でも、必ずトップカバーを開けプロセスカートリッジを取り出してから用紙を取り除いてください。





3 つまった用紙を取り除く

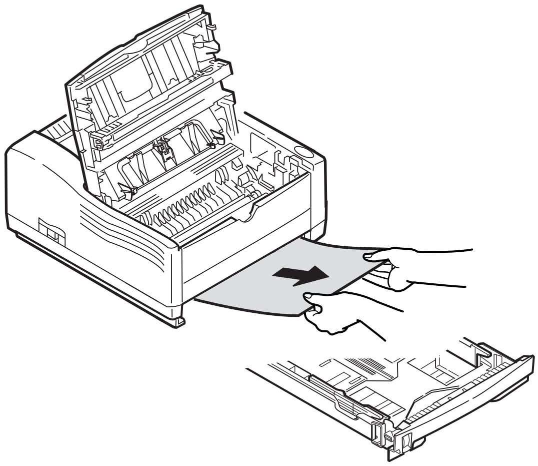
つまっている用紙の状態によって、それぞれの方法で用紙を取り除きます。
なお、トップカバーやアクセスカバーを開いてつまった用紙を取り除いた後は、必ずカバーを閉じてください。



⚠ 警告	誤　飲	用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。トナーがついてしまったときは、すぐに水で洗ってください。 万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

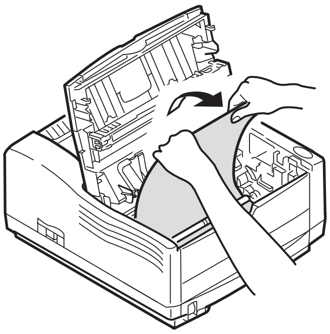
【用紙カセット部（キュウシミス）でつまった場合】

用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

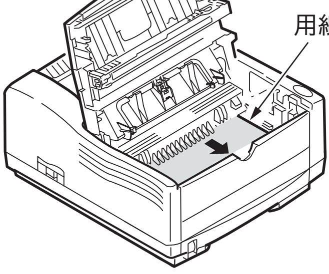


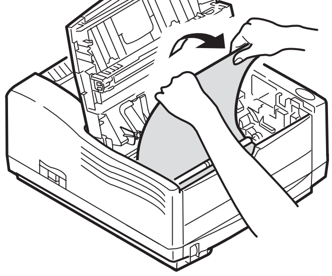
【装置内部（ソウコウジャム，サイズエラー）でつまった場合】

用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙の先端をつかみ、ゆっくりと引き出します。

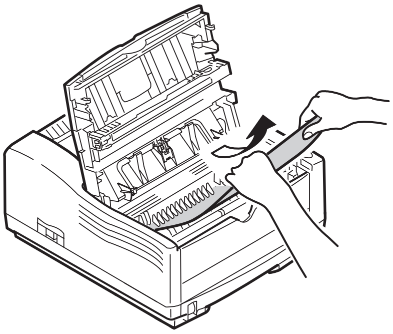


用紙の先端も後端も見えない場合は、つまっている用紙を矢印の方向にずらしてから用紙の先端部をつかみ、ゆっくりと引き出します。



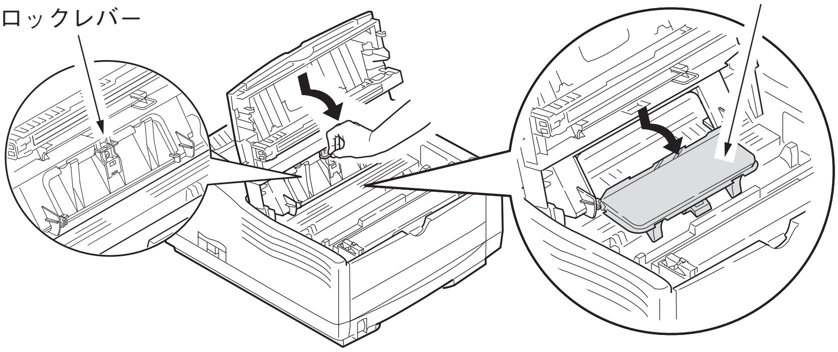


用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙の後端部をつかみ、ゆっくりと引き出します。

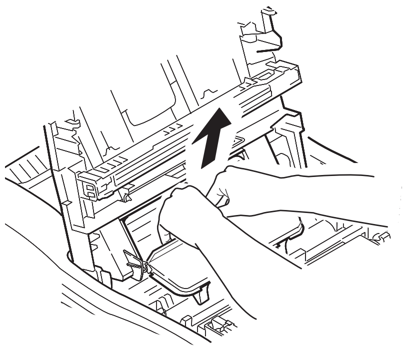


用紙の先端が定着器の排紙部より一部出ており、トップカバーを開けてプロセスカートリッジを取り外しても用紙の後端が見えない場合は、次の手順に従って、用紙を取り出してください。

1 ロックレバーを下に押し、アクセスカバーを手前に引き倒す



2 定着器の排出部にある用紙を指でつまみ出す

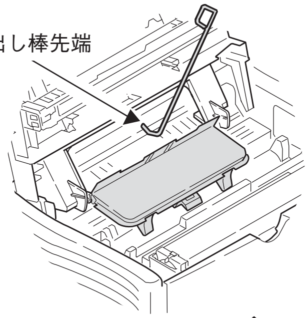


⚠ 注意

やけど	プリンタを使用した直後は、定着器および排紙ガイドが熱くなっています。つまった用紙を取り除くときは、手を触れないよう充分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

ガイド

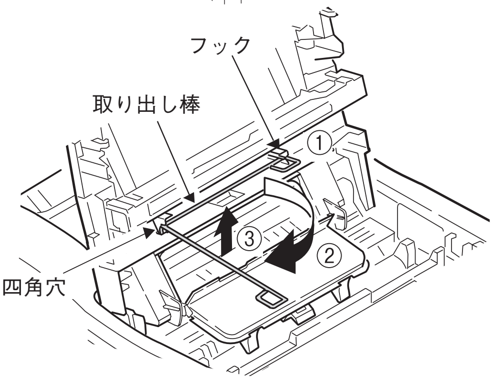
アクセスカバーを開けても用紙を指でつまみ出せない場合は、トップカバー裏にある取り出し棒を使って取り出します。



取り出し棒をトップカバーから取り外すには、①フックから取り出し棒の取っ手を外し、②そのまま手前側に引き出し、③棒の先端を上へ持ち上げ、四角穴より取り出します。

お願い

取り出し棒は、使用後、紛失しないように元の場所に取り付けてください。

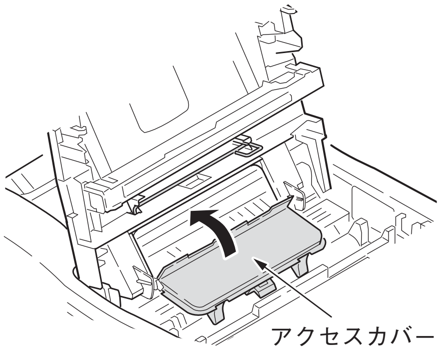


排出部につまった用紙の右端または左端に、取り出し棒の先端を引っかけてゆっくりと引き出します。

お願い

このとき定着器の表面や内部を傷付けないように注意してください。

3 アクセスカバーおよびトップカバーを閉じる

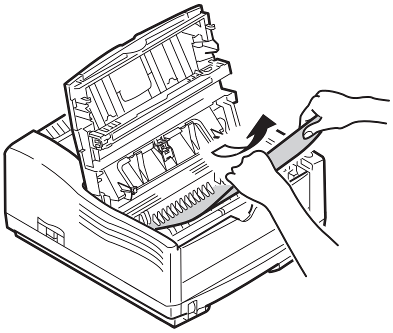


【用紙排出部（ハイシジャム）でつまった場合】

トップカバーを開け、用紙後端が装置内部に見えている場合は、つまっている用紙の後端を両手でつかみ、ゆっくり引き出します。

お願い

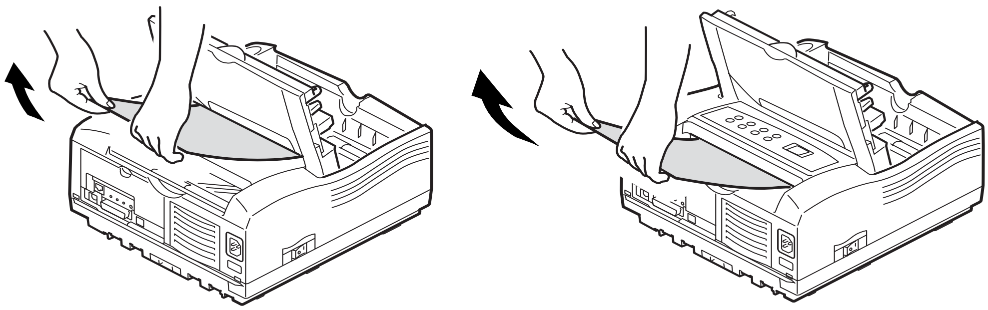
用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理にうしろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。



用紙の後端が見えず、用紙先端が排出部より充分に出ている場合は、用紙の先端を両手でつかんでゆっくりと引き出します。

お願い

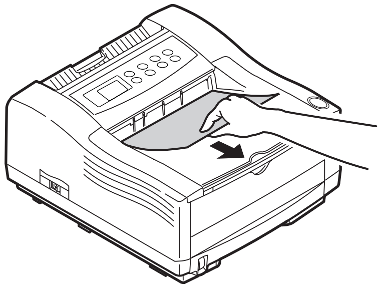
用紙先端を排出部より引き出す場合は、トップカバーを必ず開けてから行ってください。
閉じたまま強引に引き出そうとすると用紙が破れ、紙の一部が定着器に残留するおそれがあります。



用紙が取り出せない場合は、無理に引き出さず、次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

1. プロセスカートリッジを装置から取り外した状態でトップカバーを閉じます。

2 モータが回転を始めたら、用紙先端をつかんで引き出します。



お願い

拡張給紙ユニット（オプション）、給紙トレイ（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないかチェックしてください。また、トップカバーをいったん開閉しないとアラーム表示を解除できません。

3 プロセスカートリッジを両手で持ってプリンタ内に戻す

4 トップカバーを閉じ、両側のフックがロックされていることを確認する

お願い

プロセスカートリッジをセットするときは、傾けず水平に入れてください。

ガイド

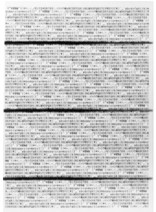
つまった用紙を取り除いてトップカバーを閉じてもメッセージ表示が消えないときは、用紙が完全に取り除かれていません。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。

印刷品質が低下したとき

印刷が不鮮明な原因は、プリンタのハード的問題と考えられますが、ソフトウェアが原因の場合もあります。プリンタの状態を把握するため、メニュー印刷をして印刷の状態を確かめてください。また、次の項目を確認し、処置をしても直らない場合は、富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口へご連絡ください。

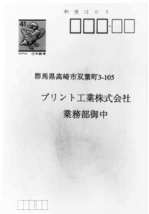
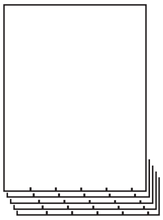
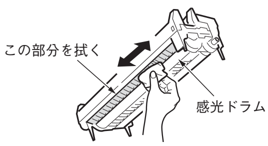
現　象	原　因	処　置	参照ページ
 給紙方向に縦の白いスジが入る。 給紙方向に縦にかすれる。	LED ヘッドが汚れていまます。	LED レンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	149
	トナーが少なくなっています。(*1)	トナーカートリッジを交換してください。	145
	異物がつまっています。	プロセスカートリッジを交換してください。	150
	用紙が湿気を含み波打ち状態になっています。	新しい用紙をお使いください。	—
 部分的にかすれる。 黒ベタを印刷すると、白点が現れる。	LED ヘッドが汚れています。	LED レンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	149
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	115
	トナーが少なくなっています。(*1)	トナーカートリッジを交換してください。	145
	プリンタに適さない用紙で印刷されました。	推奨用紙をお使いください。	115
	低湿環境で用紙が乾燥しています。	メンテナンスメニューの〔セッティング〕を〔−1〕あるいは〔− 2〕にしてください。	179
 黒ベタを印刷すると、部分的に薄くなる。	黒ベタ印刷にトナーを充分供給できない場合があります。	黒ベタ部分のデータの割合を減らして印刷してください。	—

現　象	原　因	処　置	参照ページ
 印刷が非常に薄い。	トナーカートリッジがきちんとセットされていません。	トナーカートリッジをきちんとセットしてください。	145
	プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	プロセスカートリッジをきちんとセットしてください。	150
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	115
	プリンタに適さない用紙で印刷されました。	推奨用紙をお使いください。	115
	トナーが少なくなっています。(*1)	トナーカートリッジを交換してください。	145
	〔プリンタの印刷濃度〕の設定が不適切です。	プリンタドライバの〔プリンタの印刷濃度〕で〔やや濃い〕または〔濃い〕に設定してください。	202
	トナーセーブモードの設定が有効となっています。	プリンタドライバの〔トナーセーブ〕で〔しない〕に設定してください。	202
	細線や小さい文字は高解像度印刷時に薄くなることがあります。	プリンタドライバの〔解像度〕を〔300dpi〕に設定してください。	202
 給紙方向に縦の黒いスジ状の汚れが出る。	プロセスカートリッジに傷がついています。	プロセスカートリッジを交換してください。	150
	トナーが少なくなっています。(*1)	トナーカートリッジを交換してください。	145

現　　象		原　　因	処　　置	参照ページ
	周期的に横の黒いスジや点が入る。	約 94mm 周期の場合は、感光ドラムに傷または汚れがついています。	傷の場合はプロセスカートリッジを交換してください。 汚れの場合はクリーニングページを行ってください。1 回のクリーニングで直らないときは、数回クリーニングを繰り返してください。それでも直らないときは柔らかいティッシュペーパーでイメージドラム（緑の筒の部分）を軽く拭き取ってください。	150 154 167
		約 62mm 周期の場合は、定着器に傷がついています。	「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。	287
		約 30mm 周期の場合は、プロセスカートリッジ内にゴミが混入しています。	クリーニングページを行ってください。	154
		感光ドラムが光にさらされました。	プロセスカートリッジを外し、数時間暗い所に保管してください。 それでも直らない場合は、プロセスカートリッジを交換してください。	150
	白地の部分が薄く汚れる。	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。	115
		厚すぎる用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	115
		プロセスカートリッジがきちんとセットされていません。	プロセスカートリッジをきちんとセットしてください。	150
		トナーが少なくなっています。(*1)	トナーカートリッジを交換してください。	145
	文字の周辺がにじむ。	LED ヘッドが汚れています。	LED レンズクリーナ、または水を含ませてかたく絞った布で拭いてください。	149
		印刷濃度が濃く設定されています。	印刷濃度を薄く設定してください。	202
		用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。	—

10

運用編

現　　象		原　　因	処　　置	参照ページ
	はがきを印刷すると、全面が薄く汚れる。こすると文字の周囲が汚れる。	本製品は､ハガキを印刷すると全面に薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの実力ですので、ご了承ください。	—
		トナーの固着が不完全です。	手差しから間隔をおいて印刷してください。	—
			プリンタドライバの〔用紙厚〕を〔より厚い紙〕に設定してください。	196
用紙先端が部分的にかすれる。		用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙をお使いください。	—
	用紙後端部が点状に汚れる。用紙を重ねると筋状に黒くなる。	ドラムカートリッジの底面にトナーが付着しています。	ドラムカートリッジの底面（図の部分）を乾いた布やティッシュペーパーで拭いてください。 ※ 感光ドラムに傷をつけないように注意してください。 	—

*1:　本製品は、使用状況によって〔トナーロー〕の表示が遅れる場合があります。

用紙に異常がでたとき

用紙送りは、プリンタが設置してある環境、用紙の保管状態によって、大きく違ってきます。用紙は適切な温度、湿度でお使いください。
以下に用紙に関する異常が発生した場合の原因とその処置方法を示します。

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
紙づまりが頻繁に発生する。 〔ハイシジャム〕 〔ヨウシジャム〕 用紙が2枚以上いっしょに引き込まれる。	カセットに入っている用紙が多すぎます。	カセット内の指定した位置を越えないように用紙を入れてください。	129
	厚すぎる用紙、または薄すぎる用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	115
	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	新しい用紙をお使いください。	—
	折り目やシワのある用紙で印刷されました。	プリンタにあった用紙をお使いください。	115
		適切な温度、湿度に保管した用紙をお使いください。	115
	一度印刷した用紙で印刷されました。	新しい用紙をお使いください。	—
	プリンタが傾いている。	安定した水平な場所に設置してください。	37
	用紙が揃っていない。	用紙の上下左右を揃えてからセットしてください。	—
	用紙カセット、給紙トレイに用紙を１枚だけセットしている。	用紙は複数枚でセットしてください。	—
	用紙カセット、給紙トレイに用紙が入ったまま追加している。	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右を揃えてからセットしてください。	—

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
紙づまりが頻繁に発生する。 〔ハイシジャム〕 〔ヨウシジャム〕 用紙が2枚以上いっしょに引き込まれる。	用紙がまっすぐにセットされていない。	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。手差しトレイ、給紙トレイ（オプション）の手差しガイドを用紙に合わせてください。	129
	はがきのセット方向が間違っている。	正しくセットしてください。	211
	厚紙、はがき、ラベル紙、OHP フィルムを用紙カセットにセットできない。	厚紙、はがき、ラベル紙、OHP フィルムは用紙カセットから印刷できません。手差しトレイまたは給紙トレイ（オプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。	117 129
プロセスカートリッジの手前で用紙が止まる。 〔ヨウシサイズ　エラー〕	プリンタドライバの〔用紙サイズチェック〕を有効にした場合に、プリンタドライバ指定の用紙と異なる用紙が給紙され、用紙サイズ不一致のため停止した。	印刷を実行したい場合は、用紙を取り除き、対象トレイに印刷サイズと同じ用紙をセットした後、トップカバーを開閉してください。 印刷を中止したい場合は、用紙を取り除き、トップカバーの開閉直後にオペレータパネルのキャンセルボタンを押してください。	196
用紙にシワがよる。 用紙がまるまる。	薄すぎる用紙で印刷されました。	プリンタドライバの〔用紙厚〕を〔薄い紙〕に設定してください。	196
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙をお使いください。	—

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
用紙が送られない。 〔サイズガ　チガイマス〕	プリンタドライバの〔給紙方法〕の選択が間違っている。	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。	196
	プリンタドライバの〔用紙サイズチェック〕を有効にした場合に、プリンタドライバ指定の用紙サイズと〔メディアメニュー〕の対象トレイ用のサイズが不一致である。	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。 一度ジョブをキャンセルし、オペレータパネルの〔メディアメニュー〕で対象トレイのサイズを印刷サイズと同一に指定し、印刷してください。	196
	プリンタドライバの〔用紙サイズチェック〕が有効なときに、プリンタドライバ指定の用紙サイズと〔メディアメニュー〕の対象トレイの用紙サイズが異なる。	プリンタのオペレータパネルで〔メディアメニュー〕の対象トレイの用紙サイズを正しく設定してください。	196
つまった用紙を取り除いても復旧しない。	用紙を取り除くだけでは復旧しない。	トップカバーを開閉してください。	35 232

故障かなと思ったとき

故障かなと思ったときは、次の該当するところをご覧になり、確認してください。それでも直らないときは、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」(287 ページ) にご連絡ください。

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない。	電源コードが抜けている。	プリンタの電源スイッチを切り、電源コードをしっかり差し込んでください。	59
	停電している。	お使いのコンセントだけ停電していることもあります。ブレーカーが落ちていないか確認してください。	—
まったくデータを受信しない。	プリンタケーブルが抜けている。	プリンタケーブルが外れていないか確認してください。	55
	パソコンの出力ポートの選択が正しくない。	パソコンの出力ポートが正しく選択されているか確認してください。	—
	オフライン状態になっている。	〔オンライン〕スイッチを押してオンライン状態にしてください。	172
	プリンタケーブルが断線している。	プリンタケーブルが断線していないか確認してください。	—
	エラーが表示されている。	プリンタのオペレータパネルにエラーが表示されている場合は、「メッセージが表示されるとき」を参照してください。	224
	プリンタケーブルに問題がある。	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。	—

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
まったくデータを受信しない。	プリンタケーブルが規格に合っていない可能性がある。	IEEE std 1284-1994 準拠のプリンタケーブルまたは USB2.0 準拠のUSBケーブルを使用してください。	55
	プリンタの印刷機能に問題がある可能性がある。	プリンタのメニュー印刷ができるか確認してください。	157
	インターフェースが無効になっている。	プリンタのセントロメニューの〔セントロ〕または USB メニューの〔USB〕を〔ユウコウ〕にしてください。	179
	プリンタドライバが選択されていない。	プリンタドライバを選択し、〔通常使うプリンタ〕に設定してください。	—
データが欠ける。 受信途中でパソコンが送出をやめてしまう。	プリンタケーブルが断線している。	プリンタケーブルが断線していないか確認してください。	—
	パソコンのタイムアウト時間の設定が短すぎる。	リトライで送出を続行するようならパソコンのタイムアウト時間の設定を長くしてください。	—
すぐに印刷を開始しない。 印刷を開始するのに時間がかかる。	省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っている。	プリンタのメンテナンスメニューで、〔パワーセーブ〕を〔ムコウ〕にすると、ウォーミングアップ時間を短くすることができます。	179
	プロセスカートリッジのクリーニング動作を行っていることがある。	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。	—
	定着器の濃度を調整している。	しばらくお待ちください。	—
	他のインターフェースからのデータを処理している。	印刷処理が終了するまでお待ちください。	—

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
記号の羅列が印刷される。	エミュレーションの選択が違う。	Windows 環境で印刷する場合は、エミュレーションモードを Win モードとすることで無効データを読み捨てます。	―
	異なるプリンタドライバを選択し、印刷を行った。	XL-2300G 用のプリンタドライバを選択し、印刷を行ってください。	―
	I-PRIME の設定がコンピュータに合っていない。	セントロメニューの〔I-PRIME〕の項目を〔データクリア〕に設定してください。(*1)	179
	プリンタケーブルが断線している。	プリンタケーブルが断線していないか確認してください。	―
	パソコンのタイムアウト時間の設定が短すぎる。	リトライで送出を続行するようならパソコンのタイムアウト時間の設定を長くしてください。	―
	パソコン側のプリンタマネージャで印刷データが残っている。	ドキュメントの印刷を中止または削除してください。	―
〔データアリ〕を表示したまま印刷しない。	印刷開始条件が揃っていない。	オフラインにして〔キャンセル〕スイッチを押してください。	172
異常音がする。	プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。	プリンタ内部を点検してください。	164
	給紙カセットの装着が不完全です。	給紙カセットを完全に装着してください。	129
	プリンタが傾いている。	安定した水平な場所に設置してください。	37
	トップカバーが開いている。	トップカバーの左側のディンプルマークを押して閉じてください。	35
異常音がする。	液晶ディスプレイに〔トナーロー〕または〔トナー コウカン〕と表示された状態で、プロセスカートリッジ内の攪拌棒が回転するときに、カシャッカシャッという音が周期的 (約 1.3 秒間隔) に発生することがある。	異常ではありません。	―
ウォーミングアップ動作が長い。	クリーニング動作を行っている。	故障ではありません。印刷品位を良くするために組み込まれている動作です。	―

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
データを受信しても、すぐに印刷を開始しない。	プリンタがパワーセーブモードに入っている。	故障ではありません。 パワーセーブモードから復帰するときのプリンタのウォーミングアップに必要な時間です。	—
		パワーセーブに移行するまでの時間を延ばしてください。 「最大 240 分」	182
		印刷する前に「メニュー選択」スイッチを押してパワーセーブを解除してください。	174
	定着器の温度を調整している。	故障ではありません。用紙に最適な温度を制御しています。印刷を始めるまで、35 秒程度かかることがあります。	—
	プロセスカートリッジのクリーニング動作を行っていることがある。	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。	—
	他のインターフェースからデータを処理している。	印刷処理が終了するまでお待ちください。	—
トナーカートリッジ交換直後に「トナーロー」が表示され、解除されない。または数十枚印刷後に再度「トナーロー」が表示される。	トナーがプロセスカートリッジ内に充分に供給されていない。	装置からプロセスカートリッジを取り出し、上下左右にゆっくりと振ってから再度セットしてください。	—
液晶ディスプレイの表示が判読できない プリンタの動作が安定しない ハングアップする	静電気による誤作動	アースが正しく接続されていることを確認してください。	3

*1:　一部の PC/AT 互換機では、〔I-PRIME〕の設定を〔データクリア〕にする必要があります。

10

運用編

印刷ができないとき

印刷ができない場合は、次の内容をご確認ください。
お使いのアプリケーションに関する問題は、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
パラレル接続でセットアップできない。	Windows NT 4.0 で、プラグアンドプレイでセットアップできない。	プラグアンドプレイでセットアップできるのは、Windows 98/Me/2000/XP/Vista/ Windows Server 2003/2008 です。Windows NT 4.0 はプリンタの追加からセットアップしてください。	74
	コンピュータが双方向パラレルインターフェースをサポートしていない。	双方向パラレルインターフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。	—
	プリンタケーブルが規格に合っていない可能性がある。	IEEE std 1284-1994 準拠の双方向プリンタケーブルを使用してください。	—
	インターフェースが無効になっている。	プリンタのセントロメニューで〔セントロ〕を〔ユウコウ〕にしてください。	179
	セットアップ手順が間違っている。	「ケーブルを接続する」、「プリンタドライバのインストール」を参照してください。	55 71
	プリンタケーブルが外れている。	プリンタケーブルを差し込んでください。	—
	プリンタケーブルに問題がある。	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
	切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用している。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。	—
パラレル接続でセットアップできない。	セットアップの途中で、画面に〔検索場所の指定〕、〔場所の指定〕が表示される。	プリンタソフトウェア CD-ROM の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 （例：「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」）	74
	セットアップを中断した。	もう一度初めからセットアップしてください。	74

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
USB 接続でセットアップできない。	Windows NT 4.0 でセットアップできない。	USB 接続できるのは、Windows 98/Me/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 です。 Windows NT 4.0はパラレルで接続してください。	74
	コンピュータが USB インターフェースを搭載していない。	デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。	—
	USB ケーブルが規格に合っていない可能性がある。	USB2.0 準拠の USB ケーブルを使用してください。	—
	インターフェースが無効になっている。	プリンタの USB メニューの〔USB〕を〔ユウコウ〕にしてください。	179
	セットアップ手順が間違っている。	「ケーブルを接続する」、「プリンタドライバのインストール」を参照してください。	55 71
	USB ケーブルが外れている。	USB ケーブルを差し込んでください。	—
	USB ケーブルに問題がある。	予備の USB ケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
USB 接続でセットアップできない。	USB ハブを使用している。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。	—
	セットアップの途中で、画面に〔検索場所の指定〕、〔場所の指定〕が表示される。	プリンタソフトウェア CD-ROM の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 （例：「F:¥Fjxldrv¥Win9xme」）	74
	セットアップを中断した。	もう一度初めからセットアップしてください。	74
	Windows 98/Me/XP/Windows Server 2003 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない。	「Windows 98 をセットアップします（USB）」（87 ページ）、「Windows Me をセットアップします（USB）」（88 ページ）、「Windows XP/Windows Server 2003 をセットアップします（USB）」（90 ページ）、を参照してください。	74

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
印刷できない。	プリンタの電源が切れている。	プリンタの電源を入れてください。	59
	インターフェースが無効になっている。	プリンタのセントロメニューの〔セントロ〕または USB メニューの〔USB〕を〔ユウコウ〕にしてください。	179
	プリンタケーブルが外れている。	プリンタケーブルを差し込んでください。	—
	〔オフライン〕になっている。	〔オンライン〕を押して〔オンライン〕にしてください。	172
	プリンタケーブルに問題がある。	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。	—
	切替器、バッファ、延長ケーブル、USB ハブを使用している。	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。	—
	プリンタドライバの出力ポートが間違っている。	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。	—
印刷できない。	他のインターフェースからの印刷を処理している。	印刷処理が完了するまでお待ちください。	—
	プリンタドライバが〔通常使うプリンタ〕になっていない。	〔通常使用するプリンタ〕にしてください。	—
	双方向パラレルまたは USB で動作する他のプリンタドライバがインストールされている。	他のプリンタドライバを削除してみてください。	—
	I-PRIMEの設定がコンピュータに合っていない。	プリンタのメニュー設定で〔I-PRIME〕を〔3u SEC〕または〔50u SEC〕にしてください。	179
メモリ不足になる。	複数のアプリケーションを同時に起動しいる。	使用していないアプリケーションを終了してください	—

現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
印刷が遅い。	印刷処理をコンピュータ側でも行っている。	処理速度の速いコンピュータを使用してください。	—
	高解像度を選択している。	プリンタドライバの〔解像度〕で低解像度を指定してください。	202
	印刷データが複雑である。	印刷データを簡単にしてください。	—
	特定ポート（パラレル/USB/LAN）からの印刷を実行後に別ポートからの印刷を行うとメニュー設定の〔ウェイトタイム〕分、ポート切り替えに時間がかかる。	〔システムコウセイメニュー〕の〔ウェイトタイム〕時間を短くしてください。ただし、コンピュータ側の性能によっては受信タイムアウトが発生する可能性もありますので注意してください。	—
	LAN 接続時に特定スイッチングハブとの相性問題（通信モードの不一致）でパケットの送信エラーが多発し、再送信を繰り返す。	ハブとプリンタの通信モードを、両方とも Full か Half 固定に合わせて設定してください。	69
ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	セットアップ、印刷方法などに問題がある。	本製品添付のプリンタソフトウェア CD-ROM に収められている『XL-2300G ネットワークガイド』「第 7 章　ネットワーク利用時のトラブル対処方法」をご覧ください。	18
DOS や ESC/P 対応のアプリケーションから印刷できない。	Windows 専用モード（オペレータパネルに WIN と表示）の場合は印刷できない。	オペレータパネルの〔システムコウセイメニュー〕で〔エミュレーション〕モードを〔TEXT〕としてください。	179
オペレータパネルに「ムコウ　データ」と表示され、何も印刷されない。	WIN モード時（183 ページ参照）に、次のデータを受信した場合に表示される。 ・ESC/Pデータを受信した場合 ・他機種プリンタ用の印刷データを受信した場合 ・印刷途中にプリンタ電源を切/入し、パソコン側に残っているスプールデータを印刷した場合	不当なデータであることを意味します。 プリンタ側で自動的に判断するめた、データをキャンセルする必要はありません。（次の印刷ジョブより正常印刷が可能です。）	—

10

運用編

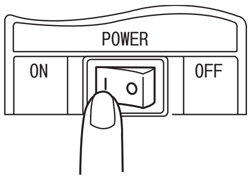
現　　象	原　　因	処　　置	参照ページ
印刷データの途中までしか出力されず、場合によってはオペレータパネルに「ムコウ　データ」と表示される。	印刷中にパソコン側のデータ送信が停止し、プリンタ側のウェイトタイム時間内にデータを受信できなかった。	オペレータパネルのシステム構成メニューで〔ウェイトタイム〕時間（183 ページ参照）を長く設定することで回避できます。	—
文字化けしたデータが大量に印刷される。	TEXT モード時（183 ページ参照）に次の条件で発生する。 ・他機種プリンタ用の印刷データを受信した場合 ・印刷途中にプリンタ電源を切/入し、パソコン側に残っているスプールデータを印刷した場合	オフラインおよびジョブキャンセル後、パソコン側のスプールデータをキャンセル（208 ページ参照）し、その後オンラインに戻してください。	—

HEX（ヘキサ）ダンプ印刷を設定する

パソコンからのデータが、プリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などに HEX ダンプを設定します。
HEX（ヘキサ）ダンプとは、パソコンからプリンタに送られた印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16 進数のデータで印刷する機能です。
HEX ダンプを設定するためには、以下の操作を行ってください。

1 **電源スイッチの「｜」側を押す**

電源が入ります。



2 **〔メニュー〕スイッチを数回押し、〔システムホセイメニュー〕を表示する**

システム　ホセイ メニュー

↓

3 **〔設定項目▲〕スイッチを 3 回押し、〔ヘキサダンプジッコウ〕を表示する**

ヘキサダ゛ンフ゜ シ゛ッコウ

↓

4 **〔メニュー選択〕スイッチを押す**

オンライン HEX

↓（パソコンからのデータを受信）

ショリチュウ HEX

お願い

- HEX ダンプモードを解除するときは、プリンタの電源を OFF にしてください。
- HEX ダンプモードをするときは、必ず A4 の用紙を使用してください。

以下に HEX ダンプ印刷の例を示します。

```
        +0 +1 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8 +9 +A +B +C +D +E +F
000000  00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0E 0F   ................
000010  10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 1A 1B 1C 1D 1E 1F   ...........↑....
000020  20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 2A 2B 2C 2D 2E 2F    !"#$%&'()*+,-./
000030  30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 3A 3B 3C 3D 3E 3F   0123456789:;<=>?
000040  40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 4A 4B 4C 4D 4E 4F   @ABCDEFGHIJKLMNO
000050  50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 5A 5B 5C 5D 5E 5F   PQRSTUVWXYZ[\]^_
```

TCP/IP(lpr) の注意と制限

TCP/IP（lpr）での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

設定について

本製品側の設定について

- IP アドレスの設定には充分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と充分相談のうえ、設定してください。
- ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。

ホスト側の設定について

- IP アドレスの設定には充分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と充分相談のうえ、設定してください。
- NIS（Network Information Service）の管理下で使用されているホストで、ネットワーク（IP アドレスなど）の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

印刷するとき

あるホストから印刷要求を受け付けていた場合、別のホストからの印刷要求を受け付けることができません。

ホストの IPアドレスやパソコン名を変更した場合

ホストの IP アドレスやパソコン名を変更した場合、本製品側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本製品の受信バッファに印刷データがない状態で、電源を切 / 入してください。

ガイド

本製品の受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、オペレータパネルから操作できます。操作方法は、「プリンタ側で印刷を中止する」（176 ページ）、「印刷指示したジョブの状態を確認する」（209 ページ）、および「残ったデータを強制印刷する」（175 ページ）を参照してください。

10

運用編

給紙トレイの自動選択および自動切り替えを行う

複数トレイ（トレイ 1/ トレイ 2/MPF（給紙トレイ））から印刷サイズの用紙がセットされているトレイを自動的に選択し、用紙切れの場合には別のトレイに自動的に切り替えて給紙を継続することができます。
オペレータパネルとプリンタドライバのプロパティ画面で、次の設定を行ってください。

1. **トレイにセットされている用紙サイズに合わせて、〔メディアメニュー〕の各トレイの〔ヨウシサイズ〕を設定する**
   オペレータパネル側で設定を行います。
2. **プリンタドライバのプロパティ画面を開く**
   プリンタドライバのプロパティ画面で設定を行います。
3. **〔その他〕タブをクリックし、〔用紙サイズチェック〕の〔あり〕を選択する**
4. **〔用紙〕タブをクリックし、〔給紙オプション〕ボタンをクリックする**
5. **〔オプション給紙装置〕ダイアログボックスで拡張給紙ユニットまたは〔MPF（給紙トレイ）〕のチェックをつける**

給紙トレイの自動選択を行う

印刷する用紙サイズに合わせて給紙トレイを自動的に選択する場合は、〔用紙〕タブの給紙方法で〔操作パネル設定〕を選択します。印刷する用紙サイズを変更するたびに、給紙方法を変更する必要がなくなります。

給紙トレイの自動切り替えを行う

特定のトレイからの印刷途中に用紙切れが発生し、同一サイズの用紙がセットされた他のトレイに自動的に切り替えたい場合は、〔用紙〕タブから〔オプション給紙装置〕ダイアログボックスを開き、〔自動トレイ切り替え〕にチェックをつけます。

ガイド

- 給紙トレイの自動選択および自動切り替え機能を利用するには、あらかじめオペレータパネルで各トレイの用紙サイズを正しく設定しておく必要があります。
- 設定した用紙サイズが異なる場合にオペレータパネル上に「... ヨウシナシ」や「... サイズガ　チガイマス」とエラーが表示され、停止状態となることがあります。
  〔オンライン〕スイッチを押したり、トップカバーを開け閉めしたりすることで強制的に印刷することができます。ただし、実際に給紙された用紙サイズが印刷サイズと異なる場合には、給紙途中の用紙幅センサ部でエラー（「ヨウシサイズ　エラー」と表示）となることがありますので、ご注意ください。

給紙トレイの自動選択（操作パネル設定）および自動切り替えの動作例

給紙トレイの自動選択および自動切り替えの動作例を、次の表に示します。

プリンタドライバの他の設定条件：給紙方法＝操作パネル設定／用紙サイズチェック＝あり

プリンタドライバでの設定		オペレーションパネルでの設定			連続印刷時の給紙トレイの切り替わり順序
用紙タブ		メディアメニューのヨウシサイズ設定			
印刷サイズ	自動トレイ切り替え	トレイ 1	トレイ 2	MPF	
A4	有効	A4	A4	A4	トレイ 1 給紙→トレイ 2 給紙→ MPF 給紙
		A4	A4	A4 以外	トレイ 1 給紙→トレイ 2 給紙
		A4	A4 以外	A4	トレイ 1 給紙→ MPF 給紙
		A4 以外	A4	A4	トレイ 2 給紙→ MPF 給紙
		A4	A4 以外	A4 以外	トレイ 1 給紙
		A4 以外	A4	A4 以外	トレイ 2 給紙
		A4 以外	A4 以外	A4	MPF 給紙
		A4 以外	A4 以外	A4 以外	「トレイ 1　サイズガ　チガイマス」のエラー表示 *
	無効	A4	A4	A4	トレイ 1 給紙
		A4	A4	A4 以外	トレイ 1 給紙
		A4	A4 以外	A4	トレイ 1 給紙
		A4 以外	A4	A4	トレイ 2 給紙
		A4	A4 以外	A4 以外	トレイ 1 給紙
		A4 以外	A4	A4 以外	トレイ 2 給紙
		A4 以外	A4 以外	A4	MPF 給紙
		A4 以外	A4 以外	A4 以外	「トレイ 1　サイズガ　チガイマス」のエラー表示 *

* メディアメニューの〔インサツメニュー〕〔キュウシトレイ〕で設定したトレイ（デフォルト：トレイ 1）が選択対象となります。

ガイド

〔自動トレイ切り替え〕が無効で用紙なしと表示された状態で停止している場合、トップカバーの開け閉めや〔オンライン〕スイッチを押すことで同じ用紙サイズが設定された別トレイから強制的に給紙できます。

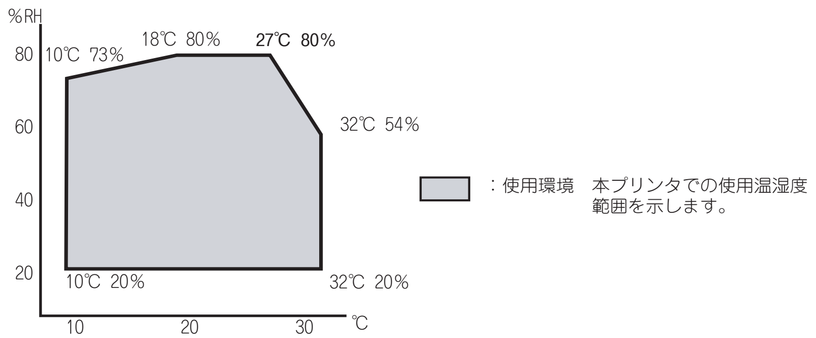
付　録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、本製品の仕様を示します。

印刷方式	LED を露光光源とする電子写真方式
印刷速度（連続コピー最大）	標準給紙カセット：22 枚 / 分、拡張給紙ユニット：22 枚 / 分、 給紙トレイ：14 枚／分（A4 サイズ）
ウォームアップタイム	電源投入後 35 秒以内
印刷幅	最大 215.9mm
メモリ	16MB（オプション増設なし）
エンジン解像度	600 × 600 ドット／インチ
用紙サイズ	A4、B5、A5、A6、レター、はがき、往復はがき ユーザ定義（90 × 148 ～ 215.9 × 297）
給紙方式 *1	カセットによる自動給紙（収容枚数 250枚、拡張給紙ユニット使用により 750枚） 手差しによる給紙（1 枚） 給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 100 枚）
排紙方式 *1	フェイスダウンスタッカ（スタック枚数 150 枚 ） フェイスアップスタッカ（スタック枚数　50 枚 ）
使用環境条件 *2	温度　10 ℃～ 32 ℃ 湿度　20%～ 80%RH（結露しないこと） 
使用条件 *3	月間平均印刷枚数 3000 枚／月（平均電源入時間 200 時間／月）、 月間最大印刷枚数 15000 枚／月
電源・電源周波数	AC100V ± 10V、50/60 Hz ± 1Hz（安定した正弦波であること） 注意：本製品は、突入電流がありますので、無停電電源装置（UPS）などに接続しないでください。故障するおそれがあります。
消費電力	動作時　700W 以下、節電時　10W 以下
突入電流	80A 以下
漏洩電流	0.25mA 以下
騒音（音圧レベル）	動作時　50.5dB(A) 以下、待機時　36dB(A) 以下
外形寸法（標準装備）	幅 355mm、奥行 395mm、高さ 200mm (手差しトレイ、スタッカプレート折りたたみ時)

重量（標準装備）	約 9.0kg（オプション、用紙重量含まず）
OS	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003/2008 日本語版
インターフェース	IEEE1284 パラレル /USB2.0（フルスピードモード：12Mbps）/LAN（100BASE-TX/10BASE-T）*4
パソコン	PC/AT 互換機
プリンタシーケンス *5	Windows 専用（XL-2300G 独自 *6)、テキストモード *7
文字・書体 *8	テキストモード：和文 2 書体（明朝体／ゴシック体)、欧文 2 書体
装置寿命 *3	5 年（8 時間 / 日、3000 枚 / 月）または 18 万枚印刷 (A4)
用紙	普通紙 64g/m^2 ～ 87g/m^2 (55kg ～ 75kg)、厚紙、郵便はがき、OHP フィルム（レーザプリンタ用)、ラベル紙（レーザプリンタ用）

＊ 1： 収容枚数は坪量 64g/m^2 にて換算
フェイスダウントレイ、フェイスアップトレイのスタック枚数は、推奨紙（オフィス用紙 W）を使用して印刷した場合のスタック枚数です。推奨紙以外の用紙を使用して印刷を行った場合、スタック枚数が記載枚数を下回る場合があります。また、質の悪い用紙を使用した場合、排出された用紙がバラけたり、排出部で紙づまりになる可能性があります。

＊ 2： 湿度 80%RH のときは温度 18 ～ 27 ℃、温度 10 ℃のときは湿度 73%RH 以下、温度 32 ℃のときは湿度 54%RH 以下でご使用ください。

＊ 3： 1 ジョブあたり 3 枚印刷

＊ 4： オプションのプリンタ LAN カード増設時（FM-LNA110 および NetWare は未対応）

＊ 5： データ処理解像度

Windowsモード	600dpi × 1200dpi 600dpi × 600dpi 300dpi × 300dpi	テキストモード	600dpi × 600dpi 300dpi × 300dpi

＊ 6： Printianavi は未対応

＊ 7： ESC/P 相当

＊ 8： テキストモード時に有効

ガイド

- 装置寿命は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- 24 時間運用の場合は、装置寿命は 5 年より短くなります。

⚠ 注意

故 障　「パワーセーブ」は「有効」（デフォルト）の状態で使用してください。
「パワーセーブ」を「無効」に変更して使用する場合、電源を投入した状態のまま長時間放置すると、装置故障の原因となります。「無効」に設定しているときは、一日に一回はプリンタの電源をお切りください。

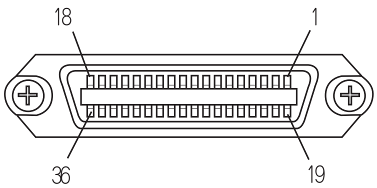
付

インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、IEEE 1284 の仕様に準拠した双方向パラレルインターフェースを採用しています。

インターフェース仕様とコネクタピン配列

・インターフェースコネクタ
　プリンタ側：36 極コネクタ（メス）　アンフェノール　57-40360 相当品
　ケーブル側：36 極コネクタ（オス）　アンフェノール　57-30360 相当品
・ケーブル：最長 1.5m 以下のケーブルを使用してください。
　（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
・信号レベル：LOW：0.0V ～＋ 0.4V HIGH：＋ 2.4V ～＋ 5.0V
・データ転送方式：8 ビットパラレル
・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ（36 ピン）

双方向 OFF 時のピン配列

ピンNo.	信号名	方　　向	機　　　能
1	nStrobe(HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。 後縁でデータを読み込みます。
2	DATA 1	TO PRINTER	8 ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”，ローレベルが“0”です。
3	DATA 2		
4	DATA 3		
5	DATA 4		
6	DATA 5		
7	DATA 6		
8	DATA 7		
9	DATA 8		
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインターフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	−	−	使用していません。
16	GND	−	信号グランド
17	FG	−	シャーシグランド
18	＋5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19〜30	GND	−	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	−	信号グランド
34	−	−	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で 3.3KΩ で +5V にプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

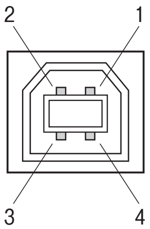
注）・（　）内はニブルモードの信号名です。
・米国電気電子技術者協会が規定するIEEE Std 1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

付

USBインターフェース仕様とコネクタピン配列

基本仕様	USB 仕様
インターフェースコネクタ	プリンタ側：B レセプタクル（メス） ケーブル側：B プラグ（オス）
ケーブル	XL-CBLU2 または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 以上に適合したケーブル（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
伝送モード	フルスピード（最大 12Mbps ＋ 0.25%）
電力制御	セルフパワーデバイス

・USB ピン配列



ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源 (+5v)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品の仕様

本製品のオプション品の仕様は、次のとおりです。

拡張給紙ユニット (500枚)

給紙枚数	500枚× 1段
外形寸法	330(幅)× 430(奥行)× 205(高さ)mm
質 量	5.7kg

給紙トレイ (100枚)

給紙枚数	100枚
外形寸法	320(幅)× 249(奥行)× 137(高さ)mm
質 量	1.5kg

プリンタLANカード

インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T
TCP/IP プロトコル*	LPR、IPP、DHCP、HTTP、SNMP、SMTP

*:NetWare は、サポートしていません。

印刷可能領域と印刷方向

ここで説明する印刷可能領域は、プリンタが印刷できる最大領域です。
実際の印刷領域は、アプリケーションにより異なることがあります。アプリケーションにより余白設定が可能な場合は、下記に示す余白サイズ以上に設定してご使用ください。

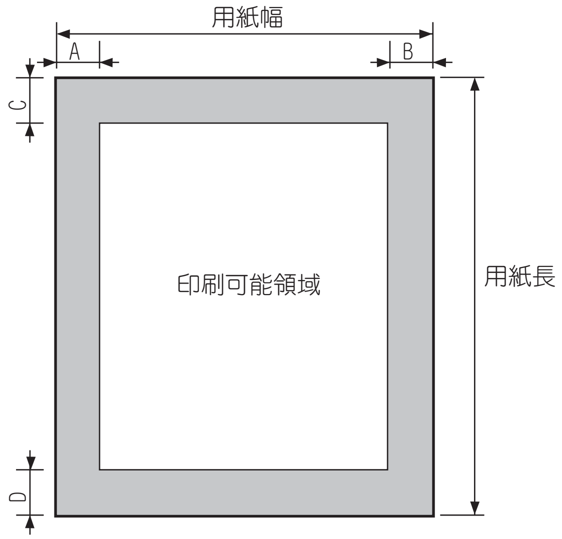
ガイド

- 印刷精度（坪量 64g/m^2 の場合）は、書き出し位置± 2mm、用紙の斜行 1mm/100mm、画像伸縮± 1mm/100mm です。
- オペレータパネルの〔X ホセイ〕、〔Y ホセイ〕の設定により、印刷位置が微調整（± 2.0mm）できます

● Windows モード

このプリンタドライバで使用できる用紙サイズおよび印刷範囲は次のとおりです。
余白部分に指定されたデータの印刷結果は保証されません。
アプリケーションにより余白設定が可能な場合は、下記に示す余白サイズ以上の設定でご使用ください。

付



単位：mm

用　紙	縦（ポートレイト）		横（ランドスケープ）		余白領域			
					左	右	上	下
	用紙長	用紙幅	用紙長	用紙幅	A	B	C	D
A4	297.0	210.0	210.0	297.0	5.08	5.08	5.08	5.08
A5	210.0	148.0	148.0	210.0	5.08	5.08	5.08	5.08
A6	148.0	105.0	105.0	148.0	5.08	5.08	5.08	5.08
B5	257.0	182.0	182.0	257.0	5.08	5.08	5.08	5.08
ユーザ定義 注）	297.0	210.0	210.0	297.0	5.08	5.08	5.08	5.08
レター	279.4	215.9	215.9	279.4	5.08	5.08	5.08	5.08
はがき	148.0	100.0	100.0	148.0	5.08	5.08	5.08	5.08
往復はがき	200.0	148.0	148.0	200.0	5.08	5.08	5.08	5.08

注） この値は初期値です。トレイ 1、手差し、給紙トレイでは長さ 148 ～ 297mm、幅 90 ～ 215.9mmの間で、トレイ2では長さ210～297mm、幅148～215.9mmの間で設定可能です。

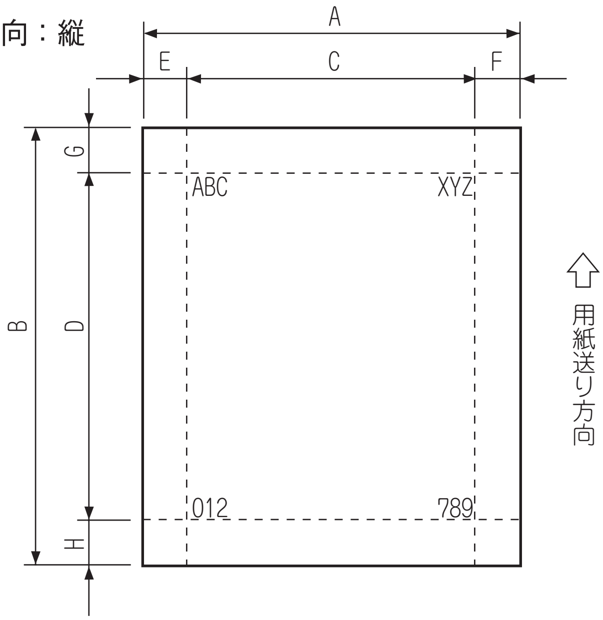
ガイド

以下の場合、印刷可能領域（余白領域）が異なることがありますので、必要に応じてアプリケーションで余白の大きさを設定し直してください。

・マルチページのとき。
・拡大・縮小設定のとき。
・用紙サイズで「A3 → A4」、「B4 → A4」を選択したとき。

●テキストモード

印刷方向：縦



印刷方向：縦（ポートレイト）
頭出し位置＝8.5㎜

単位：mm

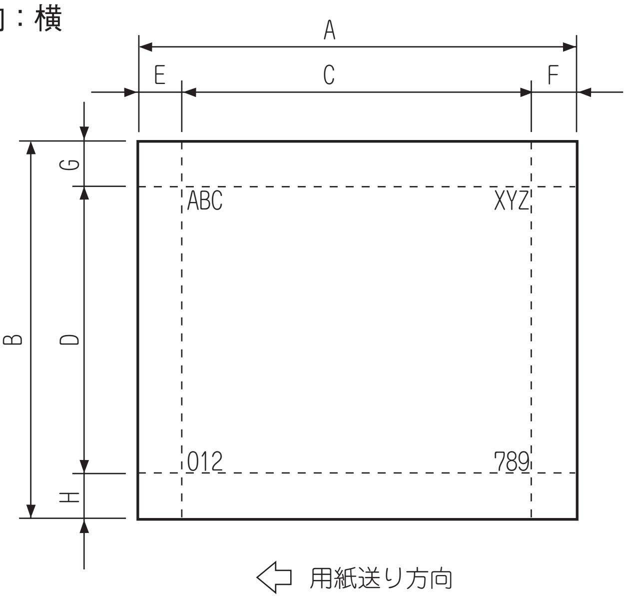
用　紙	用紙寸法		印刷可能領域		余白領域			
					左	右	上	下
	A	B	C	D	E	F	G	H
A4	210.0	297.0	199.84	283.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A5	148.0	210.0	137.84	196.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A6	105.0	148.0	94.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08
B5	182.0	257.0	171.84	243.42	5.08	5.08	8.50	5.08
ユーザ定義　(*)	210.0	297.0	199.84	283.42	5.08	5.08	8.50	5.08
LETTER	215.9	279.4	205.74	265.82	5.08	5.08	8.50	5.08
ハガキ	100.0	148.0	89.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08
往復ハガキ	148.0	200.0	137.84	186.42	5.08	5.08	8.50	5.08

付

ガイド

- 「頭出し位置」の設定によりトップ(G)と印刷可能領域(D)が変化します。
- 「X 補正」、「Y 補正」により、印刷可能領域が変化します。
- ユーザ定義（*）はトレイ 1、手差し、給紙トレイでは 90 × 148 (mm) ～ 215.9 × 297 (mm) で、トレイ 2 では 148 × 210(mm) ～ 215.9 × 297 (mm) の間で任意のサイズが指定できますが、用紙端から 5.08mm までの領域には印刷しないでください。この領域に印刷すると印刷品位が劣化することがあります。

印刷方向：横



印刷方向：横（ランドスケープ）
頭出し位置＝8.5mm

単位：mm

用　紙	用紙寸法		印刷可能領域		余白領域			
					左	右	上	下
	A	B	C	D	E	F	G	H
A4	297.0	210.0	286.84	196.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A5	210.0	148.0	199.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08
A6	148.0	105.0	137.84	91.42	5.08	5.08	8.50	5.08
B5	257.0	182.0	246.84	168.42	5.08	5.08	8.50	5.08
ユーザ定義　(*)	297.0	210.0	286.84	196.42	5.08	5.08	8.50	5.08
LETTER	279.4	215.9	269.24	202.32	5.08	5.08	8.50	5.08
ハガキ	148.0	100.0	137.84	86.42	5.08	5.08	8.50	5.08
往復ハガキ	200.0	148.0	189.84	134.42	5.08	5.08	8.50	5.08

ガイド

- 「頭出し位置」の設定によりトップ(G)と印刷可能領域(D)が変化します。
- 「X 補正」、「Y 補正」により、印刷可能領域が変化します。
- ユーザ定義（*）はトレイ 1、手差し、給紙トレイでは 90 × 148 (mm) ～ 215.9 × 297 (mm) で、トレイ 2 では 148 × 210(mm) ～ 215.9 × 297 (mm) の間で任意のサイズが指定できますが、用紙端から 5.08mm までの領域には印刷しないでください。この領域に印刷すると印刷品位が劣化することがあります。

テキストモードコマンド一覧

このプリンタでサポートしているテキストモードのコマンドを以下に示します。

●書式設定・実行

機　　能	コマンド
行単位ページ長設定	ESC C
インチ単位ページ長設定	ESC C 0
右マージン設定	ESC Q
左マージン設定	ESC L
1/8インチ改行量設定	ESC 0
1/6インチ改行量設定	ESC 2
n/180インチ改行量設定	ESC 3
n/60インチ改行量設定	ESC A
垂直タブ位置設定	ESC B
水平タブ位置設定	ESC D
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
n/180インチ順方向紙送り	ESC J
n/180インチ逆方向紙送り	ESC j
水平タブ実行	HT
垂直タブ位実行	VT
絶対位置指定	ESC $
相対位置指定	ESC ¥

● ANK・漢字テキスト処理

機　　能	コマンド
自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	ESC SO
	FS SO
自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	FS DC4
倍幅拡大指定／解除	ESC W
強調指定	ESC E
強調解除	ESC F
二重印字指定	ESC G
二重印字解除	ESC H
文字スタイル選択	ESC q
イタリック指定	ESC 4
イタリック解除	ESC 5
一括指定	ESC!

● ANK テキスト処理

機　　能	コマンド
12CPI指定	ESC M
10CPI指定	ESC P
15CPI指定	ESC g
国際文字選択	ESC R
スーパー／サブスクリプト指定	ESC S
スーパー／サブスクリプト解除	ESC T
文字品位選択	ESC x
書体選択	ESC k
プロポーション指定／解除	ESC p
文字コード表選択	ESC t
ダウンロード文字セット指定／解除	ESC %
ダウンロード文字定義	ESC &
文字セットコピー	ESC :
文字間スペース量指定	ESC SP
縦倍拡大指定／解除	ESC w
縮小指定	SI
縮小解除	DC2
アンダーライン指定／解除	ESC -

●漢字テキスト処理

機　　能	コマンド
縦書き指定	FS J
横書き指定	FS K
半角縦書き２文字指定	FS D
４倍角指定／解除	FS W
漢字アンダーライン指定／解除	FS -
漢字一括指定	FS !
漢字モード指定	FS &
漢字モード解除	FS .
半角文字指定	FS SI
半角文字解除	FS DC2
1/4角文字指定	FS r
漢字書体選択	FS k
外字定義	FS 2
全角文字スペース量設定	FS S
半角文字スペース量設定	FS T

●補助機能

機　　能	コマンド
初期化	ESC @
カットシートフィーダ制御	ESC EM
デバイスコントロール１	DC 1
デバイスコントロール３	DC 3
上位側コントロール解除	ESC 6
上位側コントロール指定	ESC 7
位置揃え指定	ESC a
VFUタブ位置指定	ESC b
VFUチャンネル選択	ESC /
半角文字スペース量補正	FS U
半角文字スペース量補正解除	FS V
データ抹消	CAN
一文字削除	DEL
後退	BS
MSB＝0指定	ECC =
MSB＝1指定	ESC >
MSBコントロール解除	ESC #

●ビットイメージ処理

機　　能	コマンド
ビットイメージ選択	ESC *
ビットイメージ変換	ESC ?
8ドット単密度ビットイメージ	ESC K
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC L
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC Y
8ドット４倍密度ビットイメージ	ESC Z

テキストモードの初期状態

項　目	初期化状態
ページ長	メニューで設定した用紙サイズ
ミシン目スキップ	解除
右マージン	用紙サイズの右端または 136 桁（10CPI の文字幅による）*
左マージン	0
改行量	1/6 インチ / 行
水平タブ位置	8 文字ごとの水平タブ
垂直タブ位置	無指定
文字ピッチ	10 文字 / インチ
プロポーショナル	解除
英数カナ文字書体	ローマンまたはサンセリフ *
文字品位	高品位
国際文字選択	日本
文字コード表	カタカナコードまたは拡張グラフィックス *
文字間スペース量	0
文字装飾	解除
縮小	解除
漢字モード	解除
漢字書体	平成明朝体または平成角ゴシック体 *
縦書き／横書き	横書き
全角文字／半角文字／ 1/4 角文字	全角文字
全角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi 相当）
半角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：3（180dpi 相当）
1/4 角文字の左右スペース量	左スペース量：0　右スペース量：2（180dpi 相当）
漢字装飾	解除

*: メニュー設定によります。

付

初期化動作の発生条件と範囲を下表に示します。

項　目	I-PRIME 受信 データクリア	リセットスイッチ
受信バッファ	クリアする	クリアする
入力バッファ（テキストのみ）	クリアする	クリアする
印刷バッファ（編集中）	クリアする	クリアする
印刷バッファ（編集済）	クリアする	クリアする
印刷バッファ（印刷中）	クリアしない	クリアしない
ダウンロード文字定義（テキスト）	クリアする	クリアする
外字定義（テキスト）	クリアする	クリアする
その他のアラーム	メニュー設定に初期化	メニュー設定に初期化
アラーム	〔オンライン〕スイッチにて解除できるもののみクリアする。	〔オンライン〕スイッチにて解除できるもののみクリアする。

ガイド

工場出荷時の設定では I-PRIME 信号は無視されます。

テキストモードのキャラクタコード一覧表

テキストモードのキャラクタコードは以下のとおりです。

●カタカナコード

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	￣	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	[illegible]
F	SI		/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

注)＜２３＞16、＜２４＞16、＜４０＞16、＜５Ｂ＞16～＜５Ｅ＞16、＜６０＞16、＜７Ｂ＞16～＜７Ｅ＞16のコードは、国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

コード16進 / 国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

付

●拡張グラフィックコード

上位＼下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á		└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	░	┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▒	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú		├	-	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	-	─	└	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	=	┼	┌	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	-	µ	÷
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	─	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	┤	=	┼	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	‚	╣	=	┘	θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	‚	║	═	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	═	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	|		î	£	¼	╝	=	▄	∞	ⁿ
D	CR		-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	┘	═	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	-	╧	▀	∩	SP

注)＜２３＞$_{16}$、＜２４＞$_{16}$、＜４０＞$_{16}$、＜５Ｂ＞$_{16}$～＜５Ｅ＞$_{16}$、＜６０＞$_{16}$、＜７Ｂ＞$_{16}$～＜７Ｅ＞$_{16}$のコードは、国際文字選択によって入れ替わります。

【国際文字コード】

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	|	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	|	}	~
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅰ	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインⅠ	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	|	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
ﾃﾞﾝﾏｰｸ Ⅱ	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインⅡ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ﾗﾃﾝｱﾒﾘｶ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

JIS-90 第一水準漢字一覧表

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

付

区$＼点$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	╂																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

	点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
区$	区	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	樫	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

付

JIS-90 第二水準漢字一覧表

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	屙	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
点 $	点	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埒	埀	垪	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歃	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	罨	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貎	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

付

区＼点 $		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繆	繃	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閨	閠	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞁	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

アプリケーションソフトについて

アプリケーションソフトにおけるプリンタの選択基準について説明します。

● Windows 対応ソフト

添付の XL-2300G 専用プリンタをインストールしてください。

● ESC/P 対応ソフト

以下の順で選択してください。

優先順位	プリンタ名
1	ESC/P24-J84
2	VP-1000/3000

付

PrintBarrier の概要

「PrintBarrier」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「PrintBarrier」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。
クライアント（Standard）の機能に加え、サーバ（Enterprise）を利用することで印刷管理も可能です。

●特　長

・印刷コストの削減
- プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- 縮小印刷による印刷用紙の削減
- 印刷データのファイル保存
- 印刷枚数制限（Enterprise）

・印刷セキュリティの強化
- ヘッダ / フッタ / 背景の追跡情報印刷
- 管理者設定による追跡情報の強制印字（Enterprise）
- ログ収集／レポート出力（Enterprise）

●動作環境

対応 OS	Windows 2000/XP
メモリ	128MB 以上（推奨）
ハードディスク	空き容量 300MB 以上

●「PrintBarrier お試し版」の機能制限

・PrintBarrier Standard のすべての機能が使用できます。Enterprise 機能は含みません。
・プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
・プレビュー表示 30 回で製品購入をうながすメッセージを表示します。

●「PrintBarrier」についてのお問い合わせ先

※お問い合わせ先は、本マニュアル発行時点のものです。

問い合わせ先	株式会社 FFC
E-Mail	barrier-sp@ml.ffc.co.jp
URL	http://www.infobarrier.com/

RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票を、ワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特　長

●帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上

ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

●多彩な帳票設計

以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。
　罫線、網かけ、文字装飾、バーコード (11 種)、画像、
　データ内容に応じた小計 / 見出し / 改ページの自動挿入　など

●容易なアプリケーション連携

アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータを CSV テキスト形式で出力し、RepoAgent を呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSV テキストは Unicode にも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインターフェースには、コマンド、API、ActiveX コントロール、Java クラスの 4 種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

付

動作環境

対応 OS	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003 注：Windows x64 Edition は未サポートです。
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	64MB 以上
ディスプレイ解像度	800 × 600 以上 (1024 × 768 以上を推奨)
ハードディスク	空き容量 300MB 以上 (インストール時は、さらに作業域として 10MB 必要)
プリンタ	Windows から印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度 300dpi 以上を推奨)

「RepoAgent お試し版」の機能制限

お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgent では使用できません。

かんたんバーコード Lite の概要

「かんたんバーコード Lite」は、パソコンでバーコードを簡単に作成するためのソフトウェアです。

特　長

以下のバーコードを作成することができます。

・JAN 標準
・JAN 短縮
・Code 3 of 9
・Industrial 2 of 5
・Interleaved 2 of 5
・NW-7
・UPC-A（アドオン指定有り）
・UPC-E（アドオン指定有り）
・カスタマ（郵便番号用バーコード）
・QR コード（モデル 1）
・QR コード（モデル 2）
・QR コード（マイクロ）

動作環境

対応 OS	Windows 95/98/Me/NT 4.0/2000/XP/Vista/Windows Server 2003
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	32MB 以上 (推奨)

「かんたんバーコードLite」についてのお問い合わせ先

※お問い合わせ先は本マニュアル発行時点のものです。

問い合わせ先　株式会社富士通北陸システムズ
電話　076-244-9575
FAX　076-241-4590
E-Mail　fjh-barcode@cs.jp.fujitsu.com
URL　http://jp.fujitsu.com/fjh/services/package/barcode/
電話によるお問い合わせ
月～金、9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始などの休業日を除く）

アフターサービスについて

- ご購入の際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- 保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より6ヶ月です。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- 分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 操作、機能について不明な点、修理のご相談は、ご購入の販売店、または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

通話料無料　0120-950-222

- おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
- ダイヤル後、音声ガイドに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。
- 営業時間 9:00 ～ 17:00(土・日・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)

- ハードウェア修理相談センターの連絡先は、下記のとおりです。

「ハードウェア修理相談センター」

通話料無料　0120-422-297

- 受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

お願い

- **修理のためにプリンタの返却が必要と判断された場合は、「設定内容の一覧を印刷する」（157 ページ）を参照して設定内容の一覧を印刷し、プリンタといっしょに送付してください。**
- **プリンタを移送する場合は、「第7章　日常のメンテナンス」「プリンタを移送する」（169 ページ）を参照し、正しく取り扱ってください。**

付

本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

索　引

ふ

め

よ

ろ

ページプリンタ　XL-2300G

取扱説明書

B5WY-1311-02-00

発行日　2008 年 4 月

発行責任　富士通株式会社

Printed in China